

令和7年度

常盤中学校屋内運動場外部改修工事

図面リスト			
建築図 (A)			
図面番号	図面名	図面番号	図面名
A-00	タイトル・図面リスト	A-20	矩計図2 (改修後)
A-01	特記仕様書 1	A-21	矩計図3 (改修前・後)
A-02	特記仕様書 2	A-22	部分詳細図1
A-03	特記仕様書 3	A-23	部分詳細図2
A-04	特記仕様書 4	A-24	部分詳細図3
A-05	特記仕様書 5	A-25	部分詳細図4
A-06	特記仕様書 6	A-26	部分詳細図5
A-07	特記仕様書 7	A-27	部分詳細図6 (改修前)
A-08	特記仕様書 8	A-28	部分詳細図6 (改修後)
A-09	附近見取図・配置図	A-29	部分詳細図7
A-10	1階平面図	A-30	部分詳細図8
A-11	2階平面図	A-31	部分詳細図9
A-12	屋根伏図	A-32	部分詳細図10 (改修前)
A-13	立面図1 (改修前・後)	A-33	部分詳細図10 (改修後)
A-14	立面図2 (改修前・後)	A-34	部分詳細図11
A-15	立面図3 (改修前・後)	A-35	部分詳細図12
A-16	立面図4 (改修前・後)	A-36	部分詳細図13
A-17	矩計図1 (改修前)	A-37	部分詳細図14
A-18	矩計図1 (改修後)	A-38	部分詳細図15
A-19	矩計図2 (改修前)	A-39	仮設計画図 (参考図)

日付	工事名 常盤中学校屋内運動場外部改修工事	図面名称 タイトル・図面リスト	縮尺	 一級建築士事務所 早川文雄建築設計室	一級建築士事務所登録 (石) 第2717号 一級建築士登録 (大臣) 第200231号 早川文雄	製図	承認	図面番号 A-00
----	-------------------------	--------------------	----	---	--	----	----	--------------

工事概要及び特記仕様書

I. 工事概要

1	工事名称	常盤中学校屋内運動場外部改修工事
2	工事場所	札幌市南区常盤2条2丁目
3	しゅん功期限	契約に示す着手日から 令和 7年12月5日まで
4	工事内容	屋内運動場・管理棟・ポンプ室・電気室の防水及び外壁改修工事

対象建物概要

用途	学校：屋内運動場	用途地域等	第一種低層住居専用地域
構造／階数	S造／2階	敷地面積	21,655㎡
改修部分	階	施工内容	
外壁		1階外壁：劣化部改修、塗材塗 撤去・新設	
外壁		2階外壁：金属板 撤去・新設	
外壁		防水改修 撤去・新設	

- 5 別途工事
 本工事に関係のある工事は下記のとおりである。
 ・電気設備工事 ()令和 年 月 旬着手予定
 ・機械設備工事 ()令和 年 月 旬着手予定
 ・外構工事 ()令和 年 月 旬着手予定
- 6 部分引渡し
 部分引渡しの時期：令和 年 月 日まで
 部分引渡しの範囲：

II. 建築工事仕様

- 1 本工事は、公共工事に準じるものとする。
- 2 図面及びこの特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」または、「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」による。(工事着手日時点の最新版を適用)
- 3 特記仕様
 (1)項目は、番号に○印のついたものを適用する。
 (2)特記事項は、●印のついたものを適用する。
 ○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
 ○印と⊗印のついた場合は、両方共に適用する。
- 4 特記事項に記載の()内表示番号は、公共建築改修工事標準仕様書または、公共建築工事標準仕様書(標)の当該項目、当該図または当該表を示す。

1章 一般事項

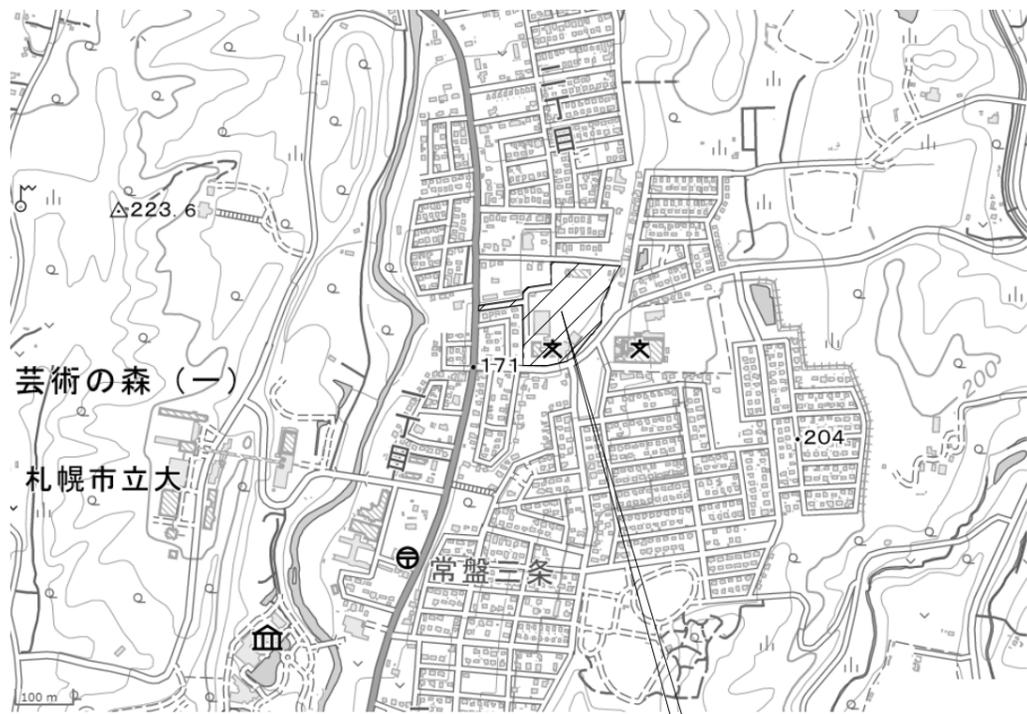
⑪ 適用基準類	工事着手日時点の最新版を適用する。 ○建築工事標準詳細図 【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修】 ○工事写真撮影ガイドブック(建築工事編及び解体工事編) 【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修】 ○建築工事標準仕様書・同解説 JASS 11 木工事 【日本建築学会】 ・寒中コンクリート施工指針・同解説 【日本建築学会】 ・建築物解体工事共通仕様書 【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修】 ※(参考資料) 建築改修工事監理指針 上巻・下巻 【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修】 ※(参考資料) 建築工事監理指針 上巻・下巻 【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修】
⑫ 施工条件	(1.3.5) ○施工時間：施設運営上、制約される場合があるので監督員と協議のこと ○施工順序：工程表に基づき監督員と協議のこと ○工事用車両駐車場：監督員と協議のこと ○その他施工条件：図示

⑬ 公共建築物の環境配慮	工事の施工に当たっては、札幌市の「環境方針」「札幌市公共建築物環境配慮ガイドライン」の意図を理解し、環境に配慮した施工に努める。
⑭ グリーン購入	「札幌市グリーン購入ガイドライン」により環境負荷の低減を考慮した材料等を選定し、グリーン購入の推進に努める。加えて、資材(材料及び機材を含む)の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の環境負荷低減に配慮されたものを使用するよう努める。 (1)再生クラッシュランの購入施設名(以下の章共通) 札幌リサイクル骨材㈱(東区中沼町45番地26) 小橋北豊㈱(南区石山230番地) 札幌環境資材センター(手稲区曙5条5丁目110番地18) ㈱松原産業(白石区川下2111番地3) 野田工業㈱(中央区盤渓264番地) (2)汚泥再生材の購入施設名(以下の章共通) ㈱大伸(厚別区厚別町山本1064番72) オデッサ・テクノス㈱(東区北丘珠1条3丁目654番地) (協)公清企業(東区中沼町45番地23) 購入条件、購入時期等については、当施設と事前に協議する。
⑮ 建築材料等	「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿」((社)公共建築協会編集)により評価を受けた材料を使用する場合は、評価書の添付により品質等資料の提出を省略することができる。(1.4.2)
⑯ 道産材の使用	本工事に使用する主要資材のうち、道内で産出、生産または製造される資材等で、規格品質等が適正である場合は、これを優先的に使用するように努めるものとする。(木材及び木材製品は除く)
⑰ 地域材の使用	本工事に使用する木材または木材を原料とする資材を使用する場合は、地域材(道内の森林で産出され、道内で加工された木材)を優先的に使用することとし、使用した材料の種別、産地等を監督員に報告すること。
⑱ 特別な材料の工法	公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)または公共建築工事標準仕様書(建築工事編)に記載されていない特別な材料の工法は、監督員の承諾を受けて当該製品の指定工法によることができる。(1.5.1)
⑲ 石綿含有建材の事前調査等	(1)調査範囲 ※全建材(解体等の作業に係る部分に限る。) ・その他() (2)既存設計図書等の提供 ○既存設計図書 ○成分分析調査報告書(含有建材は図示による) ・石綿事前調査等結果報告書(アスベスト調査票) (3)調査方法 ※書面調査及び現地での目視調査 ・成分分析調査 調査部位()(ヶ所) ・JIS A 1481-1・JIS A 1481-2・JIS A 1481-3・JIS A 1481-4 (4)調査時の注意 構造上目視により確認することが困難な建材については、目視により確認することが可能となった段階で事前調査を行うこと。 石綿含有建材の使用が不明な見え隠れ部分の調査については、保護具を装着するとともに必要に応じて建材を湿潤に保ちながら手ばらしで行うこと。 新たに石綿含有建材と疑わしきものを発見した場合には、速やかに作業を中止し、監督員に報告及び必要な措置について協議すること。
	(5)調査結果の報告等 事前調査が完了した際は、石綿障害予防規則及び大気汚染防止法(以下、大防法)に基づき、以下のとおり各種報告等を行うこと。 (7)監督員に事前調査の結果等を書面で交付し、説明すること。 (4)労働基準監督署及び札幌市(環境局)に事前調査の結果等について報告すること。 (7)事前調査の結果等については、公衆にみやすいように掲示すること。

	(6)変更の協議等 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議する。また、石綿事前調査等結果報告書の内容を更新し、監督員に提出すること。 (7)作業完了の報告 大防法に基づき、特定粉じん排出等作業の完了後、監督員に作業結果を書面で報告すること。 技能士の適用は以下とする。ただし、作業が軽易な場合は監督員の承諾を受けて省略することができる。(標1.5.2)(1.7.2)																																																																		
⑩ 技能士	指定職種 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用工事種類</th> <th>職種</th> <th>技能検定の作業の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋施工</td> <td>・鉄筋組立て作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>型枠施工 コンクリート圧送施工</td> <td>・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>鉄工</td> <td>・構造物鉄工作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブロック・ALCパネル・押出成型セメント板工事</td> <td>ブロック建築 ALCパネル施工</td> <td>・コンクリートブロック工事作業 ・ALCパネル工事作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>防水施工</td> <td>・アスファルト防水工事作業 ・ポリゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石材施工</td> <td>・石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り</td> <td>・タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>建築大工</td> <td>・大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>建築板金</td> <td>・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>内装仕上げ施工 建築板金</td> <td>・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官</td> <td>・左官作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工</td> <td>・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>カーテンウォール施工</td> <td>・金属製カーテンウォール工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>サッシ施工 ガラス施工</td> <td>・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>塗装</td> <td>・建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>内装仕上げ施工</td> <td>・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表装</td> <td>・壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>配管</td> <td>・建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>路面標示施工</td> <td>・溶融ペイント作業 ・加熱ペイント作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園</td> <td>・造園工事作業</td> </tr> </tbody> </table>	適用工事種類	職種	技能検定の作業の種別	仮設工事	とび	・とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業	コンクリート工事	型枠施工 コンクリート圧送施工	・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業	鉄骨工事	鉄工	・構造物鉄工作業	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成型セメント板工事	ブロック建築 ALCパネル施工	・コンクリートブロック工事作業 ・ALCパネル工事作業	防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ・ポリゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業	石工事	石材施工	・石張り作業	タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業	木工事	建築大工	・大工工事作業	屋根及びとい工事	建築板金	・内外装板金作業	金属工事	内装仕上げ施工 建築板金	・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業	左官工事	左官	・左官作業	建具工事	サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工	・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業	カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業		サッシ施工 ガラス施工	・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業	塗装工事	塗装	・建築塗装作業	内装工事	内装仕上げ施工	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業		表装	・壁装作業	排水工事	配管	・建築配管作業	舗装工事	路面標示施工	・溶融ペイント作業 ・加熱ペイント作業	植栽工事	造園	・造園工事作業
適用工事種類	職種	技能検定の作業の種別																																																																	
仮設工事	とび	・とび作業																																																																	
鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業																																																																	
コンクリート工事	型枠施工 コンクリート圧送施工	・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業																																																																	
鉄骨工事	鉄工	・構造物鉄工作業																																																																	
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成型セメント板工事	ブロック建築 ALCパネル施工	・コンクリートブロック工事作業 ・ALCパネル工事作業																																																																	
防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ・ポリゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業																																																																	
石工事	石材施工	・石張り作業																																																																	
タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業																																																																	
木工事	建築大工	・大工工事作業																																																																	
屋根及びとい工事	建築板金	・内外装板金作業																																																																	
金属工事	内装仕上げ施工 建築板金	・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業																																																																	
左官工事	左官	・左官作業																																																																	
建具工事	サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工	・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業																																																																	
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業																																																																	
	サッシ施工 ガラス施工	・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業																																																																	
塗装工事	塗装	・建築塗装作業																																																																	
内装工事	内装仕上げ施工	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業																																																																	
	表装	・壁装作業																																																																	
排水工事	配管	・建築配管作業																																																																	
舗装工事	路面標示施工	・溶融ペイント作業 ・加熱ペイント作業																																																																	
植栽工事	造園	・造園工事作業																																																																	
11 特許権等	特許権等の出願を行う場合は、あらかじめ発注者と協議する。(1.1.11) 一般財団法人 札幌市住宅管理公社建設工事請負契約約款第8条に基づく特許権、実用新案等、意匠権、商標権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利(以下「特許権等」という)の対象となっている工事材料及び施工方法等。 ・特許権等の種類() 付保する保険：工事の内容により、火災保険、建設工事保険、組立保険等の一以上の保険を付す。 保険の期日：始期一保険の目的物が工事現場に搬入される日終期一しゅん功期限+14日以上 (1)受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するため、法定外の労災保険を付す。 (2)前項で定める保険契約を締結したときは、その証券又はこれに代わるものの写しを速やかに監督員へ提出する。																																																																		
⑫ 火災保険等																																																																			
⑬ 法定外の労災保険の付保																																																																			

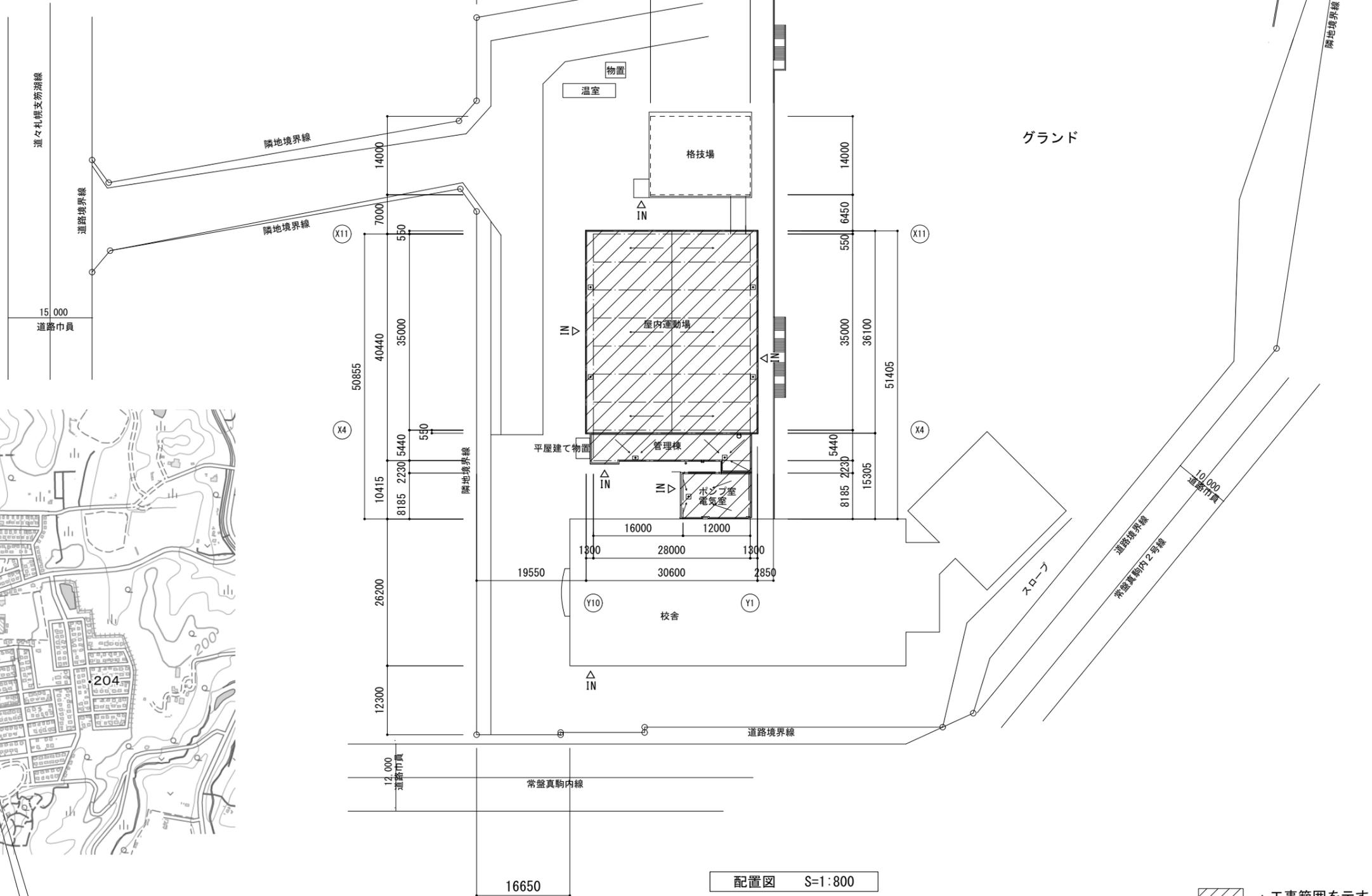
⑭ 公衆災害の防止及び安全管理	受注者は工事にあたって安全施工を図り公衆災害を防止するため、「建築工事安全施工技術指針」及び「建設工事公衆災害防止対策要綱」を遵守しなければならない。また、有害ガス又は引火性ガスの発生の恐れある場合は、安全を確認し作業を行う。
⑮ 交通安全及び公害対策	(1)ダンプトラック等、大型貨物運搬車両による土砂及び工事用資材の輸送に当たっては、踏切、スクールゾーン等、工事車両が人命等に影響を及ぼす区間が輸送路になる場合、または埃、振動、騒音等の害をおよぼす区間が輸送路になる場合は、必要に応じて地域住民及び関係機関等の連絡を密にして交通安全の確保、公害等の対策に万全を期さねばならない。 (2)工事期間中は、交通誘導警備員を以下の条件に沿って配置し、現場内における安全確保に努めなければならない。なお、必要となる交通誘導警備員の人数は、作業形態に応じた配置計画等とともに、あらかじめ監督員と協議すること。 【配置条件】 ・() ※図示による (3)北海道公安委員会の認定する路線における工事現場については、一級又は二級検定合格警備員を配置する。(1.3.9)
16 揮発性有機化合物対策	本工事に使用する化学物質を放散(発散)させる建築材料等は、設計図書に規定する所定の品質及び性能を有するとともに、揮発性有機化合物の放散(発散)が少ない材料の使用に努めるほか、以下を満たすものとする。(1.4.1) (1)ホルムアルデヒド放散(発散)建築材料に指定されている材料は、F☆☆☆☆等の規制対象外材料とする。 (2)接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、1)のほか、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (3)保温材、緩衝材、断熱材は、1)のほか、スチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (4)屋内に使用する塗料は、厚生労働省「室内空気汚染に係るガイドライン」で指定された13物質(以下、13物質)を放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (5)木質建材、家具、建具類及び二次製品は、(1)のほか、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (6)ワックスは有機リン系化合物を含有していないものを使用し、13物質を放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ※施工時・施工後引渡し前には、揮発性有機化合物の放散(発散)を促進するため、繰り返し換気を行うこと。
17 揮発性有機化合物の室内濃度測定	受注者は、揮発性有機化合物の室内濃度測定を行い、厚生労働省の指針値以下であることを確認の上、測定結果を監督員に提出しなければならない。(1.7.9) (1)測定物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン (2)測定方法 (※拡散方式・吸引方式) (7)居室の窓及び扉(造付け家具、押入れその他これらに類するものの扉を含む)を30分間開放し、窓及び扉を5時間以上閉鎖した後、その状態で採取を行うこと。 また連続的な運転が確保できる換気設備がある場合は稼働させ、当該換気設備の給排気口は開放することができる。 (4)居室の中央付近の床から概ね1.2mから1.5mまでの高さにおいて採取を行うこと。(学校の教室等については、机上の高さで行うこと。) (7)採取時間は、吸引方式では30分以上継続して、同時に又は連続して2回以上行うこと。 また、拡散方式では8時間以上とする。(拡散方式とは、測定パッチ・パッシブサンプラー) (5)ホルムアルデヒドは、DNPH誘導体化固相吸着/溶媒抽出-高速液体クロマトグラフ法によること。 (7)その他の揮発性有機化合物は、固相吸着/溶媒抽出法、固相吸着/加熱脱着法または、容器採取法とガスクロマトグラフ/質量分析法の組合せによること。

(一財)札幌市住宅管理公社	令和 年 月 日	工事名	常盤中学校屋内運動場外部改修工事		図番
		図面名	特記仕様書 1	縮尺	A-01



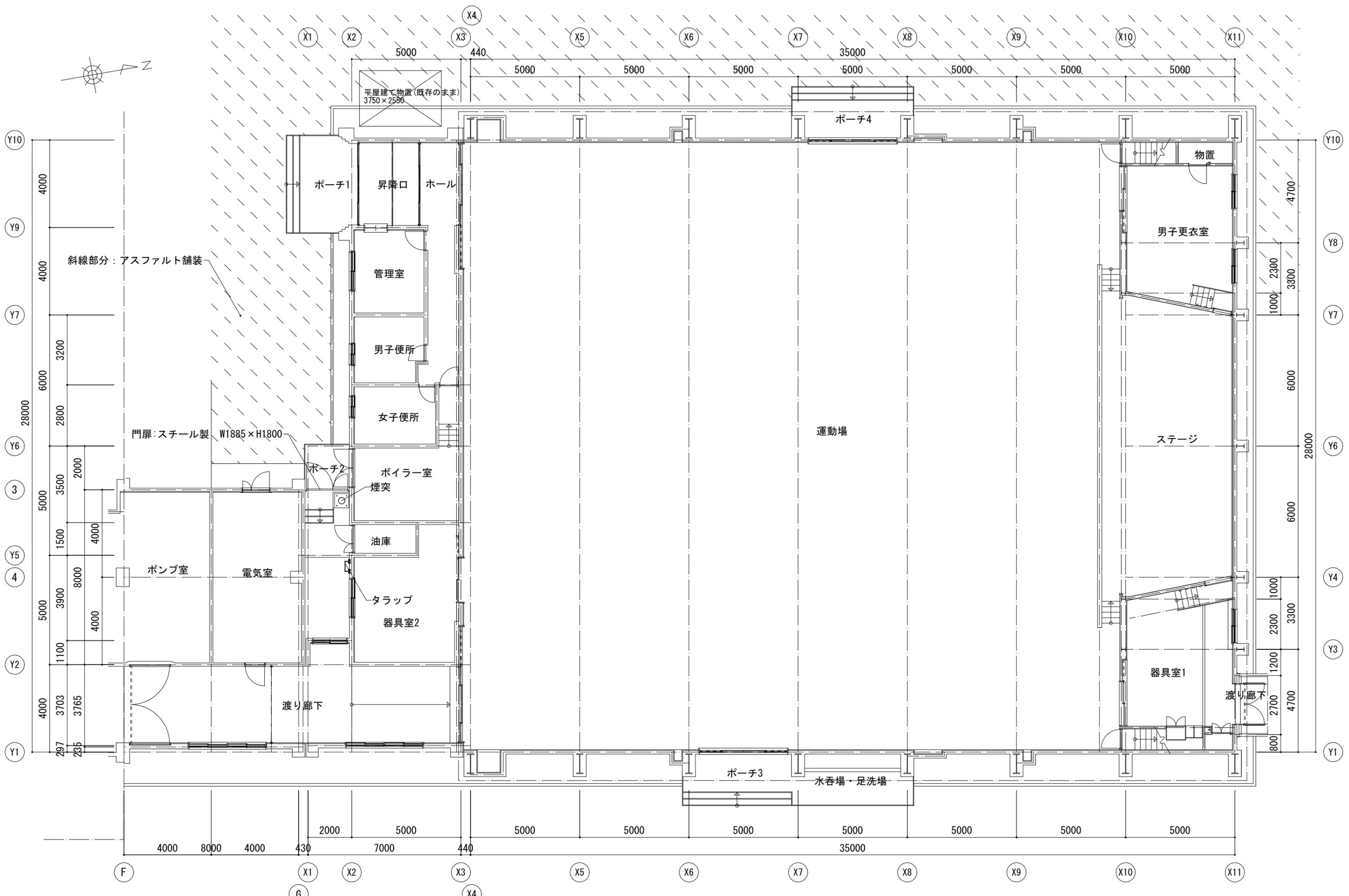
付近見取図

工事場所：札幌市南区常盤2条2丁目



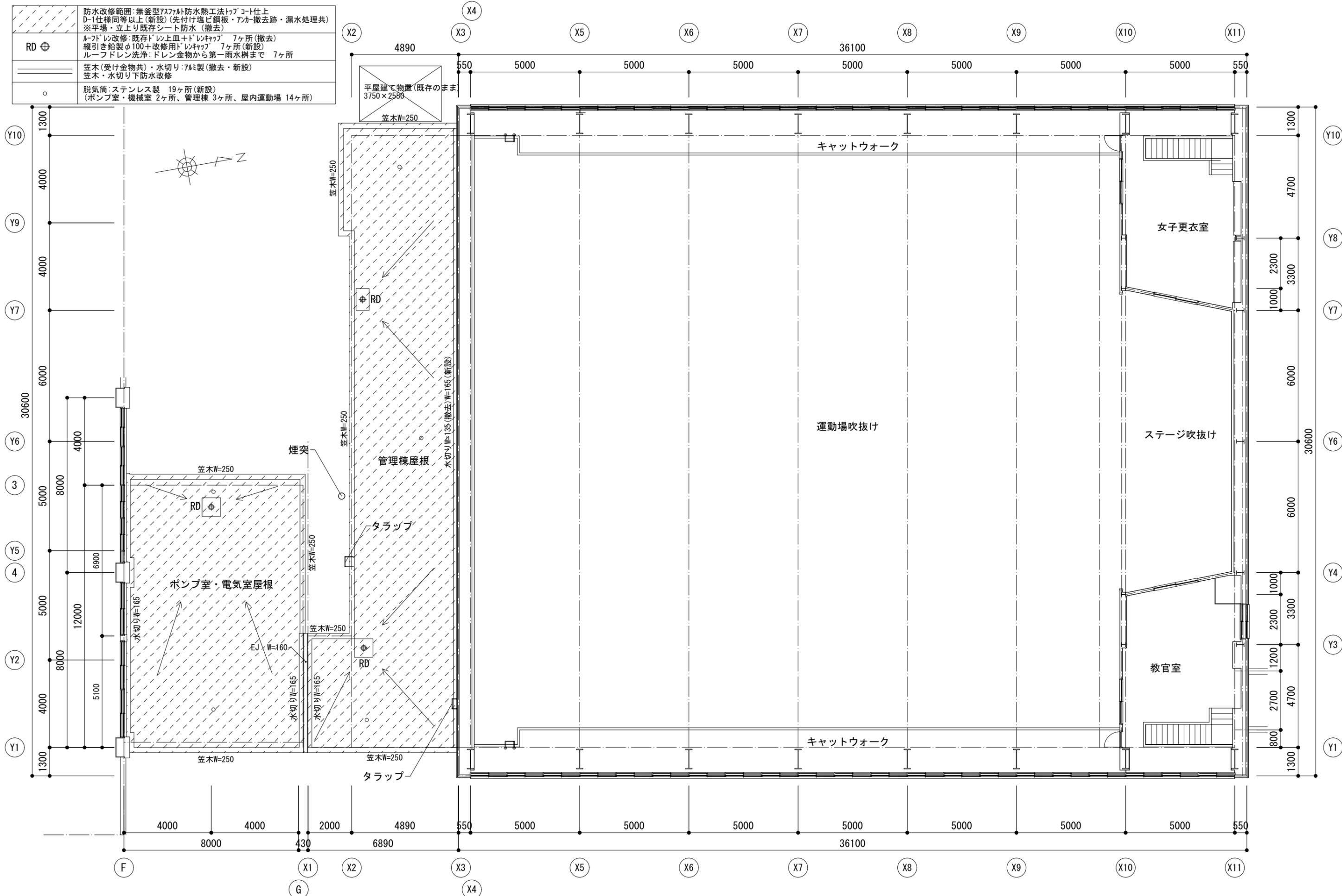
: 工事範囲を示す。

日付	工事名 常盤中学校屋内運動場外部改修工事	図面名称 付近見取図・配置図	縮尺 S=1:800	 一級建築士事務所 早川文雄建築設計室	一級建築士事務所登録(石)第2717号 一級建築士登録(大臣)第200231号 早川文雄	製図	承認	図面番号 A-09
----	-------------------------	-------------------	---------------	---------------------------	--	----	----	--------------



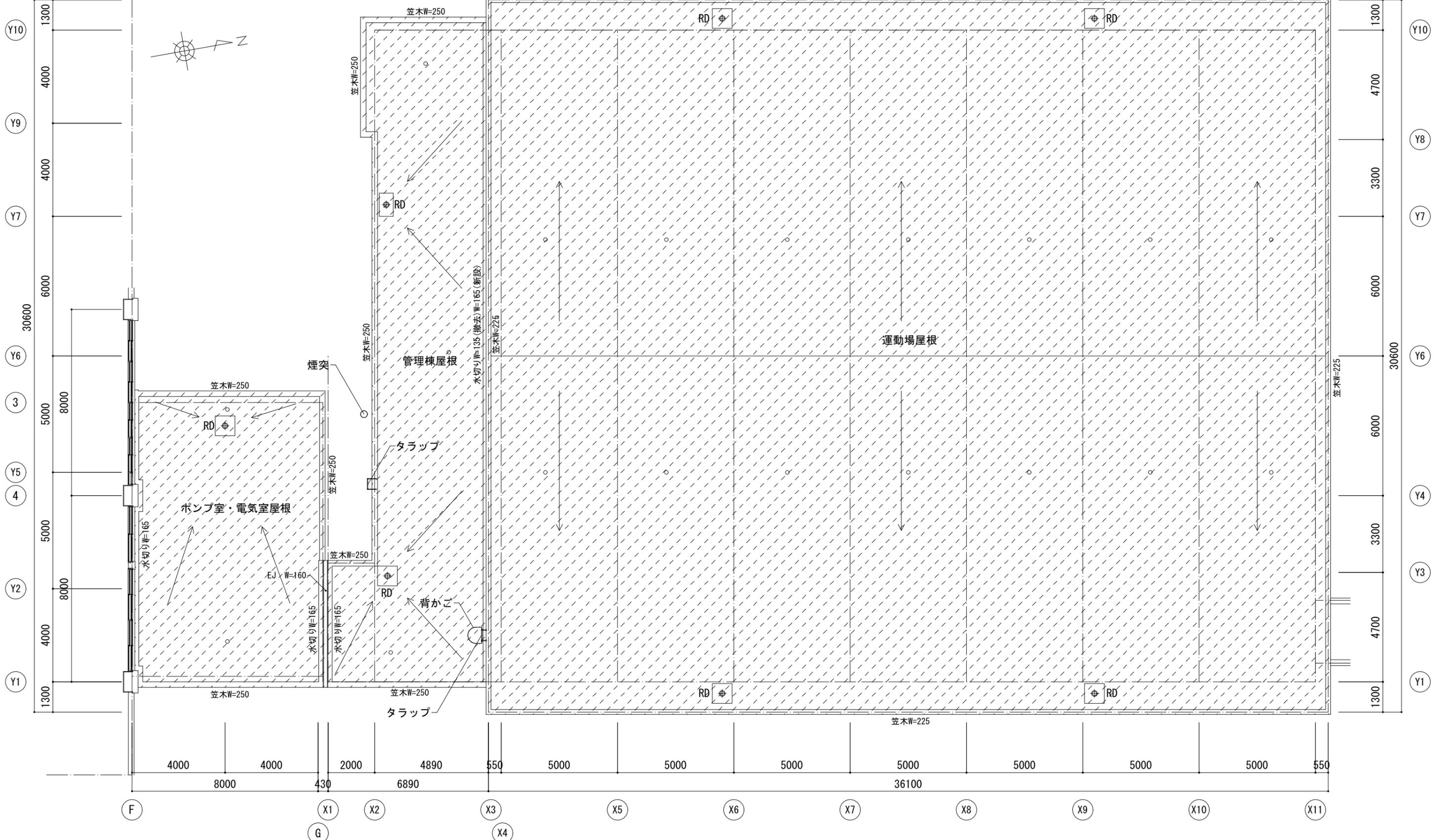
日付	工事名	図面名称	縮尺	一級建築士事務所 早川文雄建築設計室	一級建築士事務所登録(石)第2717号 一級建築士登録(大臣)第200231号 早川文雄	製図	承認	図面番号
	常盤中学校屋内運動場外部改修工事	1階平面図	S=1:150					A-10

	防水改修範囲:無釜型7スファルト防水熱工法トップコート仕上 D-1仕様同等以上(新設)(先付け塩ビ鋼板・アンカ撤去跡・漏水処理共) ※平場・立上り既存シート防水(撤去)
RD ⊕	ルーフDレ改修:既存Dレ上皿+ドレキャップ 7ヶ所(撤去) 縦引き鉛製φ100+改修用Dレキャップ 7ヶ所(新設) ルーフトレ洗浄:ドレ金物から第一雨水樹まで 7ヶ所
	笠木(受け金物共)・水切り:7mm製(撤去・新設) 笠木・水切り下防水改修
○	脱気筒:ステンレス製 19ヶ所(新設) (ポンプ室・機械室 2ヶ所、管理棟 3ヶ所、屋内運動場 14ヶ所)

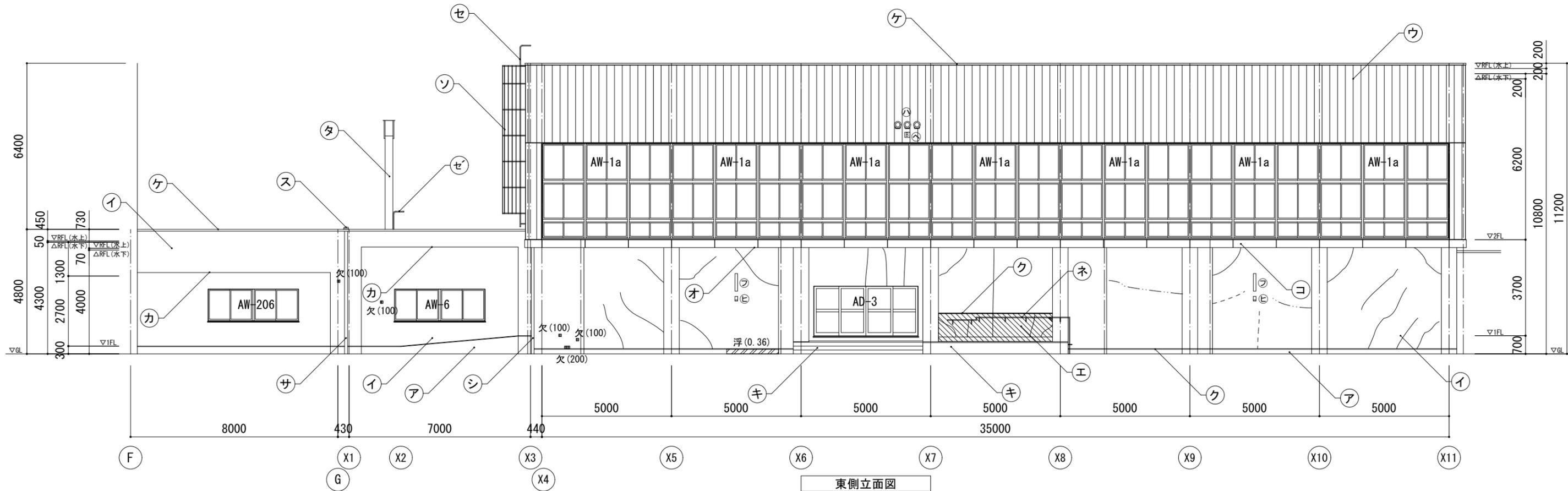


日付	工事名 常盤中学校屋内運動場外部改修工事	図面名称 2階平面図	縮尺 S=1:150	 一級建築士事務所 早川文雄建築設計室	一級建築士事務所登録(石)第2717号 一級建築士登録(大臣)第200231号 早川文雄	製図	承認	図面番号 A-11
----	-------------------------	---------------	---------------	---	--	----	----	--------------

	防水改修範囲:無釜型7スファルト防水熱工法トップコート仕上 D-1仕様同等以上(新設)(先付け塩ビ鋼板・アーカー撤去跡・漏水処理共) ※平場・立上り既存シート防水(撤去)
RD ⊕	ルーフ改修:既存ドレン皿+ドレンキャップ 7ヶ所(撤去) 縦引き鉛製φ100+改修用ドレンキャップ 7ヶ所(新設) ルーフドレン洗浄:ドレン金物から第一雨水樹まで 7ヶ所
—	笠木(受け金物共)・水切り:7mm製(撤去・新設) 笠木・水切り下防水改修
○	脱気筒:ステンレス製 19ヶ所(新設) (ポンプ室・機械室 2ヶ所、管理棟 3ヶ所、屋内運動場 14ヶ所)

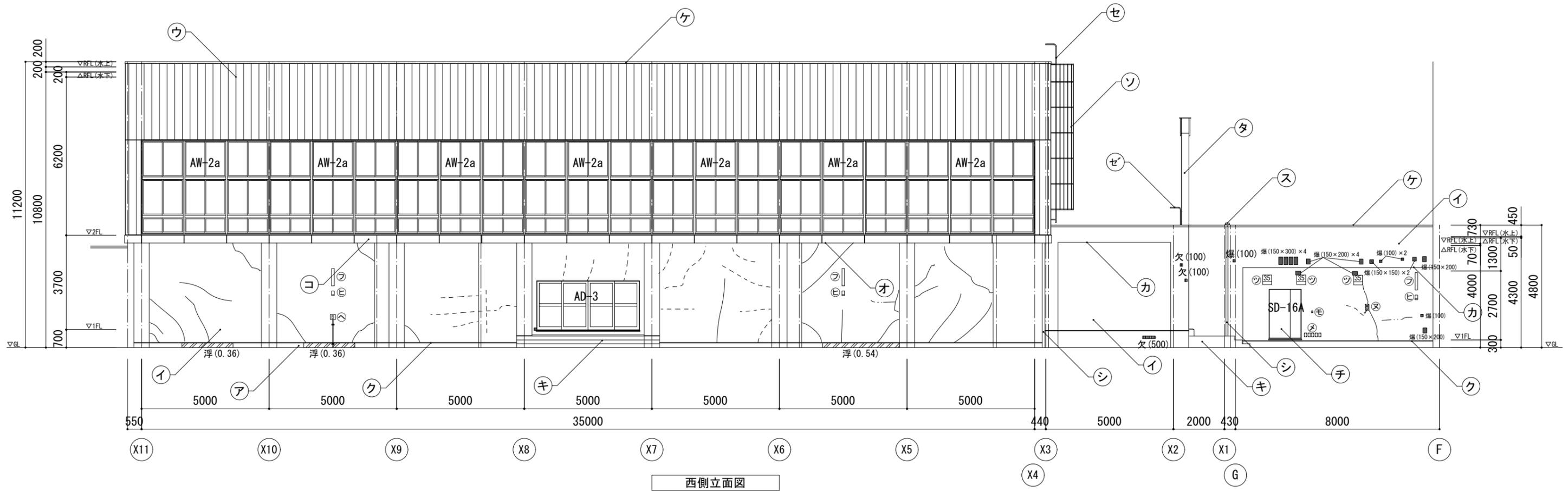


日付	工事名	図面名称	縮尺	一級建築士事務所 早川文雄建築設計室	一級建築士事務所登録(石)第2717号 一級建築士登録(大臣)第200231号 早川文雄	製図	承認	図面番号
	常盤中学校屋内運動場外部改修工事	屋根伏図	S=1:150					A-12

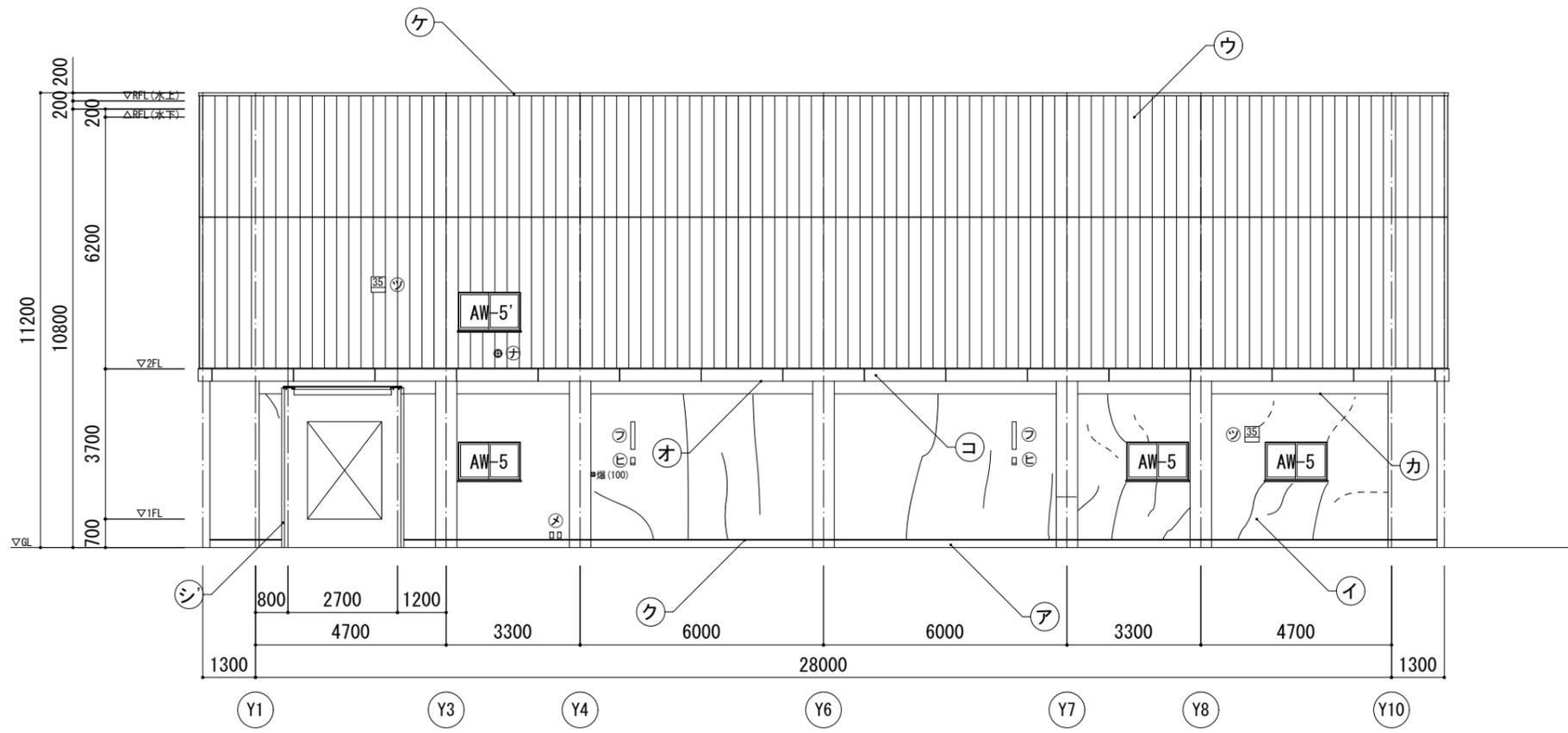


東側立面図

改修凡例		平面図・立面図共通事項		改修前		改修後		
部位	記号	改修前	改修後	部位	記号	改修前	改修後	
基礎	ア	コンクリート打放	既存コンクリート打放:高圧洗浄、劣化部補修 エポキシ樹脂モルタル金ゴテ t=3 GL-100まで(新設)	水道メーターボックス	㊦	樹脂製 W170×D100×H170 1ヶ所	樹脂製 W170×D100×H170 1ヶ所(既存のまま)	
外壁1	イ	コンクリート打放 AEPリシン吹付 下地調整材(石綿含有率 ^レ #3)	既存コンクリート打放AEPリシン吹付塗膜除去:塗膜剝離剤工法(環境配慮型) 劣化部補修、下地調整塗材(C-2)防水型複層塗材E(新設)	水道管	㊧	鋼製 φ25 1ヶ所	鋼製 φ25 1ヶ所(既存のまま) 下地調整(RB種)の上 DP (新設)	
外壁2	ウ	鋼板、下地:ウレタンボード t=20、透湿・防水シート	鋼板(撤去)、下地:ウレタンボード t=20、透湿防水シート(撤去) 金属サイディング縦張 標準品(ガルバリウムカラー鋼板+断熱材) t=0.35 山高H=15以上(新設) 下地:透湿防水シート、強化石膏ボード t=15 防水・防カビ性(新設) 防火構造:PC03ONE-0084	防犯カメラ+照明器具	㊨	金属製 φ120 1ヶ所	金属製 φ120 1ヶ所(既存のまま)	
外壁3(足洗場)	エ	コンクリート打放 ウレタン系エナメル塗装 (石綿含有率 ^レ #3みなし)	既存コンクリート打放ウレタン系エナメル塗装除去:塗膜剝離剤工法(環境配慮型) 劣化部補修、下地調整塗材(C-2)、DP(新設)	スピーカー	㊩	樹脂製 W300×D300×H150 3ヶ所	樹脂製 W300×D300×H150 3ヶ所(取外し・再取付)	
スラブ軒天	オ	コンクリート型枠兼用内装下地材 AEPリシン吹付(石綿含有率 ^レ #3みなし)	既存コンクリート型枠兼用内装下地材AEPリシン吹付塗膜除去:塗膜剝離剤工法(環境配慮型) 劣化部補修、防水型複層塗材E(新設)	防水コンセント	㊪	樹脂製 W70×H120 8ヶ所	樹脂製 W70×H120 8ヶ所(既存のまま)	
梁下軒天	カ	コンクリート打放 AEPリシン吹付(石綿含有率 ^レ #3みなし)	既存コンクリート打放AEPリシン吹付塗膜除去:塗膜剝離剤工法(環境配慮型) 劣化部補修、下地調整塗材(C-2)防水型複層塗材E(新設)	照明器具	㊫	樹脂製 W100×D100×H680 7ヶ所、W110×D100×H600 1ヶ所	樹脂製 W100×D100×H680 7ヶ所、W110×D100×H600 1ヶ所 (足場に仮設置後・復旧)	
ポーチ	キ	モルタルコテ押え t=30(石綿含有率 ^レ #3) コーナーアングル:ステンレス L-30×30×3	既存モルタルコテ押え t=30(撤去)、既存コーナーアングル:ステンレス L-30×30×3(撤去) モルタル金ゴテ押え t=30(新設)、コーナーアングル:ステンレス L-30×30×3(新設)	ブルックス	㊬	溶融亜鉛メッキ製 W200×D100×H200 2ヶ所、シーリング 10×10	溶融亜鉛メッキ製 W200×D100×H200 1ヶ所(取外し・再取付)、1ヶ所(既存のまま) シーリング 10×10 MS-2(撤去・新設)	
打継目地	ク	シーリング 10×15	シーリング 10×15 PS-2(撤去・新設)	電気錠	㊭	金属製 W75×D50×H120 1ヶ所	金属製 W75×D50×H120 1ヶ所(既存のまま)	
笠木	ケ	アルミ製(既製品) ノンシールタイプ W=225、W=275	アルミ製(既製品) ノンシールタイプ W=225、W=250(撤去・新設)	電気プレート	㊮	金属製 W75×D50×H120 1ヶ所	金属製 W75×D50×H120 1ヶ所(既存のまま)	
水切り	コ	アルミ製水切り t=2、目地:シーリング 10×10	既存アルミ製水切り t=2(既存のまま)、高圧洗浄(新設)、目地:シーリング 10×10 MS-2(撤去・新設)	表示板	㊯	樹脂製 W150×H650 1ヶ所、W150×H500 1ヶ所 W160×H80 1ヶ所、W80×H250 1ヶ所	樹脂製 W150×H650 1ヶ所、W150×H500 1ヶ所(既存のまま) W160×H80 1ヶ所、W80×H250 1ヶ所(既存のまま)	
EJ-7	カ	アルミ製 10×160	アルミ製 10×160(既存のまま)	表示板	㊺	金属製 W600×H300 3ヶ所	金属製 W600×H300 3ヶ所(撤去・新設) 詳細は、A-37図による。	
EJ-8	キ	アルミ製 75×105、70×165	アルミ製 75×105、70×165(既存のまま)	接地埋設標	㊻	金属製 W90×H140 7ヶ所	金属製 W90×H140 7ヶ所(撤去・新設)詳細は、A-37図による。	
EJ-9	ク	アルミ製 30×160	アルミ製 30×160(撤去)、アルミ製 W600(新設)	水道止水栓・メーター表示板	㊼	金属製 W50×H75 1ヶ所	金属製 W50×H75 1ヶ所(既存のまま)	
タラップ	ケ	㊽ ステンレス製 HL W450×L7000 1ヶ所 ㊾ ステンレス製 HL W450×L3700 1ヶ所	㊽ ステンレス製 HL W450×L7000 1ヶ所(取外し・再取付)、ステンレス #1(取外し・再取付)、ゴムパッキン(新設) ㊾ ステンレス製 HL W450×L3700 1ヶ所(既存のまま)	門扉	㊽	スチール製 W1885×H1800 1ヶ所	スチール製 W1885×H1800 1ヶ所(既存のまま)、下地調整(RB種)の上 DP(新設) 7ヶ所(既存のまま) 1ヶ所(撤去) L-45×45×4 H100 あと施工アナー M10 2本留(新設)	
背かご	コ	ステンレス製 HL W700×D600×L6300 1ヶ所	ステンレス製 HL W700×D600×L6300 1ヶ所(取外し・再取付)	外壁改修概要				
煙突	カ	ステンレス製パイプ HL φ300 1ヶ所 ベースモルタル t=30(石綿含有率 ^レ #3みなし) 基礎:コンクリート打放	ステンレス製パイプ HL φ300 1ヶ所(既存のまま) 欠損部ベース外 t=30(撤去)、劣化部補修、エポキシ樹脂モルタルコテ押え t=30(新設) 基礎:劣化部補修、エポキシ樹脂モルタル金ゴテ t=3(新設)	記号		劣化部分	改修工法	全体数量
スチールドア	キ	スチール製 t=1.6 1200×2200 OP 1ヶ所 スチール製 t=1.6 1700×1900 OP 1ヶ所 スチール製 t=1.6 1200×1900 OP 1ヶ所	既存スチール製 t=1.6 OP 1200×2200 1ヶ所、1700×1900 1ヶ所、1200×1900 1ヶ所(既存のまま) ドアスチール錆腐食部分:スチールプレート t=1.6 520×140 補強溶接止(新設) 下地調整(RB種)の上 DP 両面塗(新設)	ひび割れ (W<0.2mm未満)	---	シール工法:パテ状エポキシ樹脂	34.75m	
換気扇フード	ク	ステンレス製 W350×D350×H350 HL 5ヶ所 シーリング 10×10 ステンレス製 W330×D400×H330 HL 2ヶ所 シーリング 10×10 ステンレス製 W300×D400×H300 HL 1ヶ所 シーリング 10×10 ステンレス製 W250×D250×H250 HL 2ヶ所 シーリング 10×10	ステンレス製 W350×D350×H350 HL 5ヶ所(既存のまま) シーリング 10×10 MS-2(撤去・新設) ステンレス製 W330×D400×H330 HL 2ヶ所(既存のまま) シーリング 10×10 MS-2(撤去・新設) ステンレス製 W300×D400×H300 HL 1ヶ所(既存のまま) シーリング 10×10 MS-2(撤去・新設) ステンレス製 W250×D250×H250 HL 2ヶ所(既存のまま) シーリング 10×10 MS-2(撤去・新設)	横ひび割れ (0.2mm<W<1.0mm以下)	---	樹脂注入工法:自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	14.28m	
通気口	ケ	金属プレート 70×100 2ヶ所	金属プレート 70×100 2ヶ所(既存のまま)	縦・斜めひび割れ (0.2mm<W<1.0mm以下)	---	Uカットシール材充填工法	115.15m	
通気管	コ	スチールパイプ φ25 L1000 1ヶ所	スチールパイプ φ25 L1000 1ヶ所(既存のまま)	欠	---	コンクリート欠損部 (100×長さ) 幅100以上は図示特記	充填工法:ポリマーセメントモルタル補修	
FF排気筒	カ	スチール製 2ヶ所	スチール製 2ヶ所(既存のまま)	爆	---	コンクリート爆裂部鉄筋露出 (100×長さ) 幅100以上は図示特記	充填工法:鉄筋防錆処理の上、エポキシ樹脂モルタル補修	
オイルタンク警報装置ボックス	ク	スチール製 W170×D100×H170 1ヶ所	スチール製 W170×D100×H170 1ヶ所(既存のまま)	基礎コンクリート素地 (浮き部m)	---	基礎コンクリート素地 (浮き部m)	劣化部改修後、エポキシ樹脂モルタル補修	
				基礎モルタル (はがれ部m)	---	基礎モルタル (はがれ部m)	劣化部改修後、エポキシ樹脂モルタル補修	

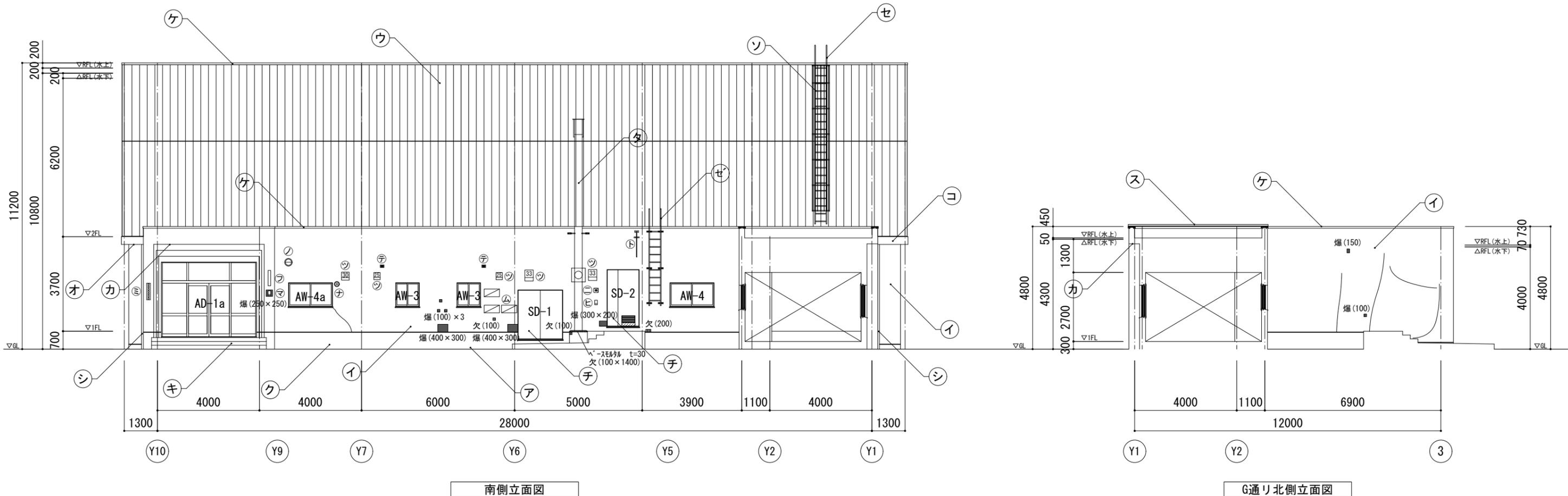


西側立面図



北側立面図

日付	工事名 常盤中学校屋内運動場外部改修工事	図面名称 立面図 2 (改修前・後)	縮尺 S=1:150	 一級建築士事務所 早川文雄建築設計室	一級建築士事務所登録 (石) 第2717号 一級建築士登録 (大臣) 第200231号 早川文雄	製図	承認	図面番号 A-14
----	-------------------------	-----------------------	---------------	---	--	----	----	--------------



南側立面図

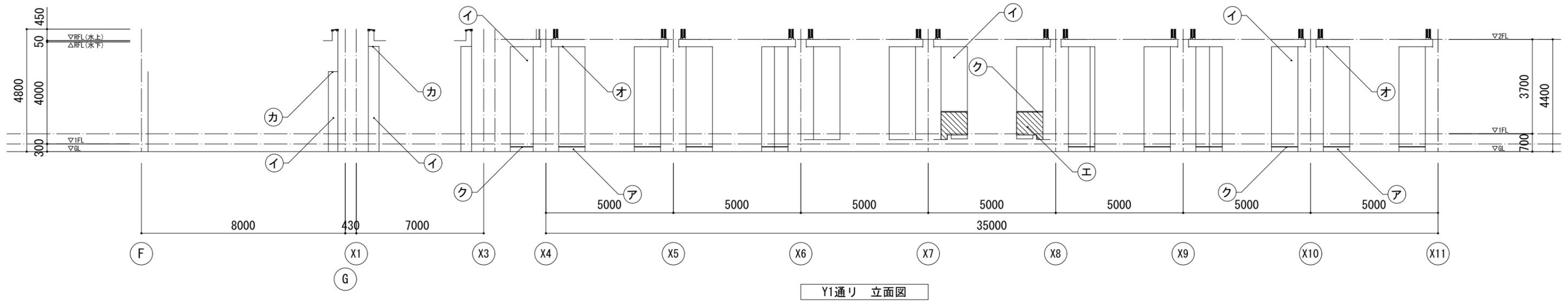
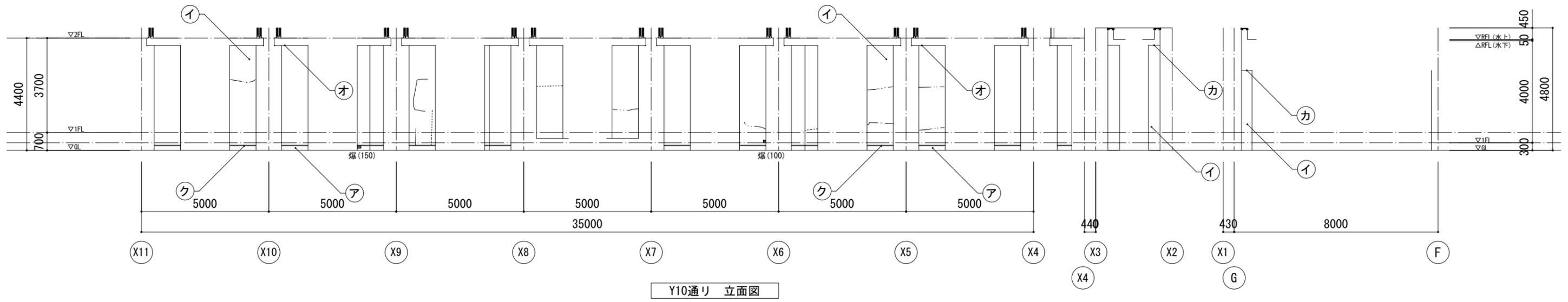
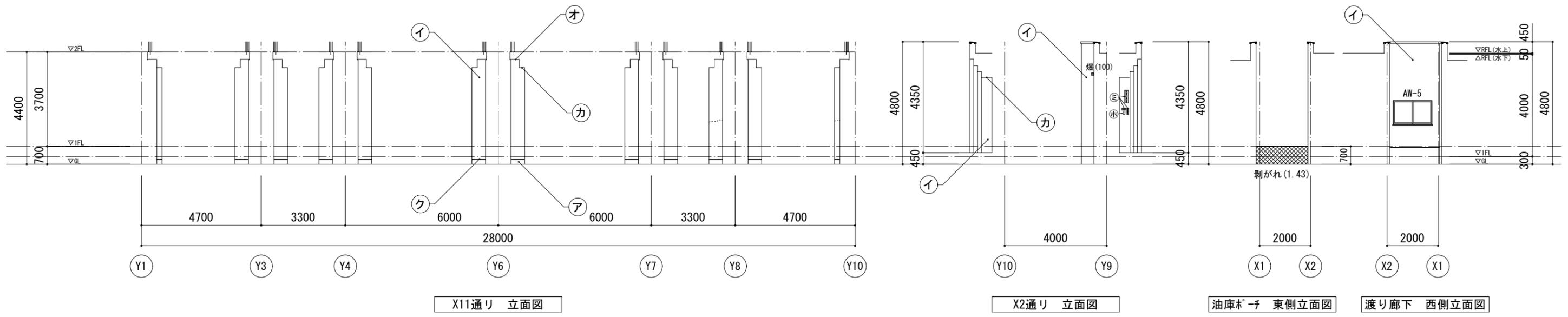
G通り北側立面図

凡例			
記号	現状	改修概要	数量
欠	コンクリート欠損部 (100×100)	充填工法: ポリマーセメントモルタル補修	8ヶ所
	コンクリート欠損部 (100×200)	充填工法: ポリマーセメントモルタル補修	2ヶ所
	コンクリート欠損部 (100×500)	充填工法: ポリマーセメントモルタル補修	1ヶ所
	コンクリート欠損部 (100×1400)	充填工法: ポリマーセメントモルタル補修	1ヶ所
爆	コンクリート爆裂部鉄筋露出 (100×100)	充填工法: 鉄筋防錆処理の上、エポキシ樹脂モルタル補修	10ヶ所
	コンクリート爆裂部鉄筋露出 (100×150)	充填工法: 鉄筋防錆処理の上、エポキシ樹脂モルタル補修	2ヶ所
	コンクリート爆裂部鉄筋露出 (150×150)	充填工法: 鉄筋防錆処理の上、エポキシ樹脂モルタル補修	2ヶ所
	コンクリート爆裂部鉄筋露出 (150×200)	充填工法: 鉄筋防錆処理の上、エポキシ樹脂モルタル補修	6ヶ所
	コンクリート爆裂部鉄筋露出 (150×300)	充填工法: 鉄筋防錆処理の上、エポキシ樹脂モルタル補修	4ヶ所
	コンクリート爆裂部鉄筋露出 (250×250)	充填工法: 鉄筋防錆処理の上、エポキシ樹脂モルタル補修	1ヶ所
	コンクリート爆裂部鉄筋露出 (300×200)	充填工法: 鉄筋防錆処理の上、エポキシ樹脂モルタル補修	1ヶ所
	コンクリート爆裂部鉄筋露出 (400×300)	充填工法: 鉄筋防錆処理の上、エポキシ樹脂モルタル補修	2ヶ所
	基礎コンクリート素地 (浮き部m ²)	劣化部改修後、エポキシ樹脂モルタル補修	1.6m ²
基礎モルタル (はがれ部m ²)	劣化部改修後、エポキシ樹脂モルタル補修	1.4m ²	

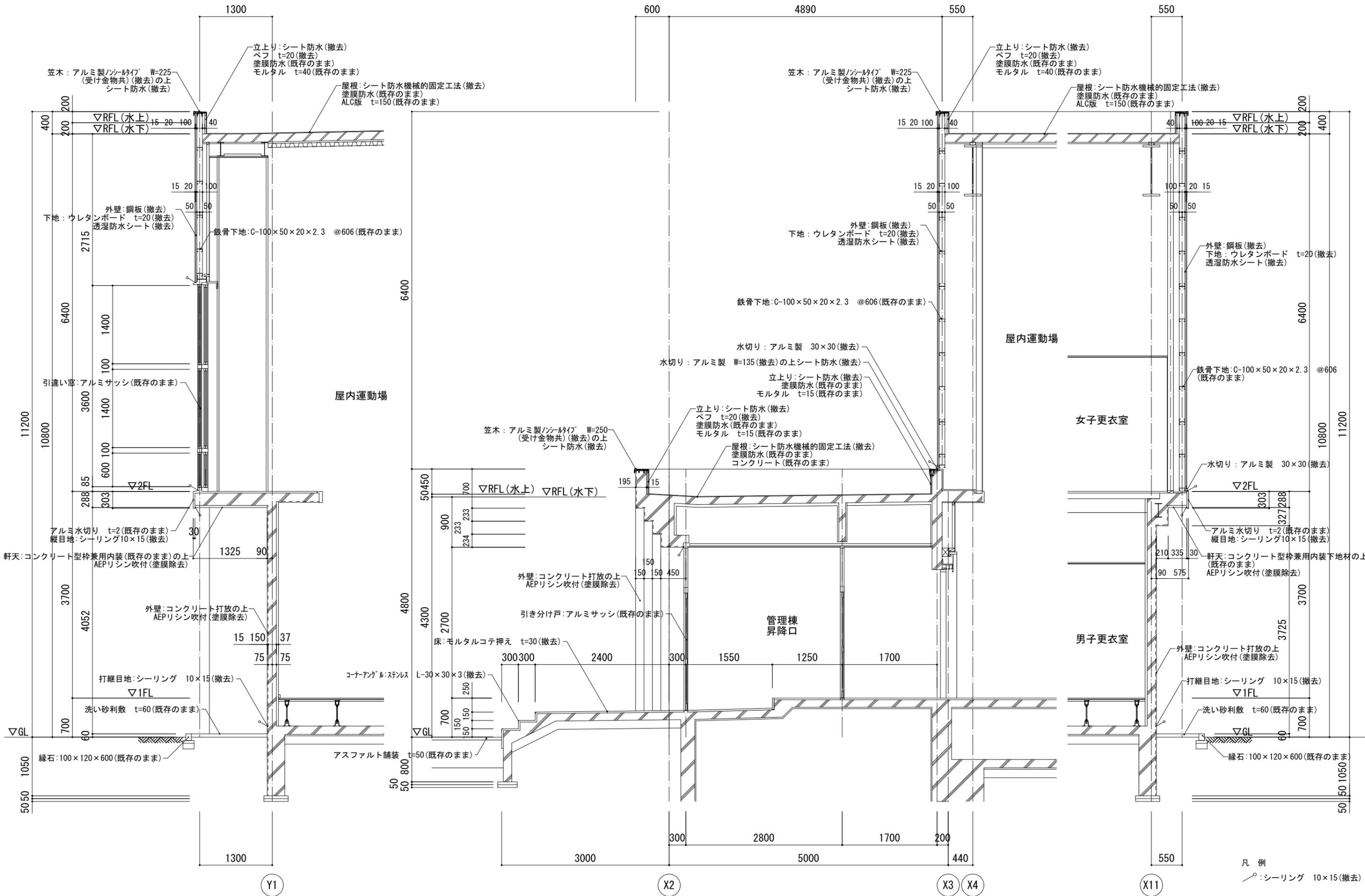
ガラス廻り シーリングリスト(5×5 撤去・新設) 種類: SR-1 シリコーン系					
建具記号	建具寸法(W×H)	施工部位	ヶ所	1ヶ所当り シーリング長さ(m)	シーリング長さ(m)
AD-1a	3652×2885	7#ミ・ガラス	1	39.382	39.382
AD-3	4000×1900	7#ミ・ガラス	2	26.760	53.520
AW-1a	5000×3600	7#ミ・ガラス	7	64.128	448.896
AW-2a	5000×3600	7#ミ・ガラス	7	64.128	448.896
AW-3	900×900	7#ミ・ガラス	2	4.800	9.600
AW-4	1700×900	7#ミ・ガラス	1	6.400	6.400
AW-4a	1700×900	7#ミ・ガラス	1	6.400	6.400
AW-5	1500×900	7#ミ・ガラス	4	6.000	24.000
AW-5'	1500×900	7#ミ・ガラス	1	6.000	6.000
AW-6	3470×1200	7#ミ・ガラス	1	15.200	15.200
AW-206	3470×1200	7#ミ・ガラス	1	15.200	15.200

ADの既存ガラス留めシーリング(撤去・新設)
AWの既存ガラス留めガスケット見えかき撤去後、シーリング(新設)

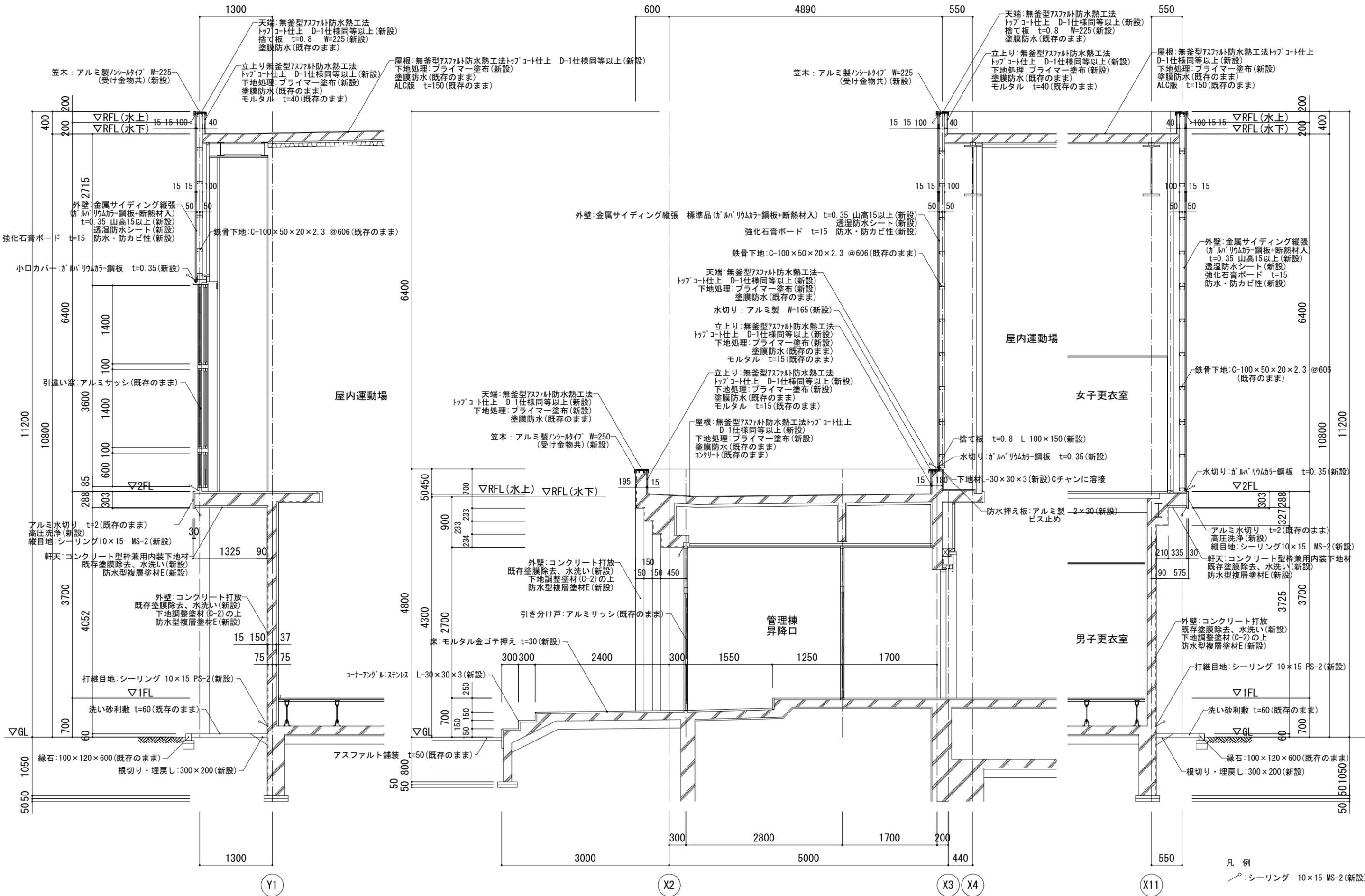
建具廻り シーリングリスト(15×10 撤去・新設) 種類: MS-2 変成シリコーン系					
建具記号	枠外寸法(W×H)	施工部位	ヶ所	1ヶ所当り シーリング長さ(m)	シーリング長さ(m)
SD-1	1760×1960	四方・水切	1	5.480	5.480
SD-2	1260×2260	四方・水切	1	8.300	8.300
SD-16A	1260×1960	四方・水切	1	7.700	7.700
AD-1a	3682×2900	三方	1	9.482	9.482
AD-3	4030×1935	四方・水切	2	15.960	15.960
AW-1a	5000×3700	上下・側面	7+2	10.000×7+3.700×2	77.400
AW-2a	5000×3700	上下・側面	7+2	10.000×7+3.700×2	77.400
AW-3	930×955	四方・水切	2	4.700	9.400
AW-4	1730×955	四方・水切	1	7.100	7.100
AW-4a	1730×955	四方・水切	1	7.100	7.100
AW-5	1530×955	四方・水切	4	6.500	26.000
AW-5'	1530×1010	四方・水切	1	5.600	5.600
AW-6	3500×1255	四方・水切	1	13.010	13.010
AW-206	3500×1255	四方・水切	1	13.010	13.010



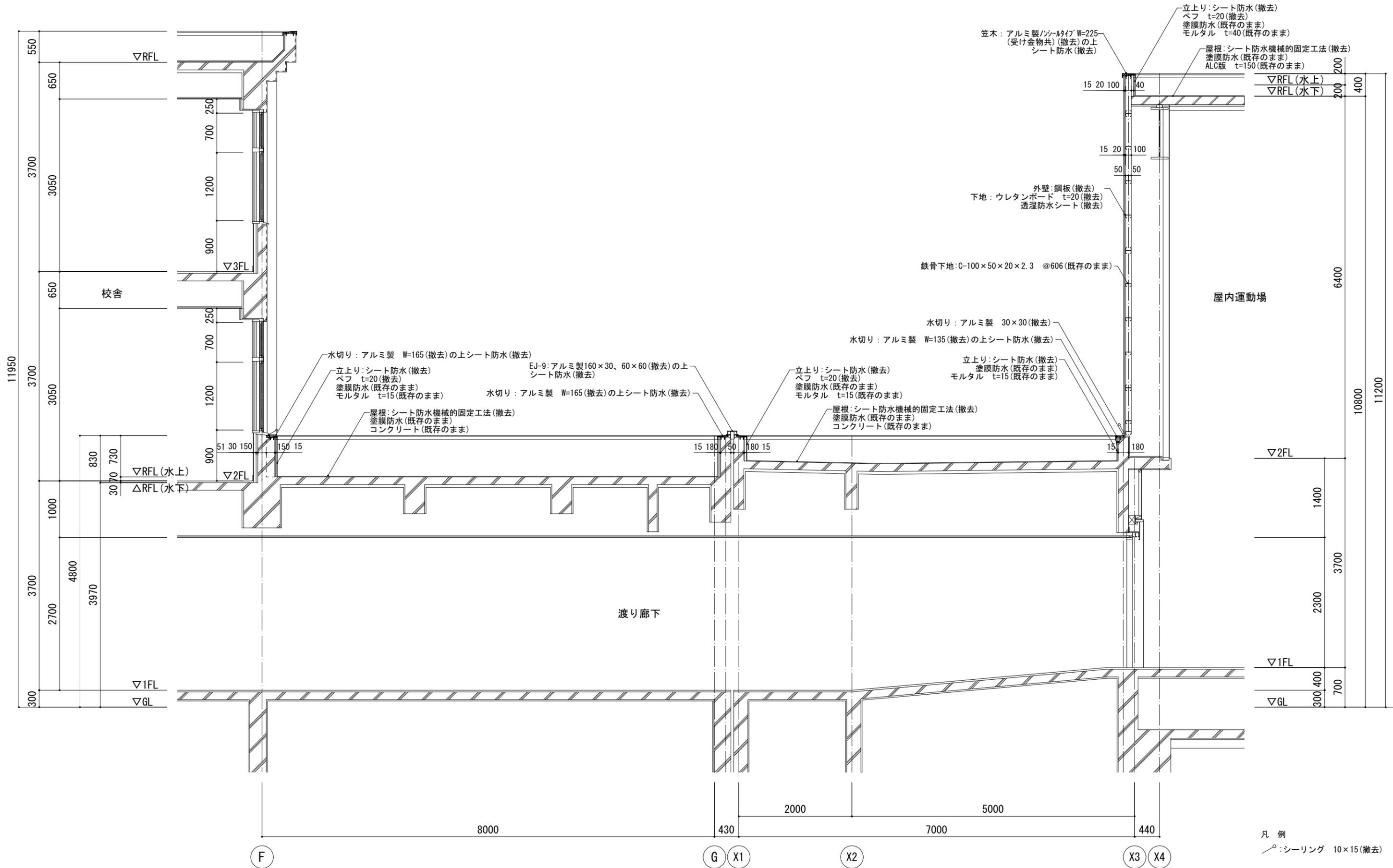
日付	工事名 常盤中学校屋内運動場外部改修工事	図面名称 立面図4 (改修前・後)	縮尺 S=1:150	 一級建築士事務所 早川文雄建築設計室	一級建築士事務所登録(石)第2717号 一級建築士登録(大臣)第200231号 早川文雄	製図	承認	図面番号 A-16
----	-------------------------	----------------------	---------------	---	--	----	----	--------------



日付	工事名	図面名称	縮尺	一級建築士事務所 早川文雄建築設計室	一級建築士事務所登録 (石) 第2717号 一級建築士登録 (大臣) 第200231号 早川文雄	製図	承認	図面番号
	常盤中学校屋内運動場外部改修工事	矩計図 1 (改修前)	S=1:60					A-17

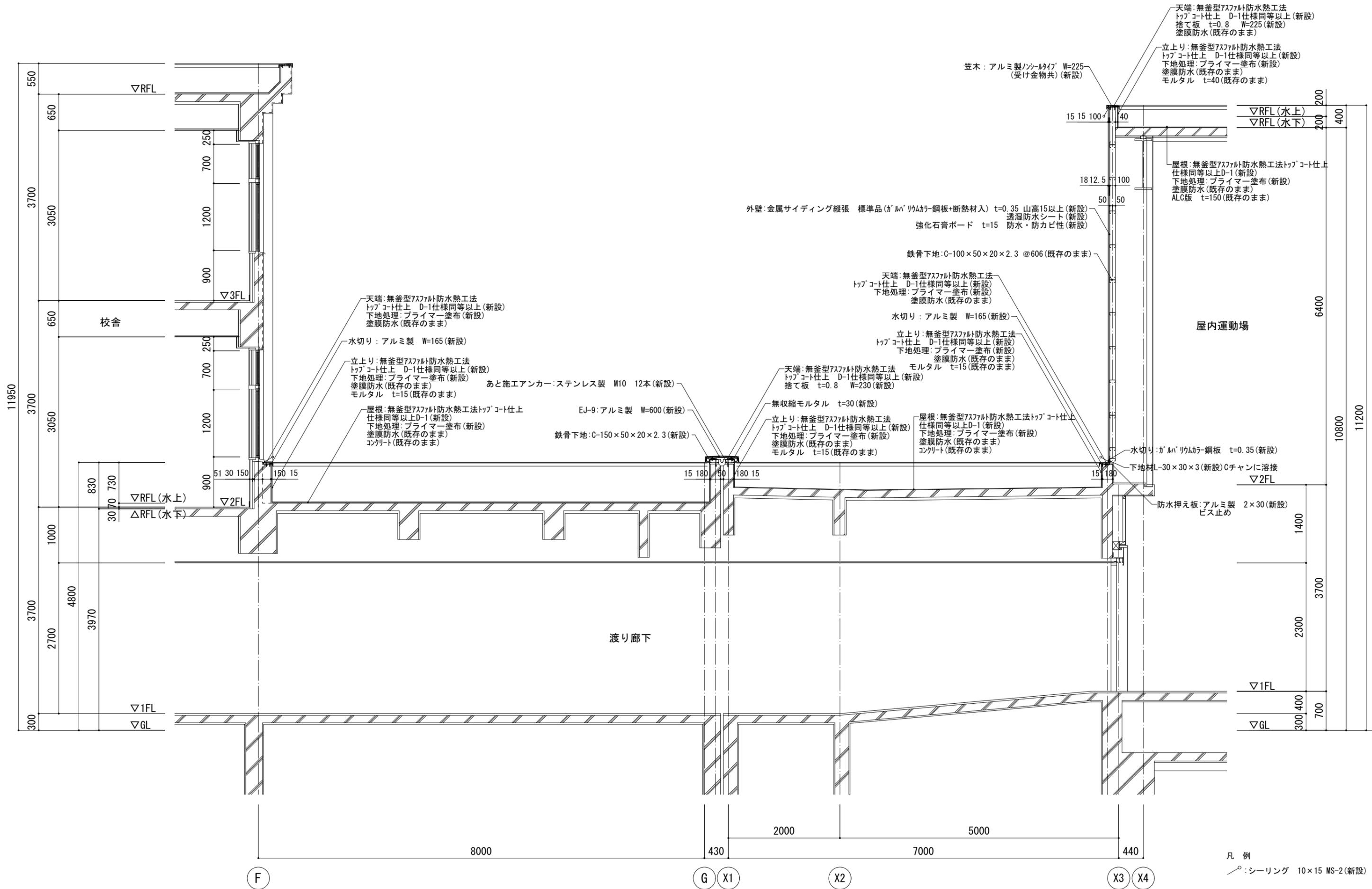


日付	工事名	図面名称	縮尺	一級建築士事務所 早川文雄建築設計室	一級建築士事務所登録(石)第2717号 一級建築士登録(大臣)第200231号 早川文雄	製図	承認	図面番号
	常盤中学校屋内運動場外部改修工事	矩計図1(改修後)	S=1:60					A-18



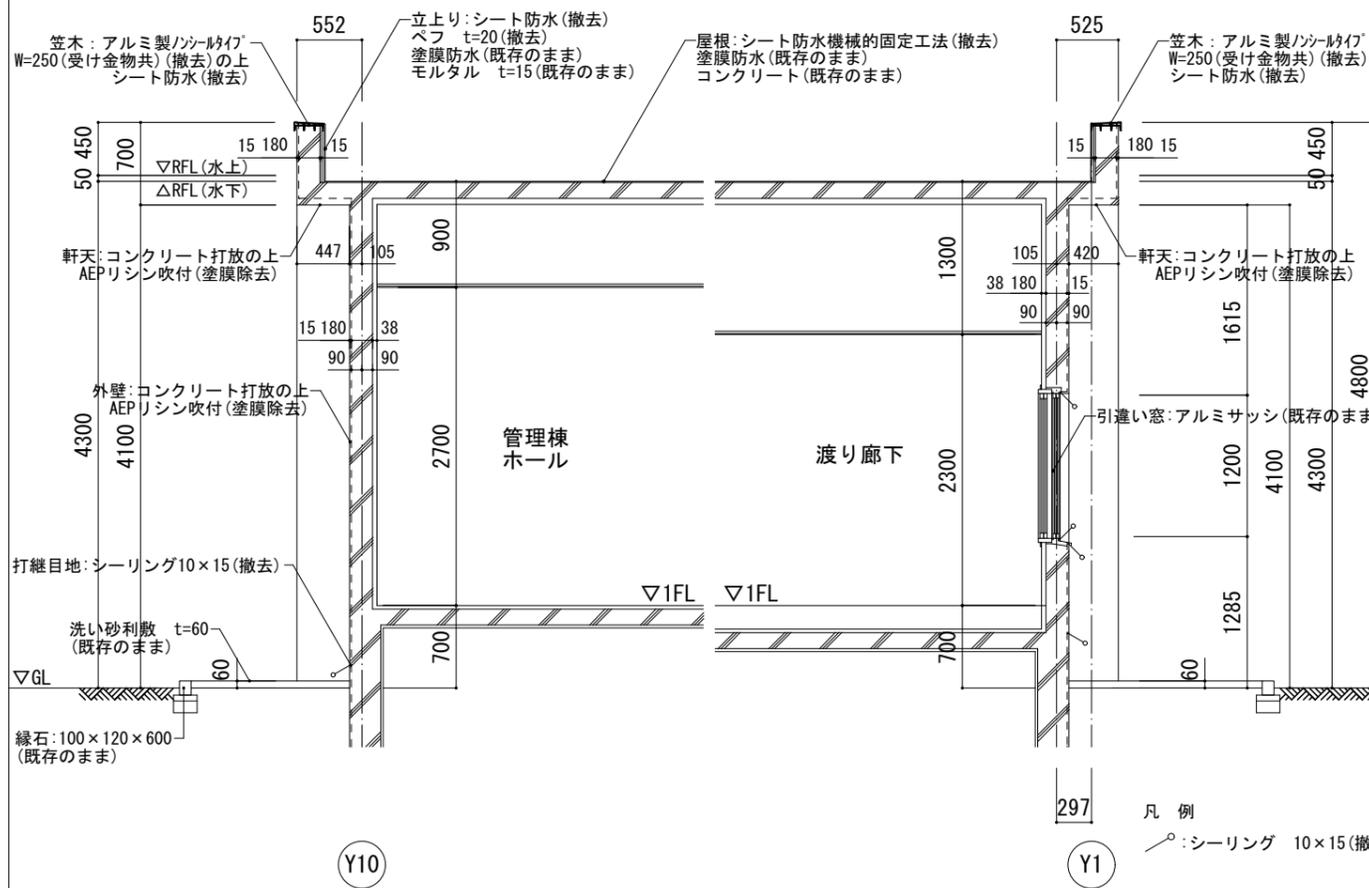
凡例
○: シーリング 10×15(撤去)

日付	工事名 常盤中学校屋内運動場外部改修工事	図面名称 矩計図2 (改修前)	縮尺 S=1:60	 一級建築士事務所 早川文雄建築設計室	一級建築士事務所登録(石)第2717号 一級建築士登録(大臣)第200231号 早川文雄	製図	承認	図面番号 A-19
----	-------------------------	--------------------	--------------	---	--	----	----	--------------

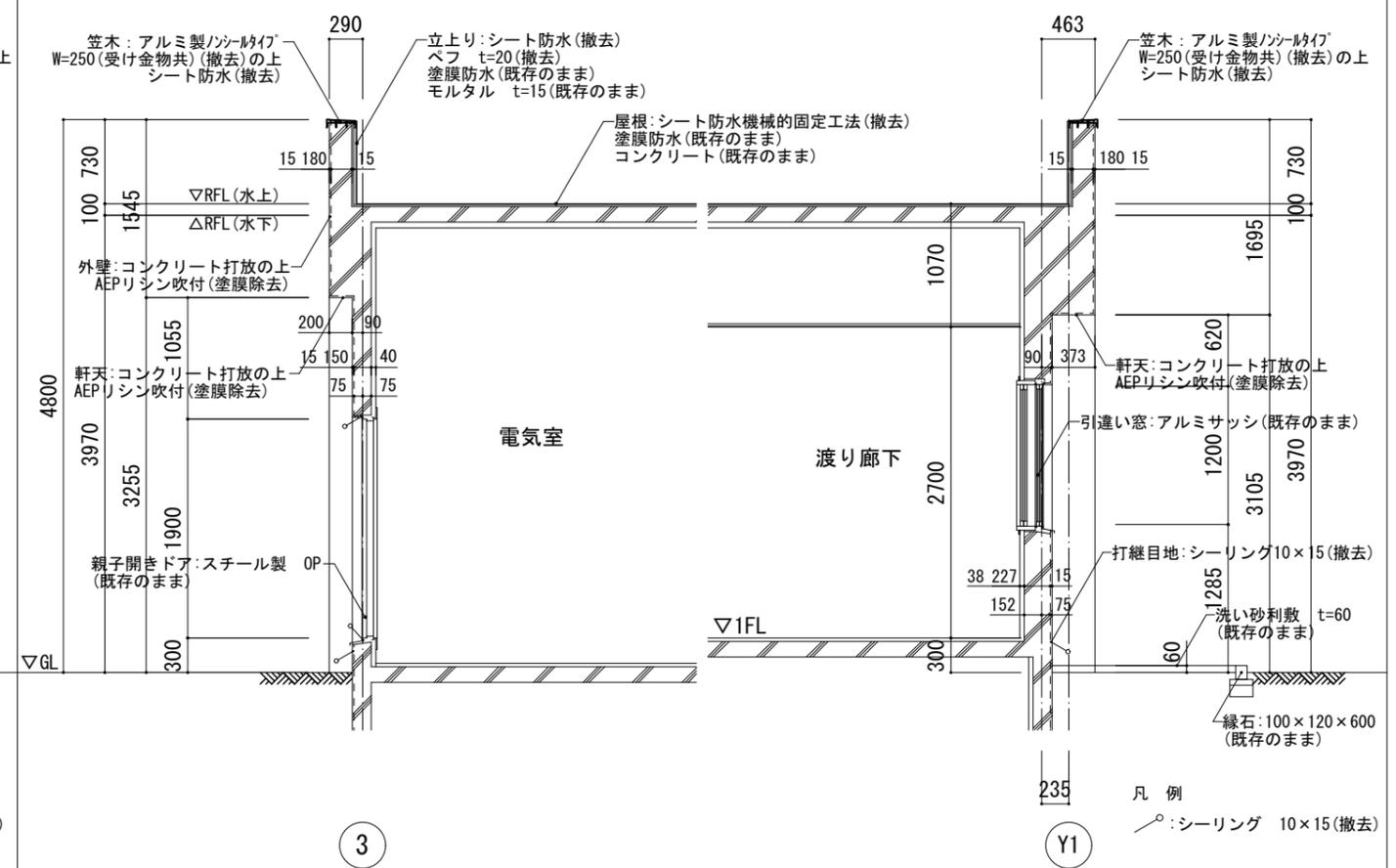


日付	工事名 常盤中学校屋内運動場外部改修工事	図面名称 矩計図2(改修後)	縮尺 S=1:60	 一級建築士事務所 早川文雄建築設計室	一級建築士事務所登録(石)第2717号 一級建築士登録(大臣)第200231号 早川文雄	製図	承認	図面番号 A-20
----	-------------------------	-------------------	--------------	---	--	----	----	--------------

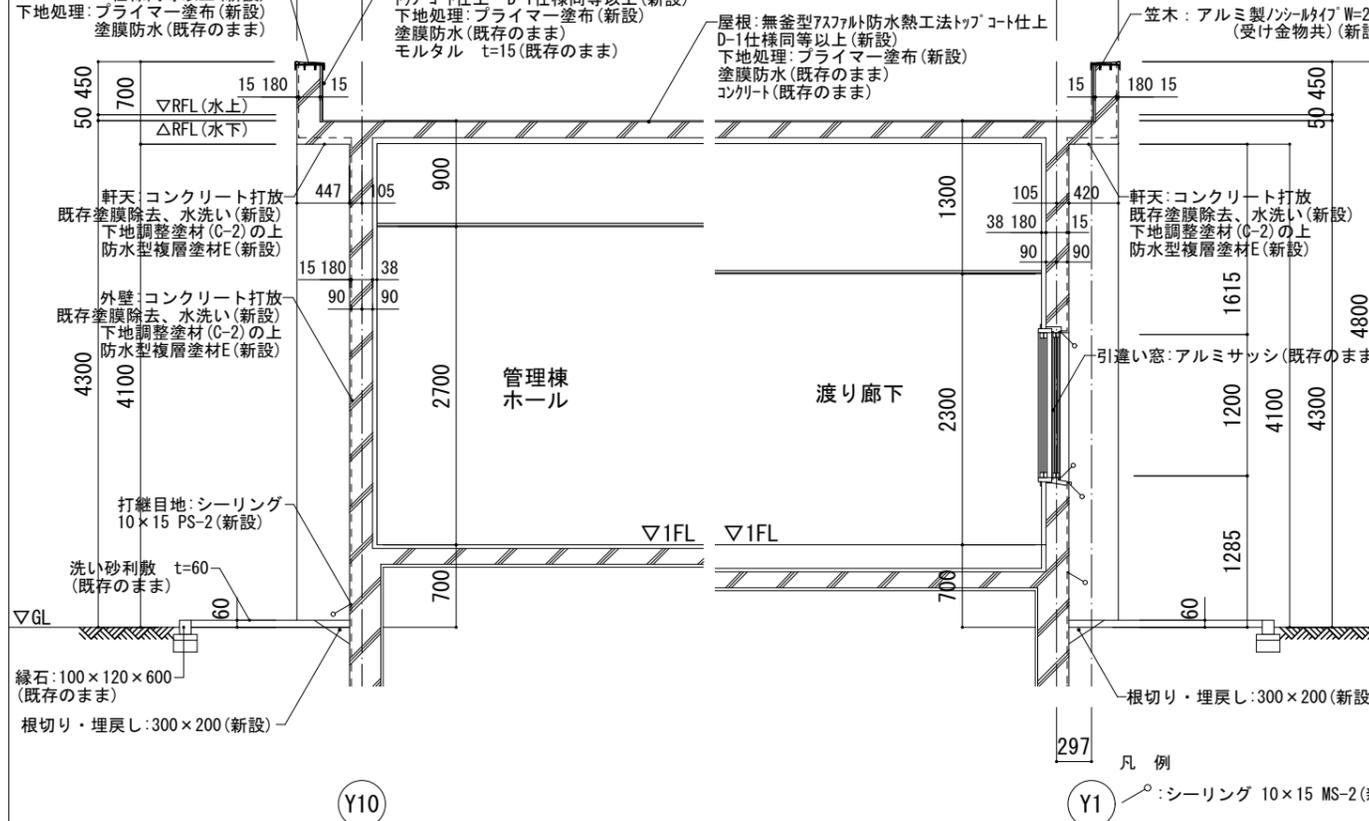
管理棟：ホール～渡り廊下 矩計図



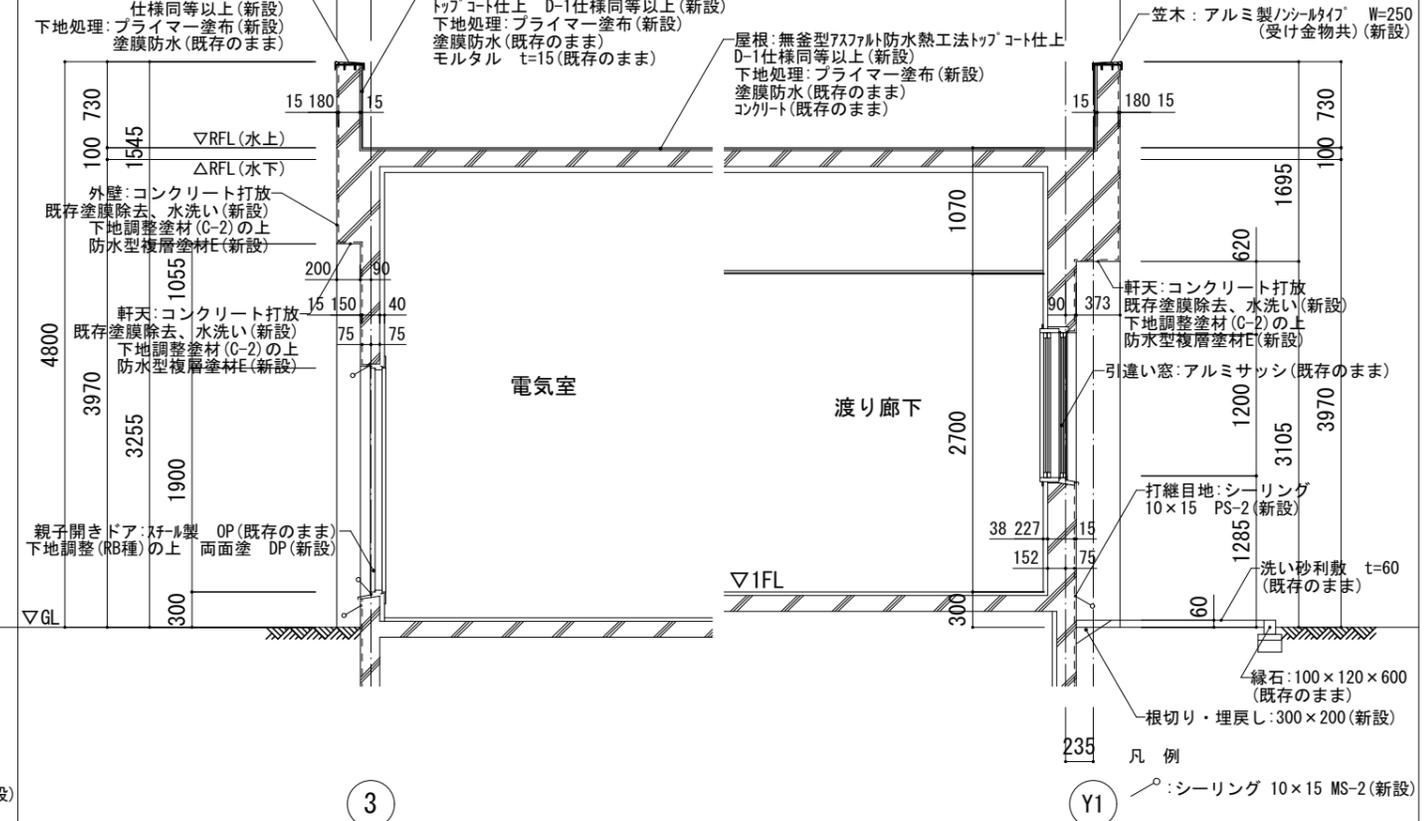
電気室～渡り廊下 矩計図



管理棟：ホール～渡り廊下 矩計図

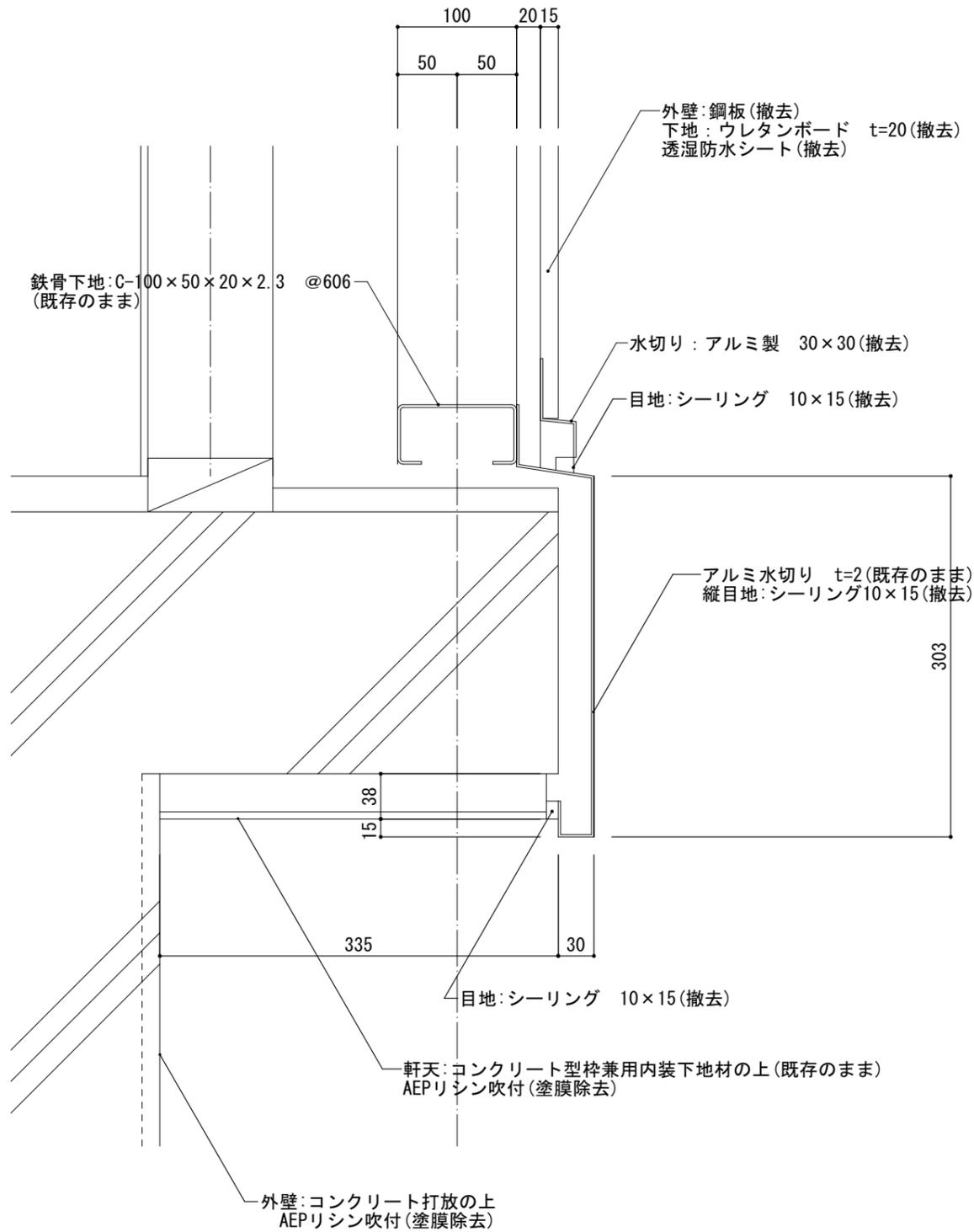


電気室～渡り廊下 矩計図

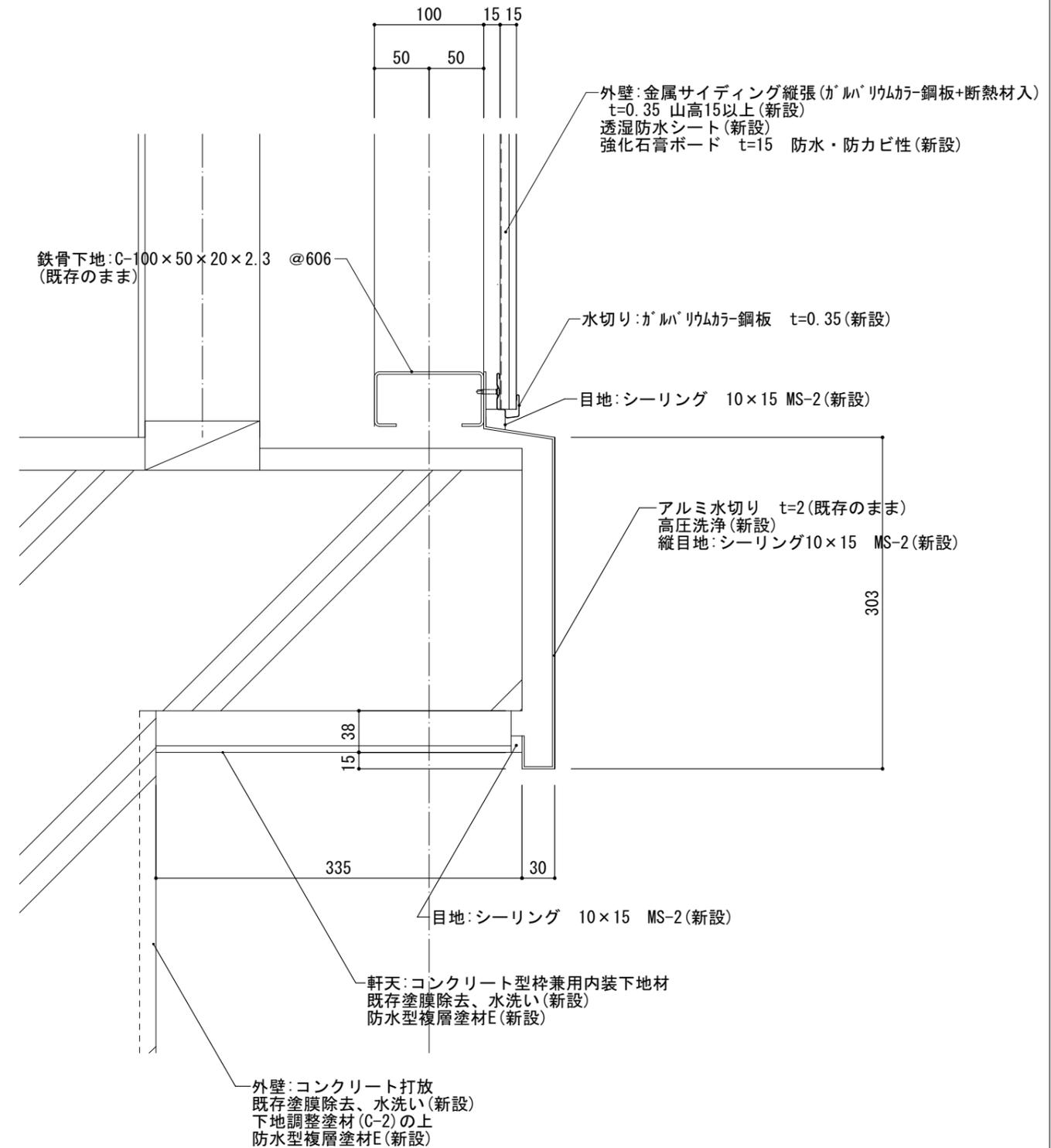


外壁と水切り取り合い部分詳細図

改修前

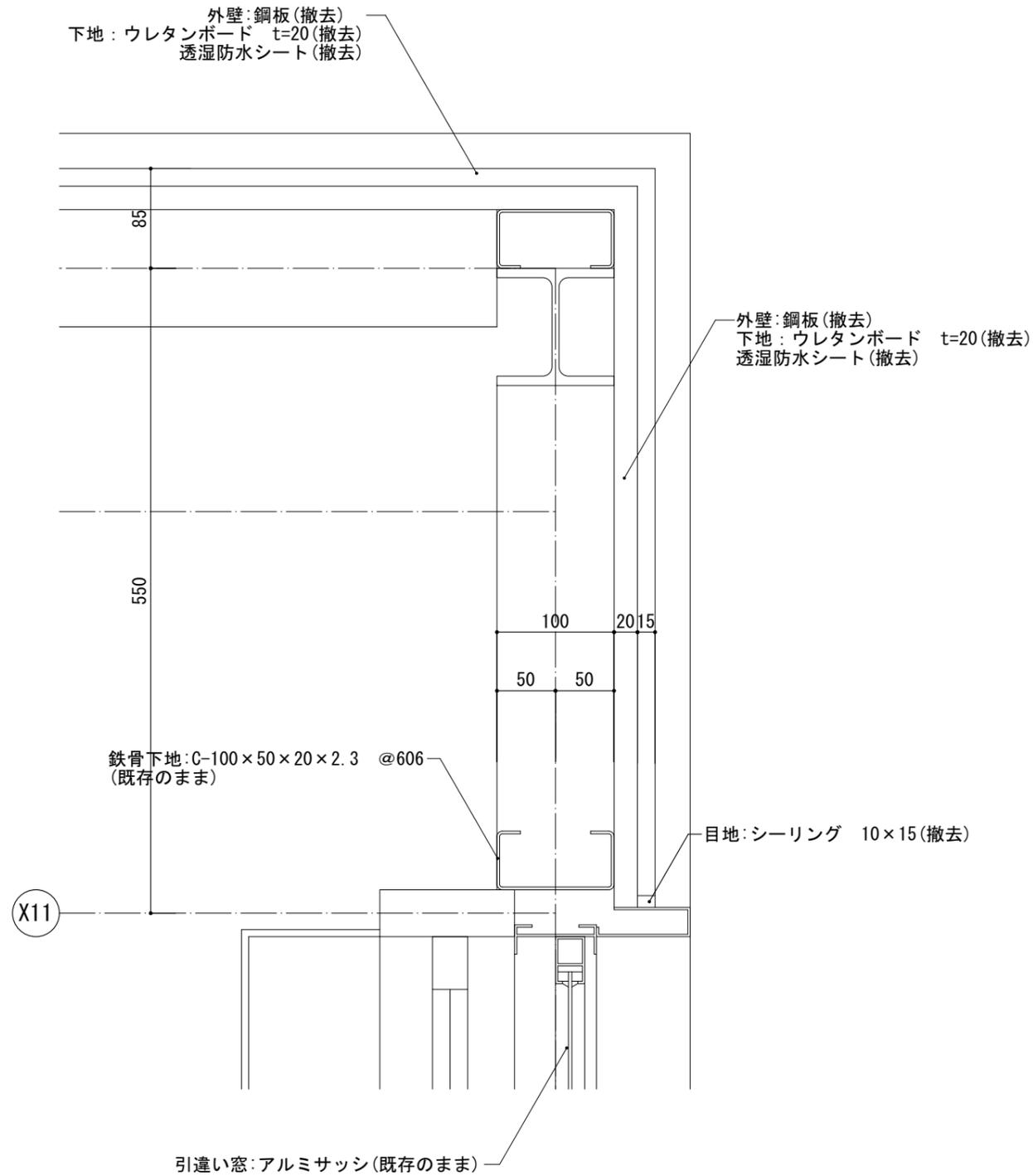


改修後

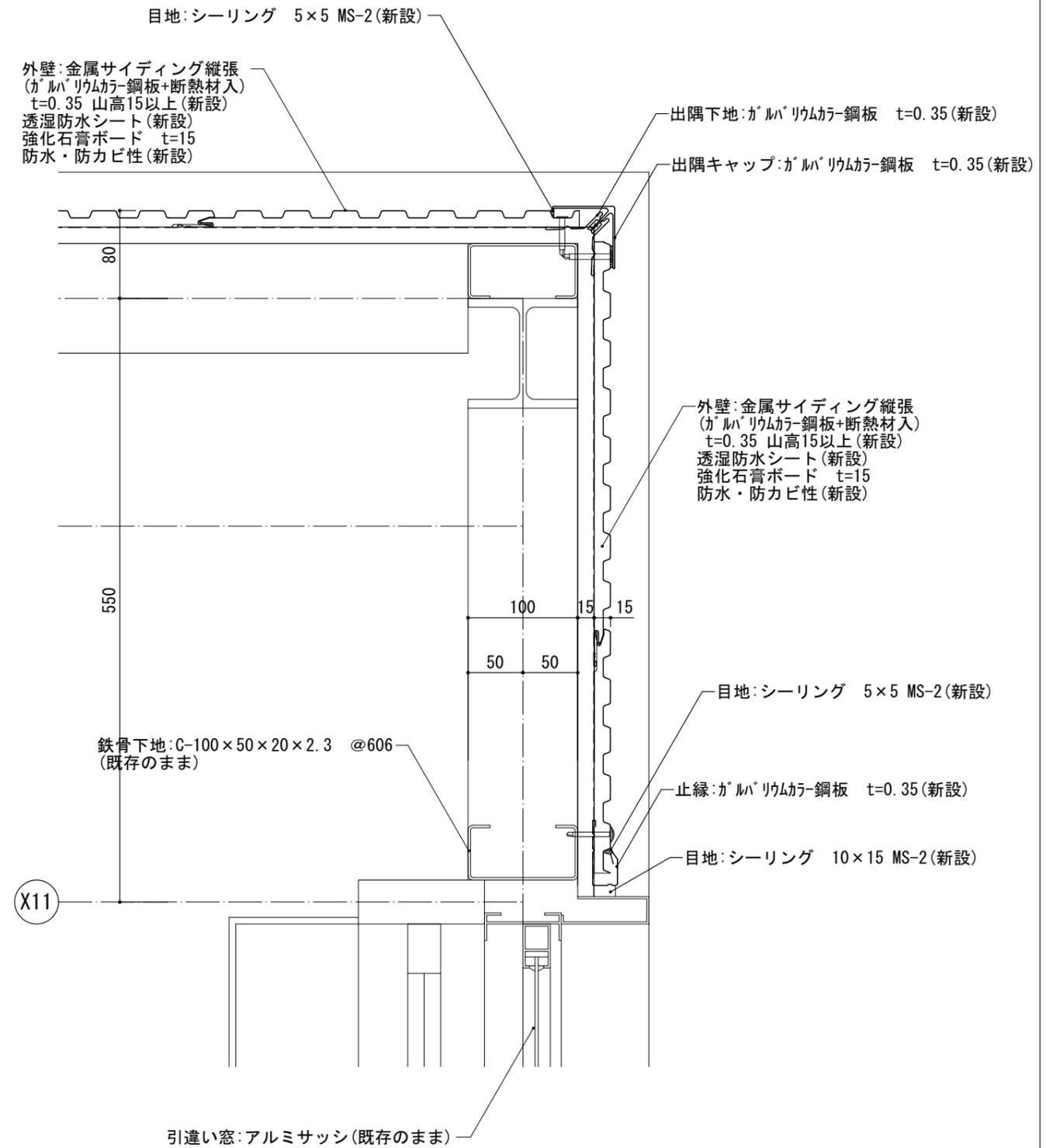


外壁とアルミサッシ及び外壁コーナー取り合い部分詳細図

改修前

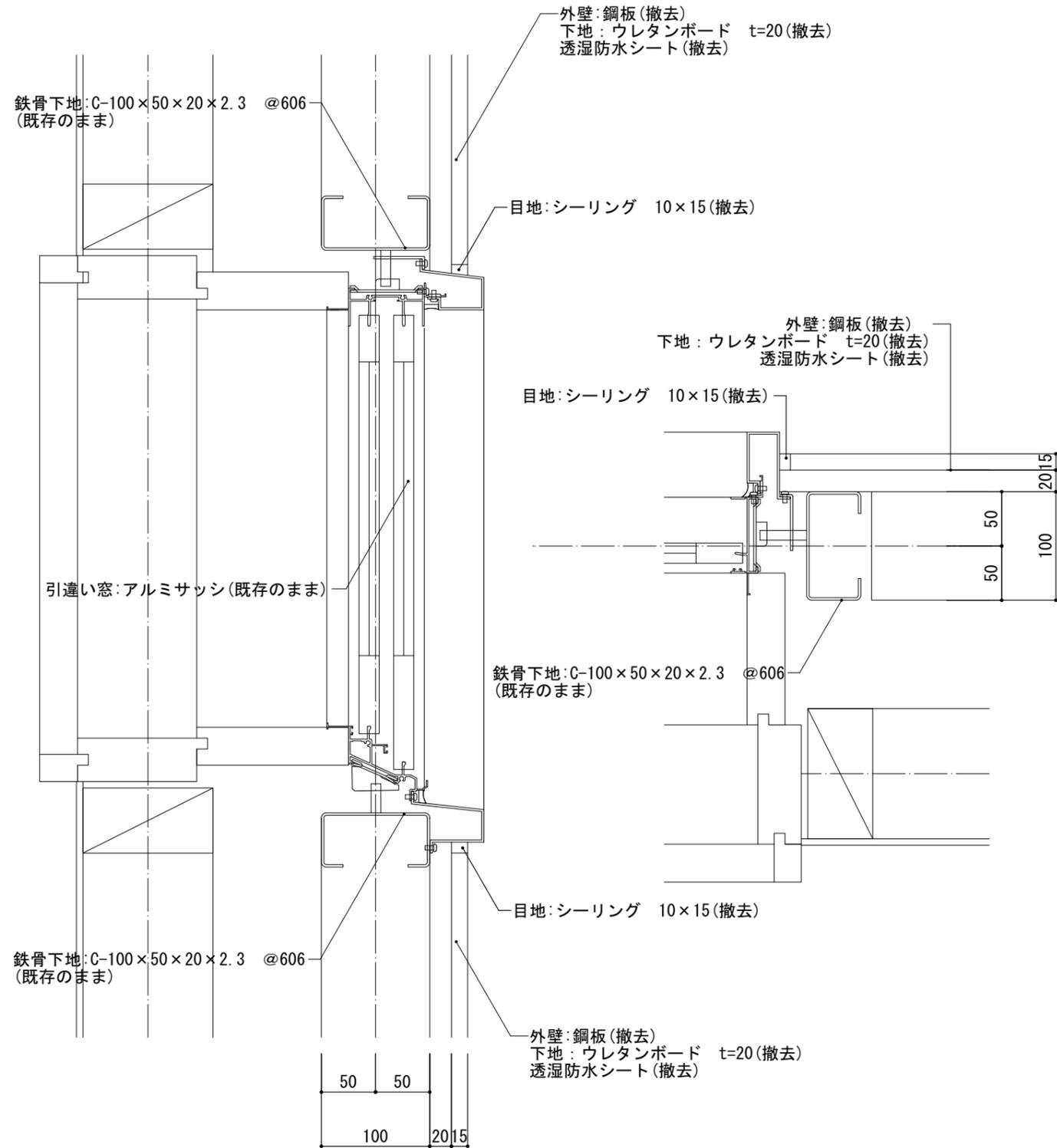


改修後

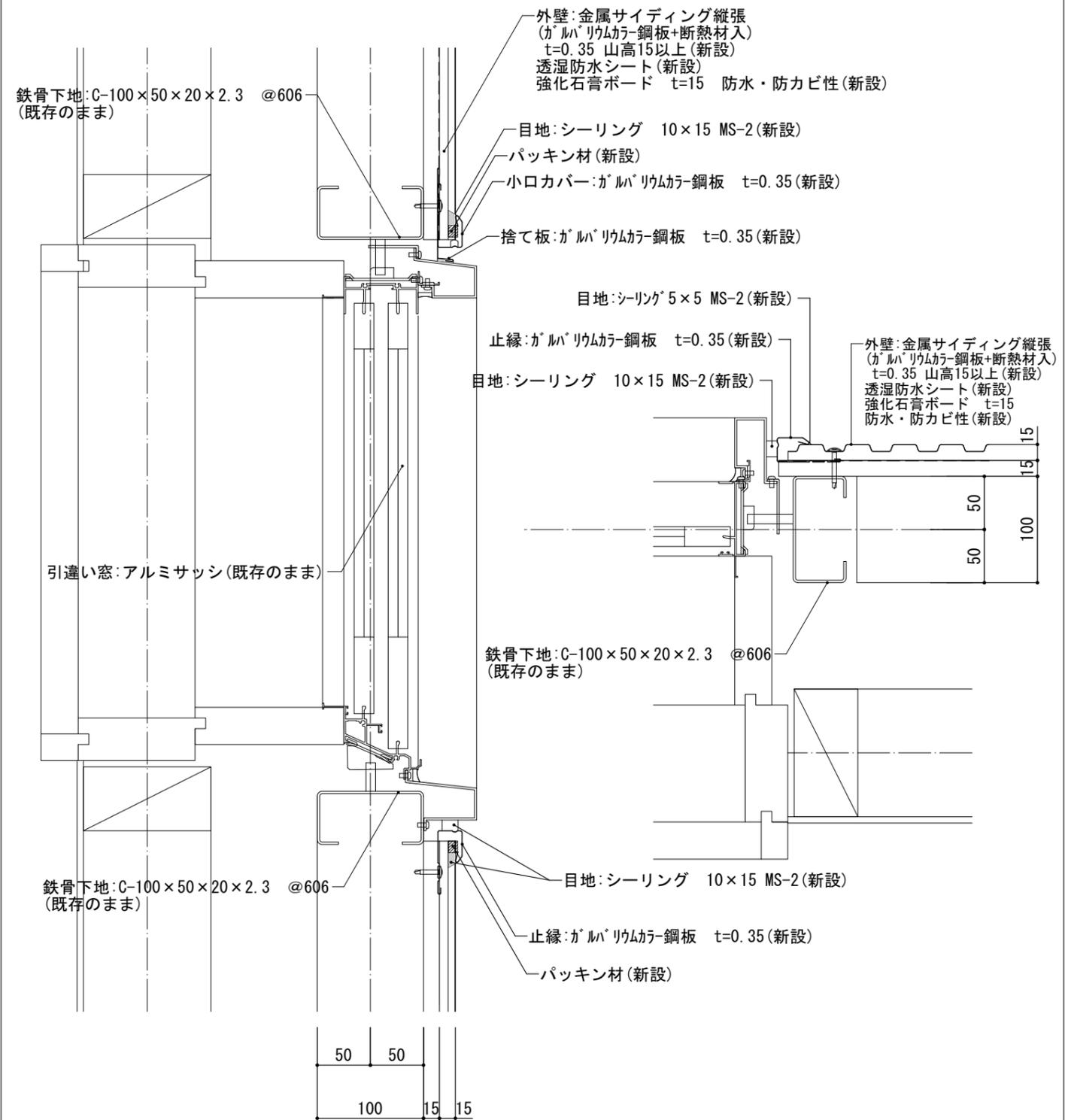


外壁とアルミサッシ取り合い部分詳細図

改修前

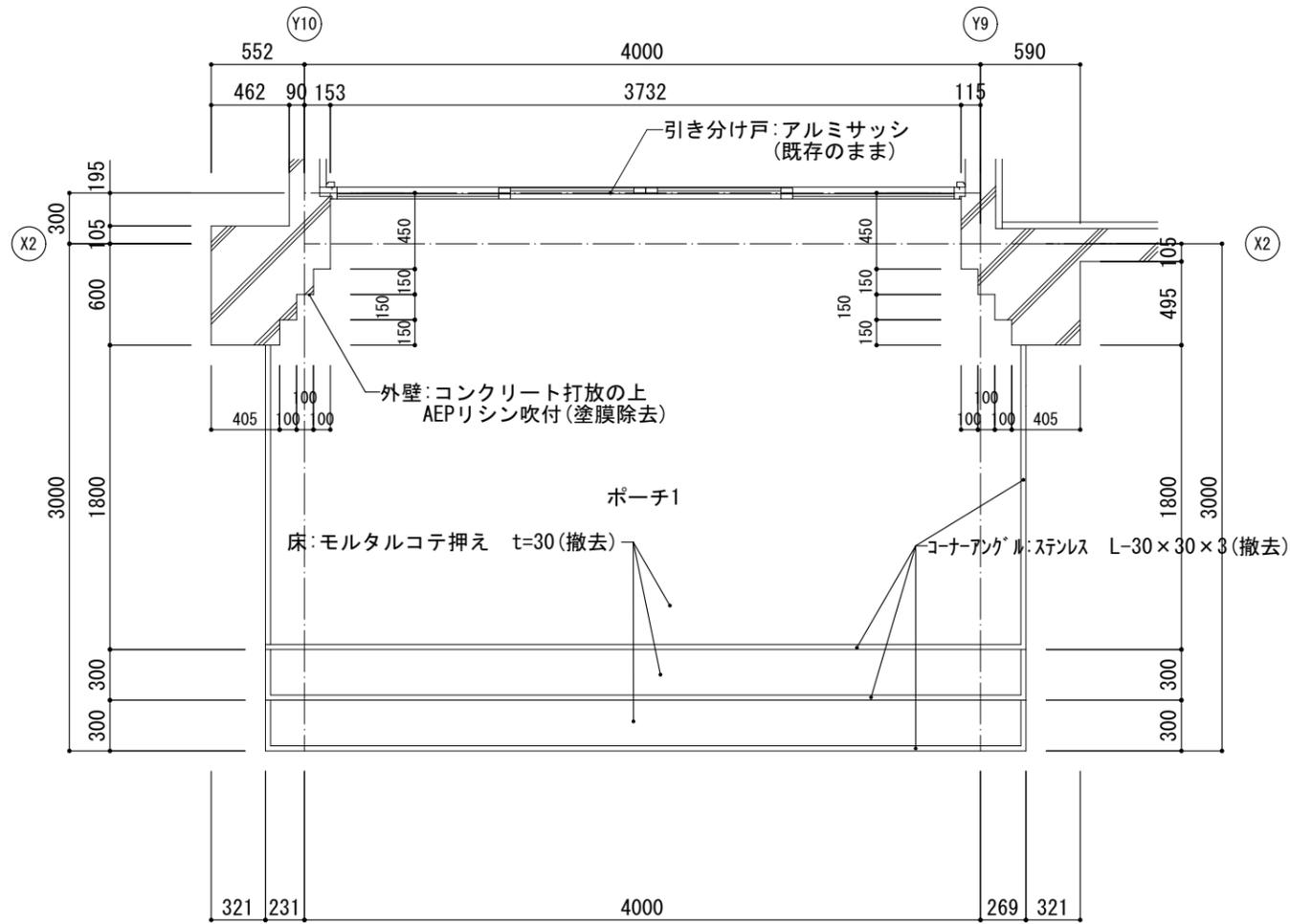


改修後

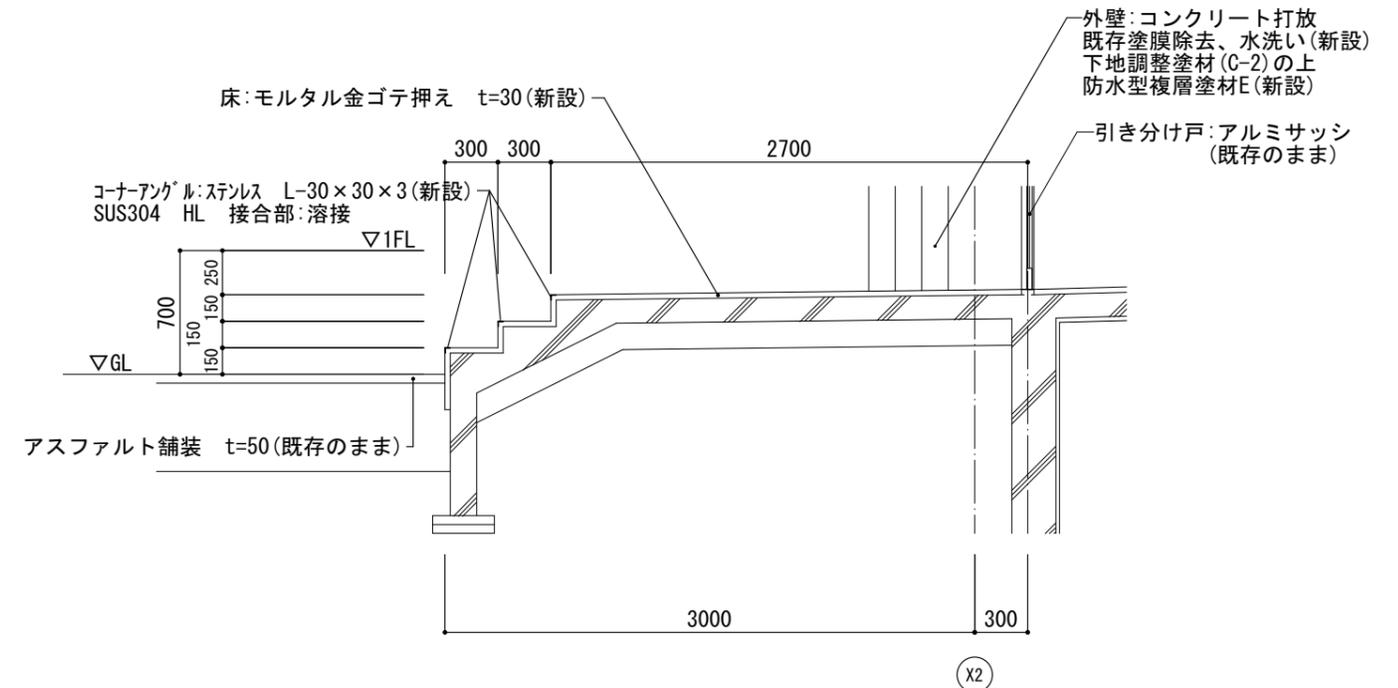
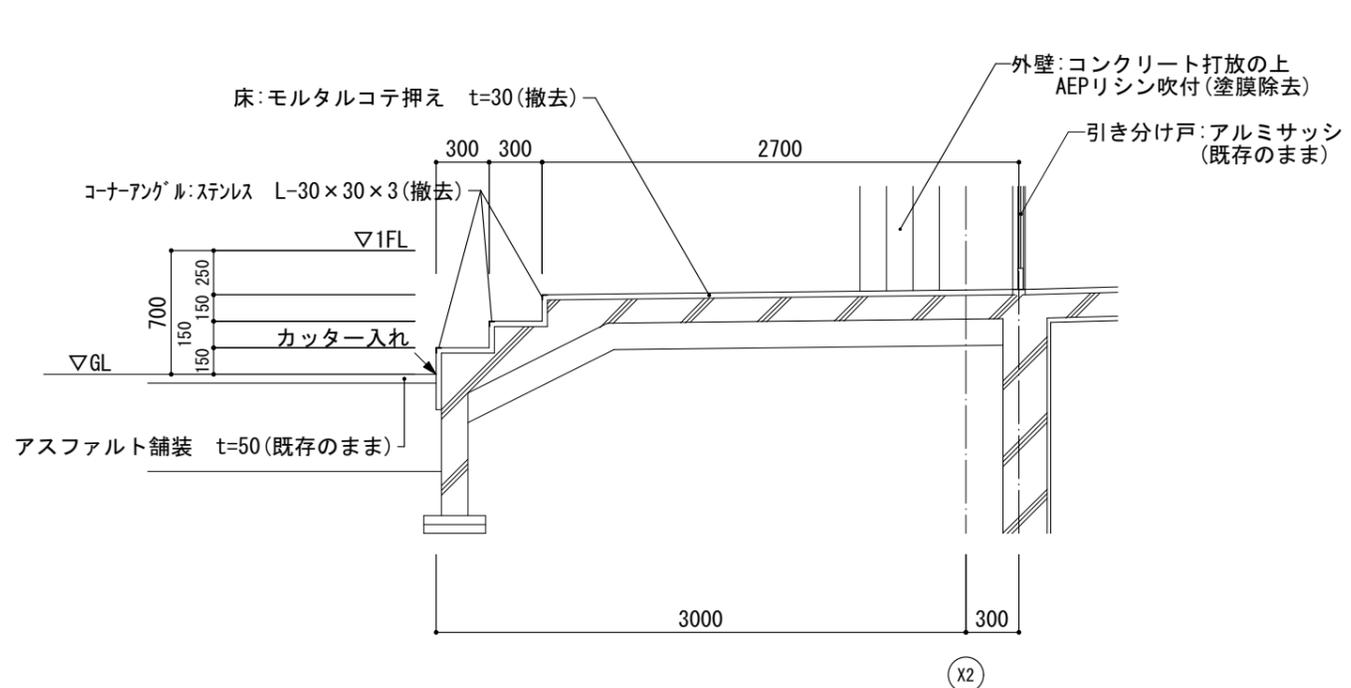
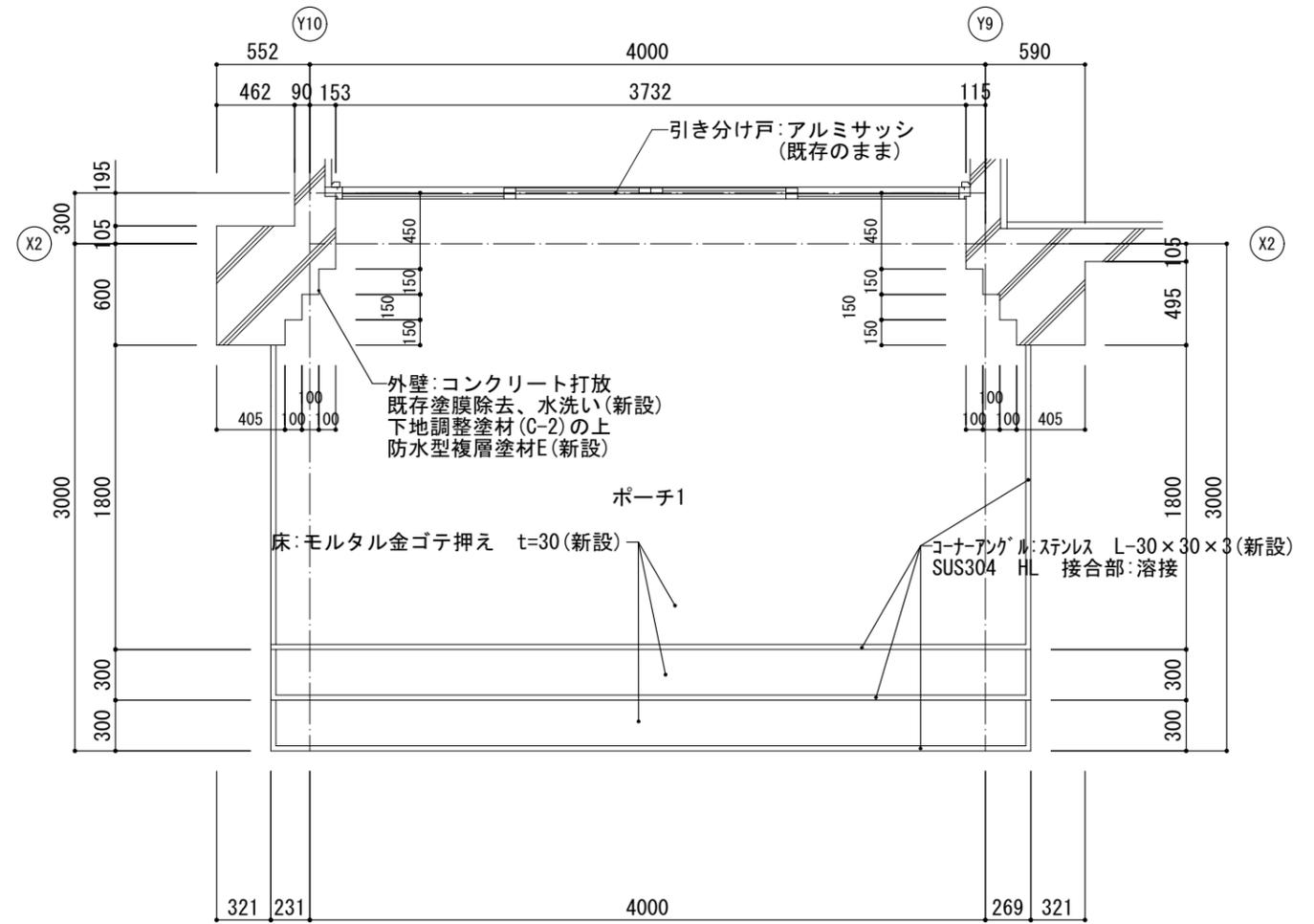


ポーチ1部分詳細図

改修前

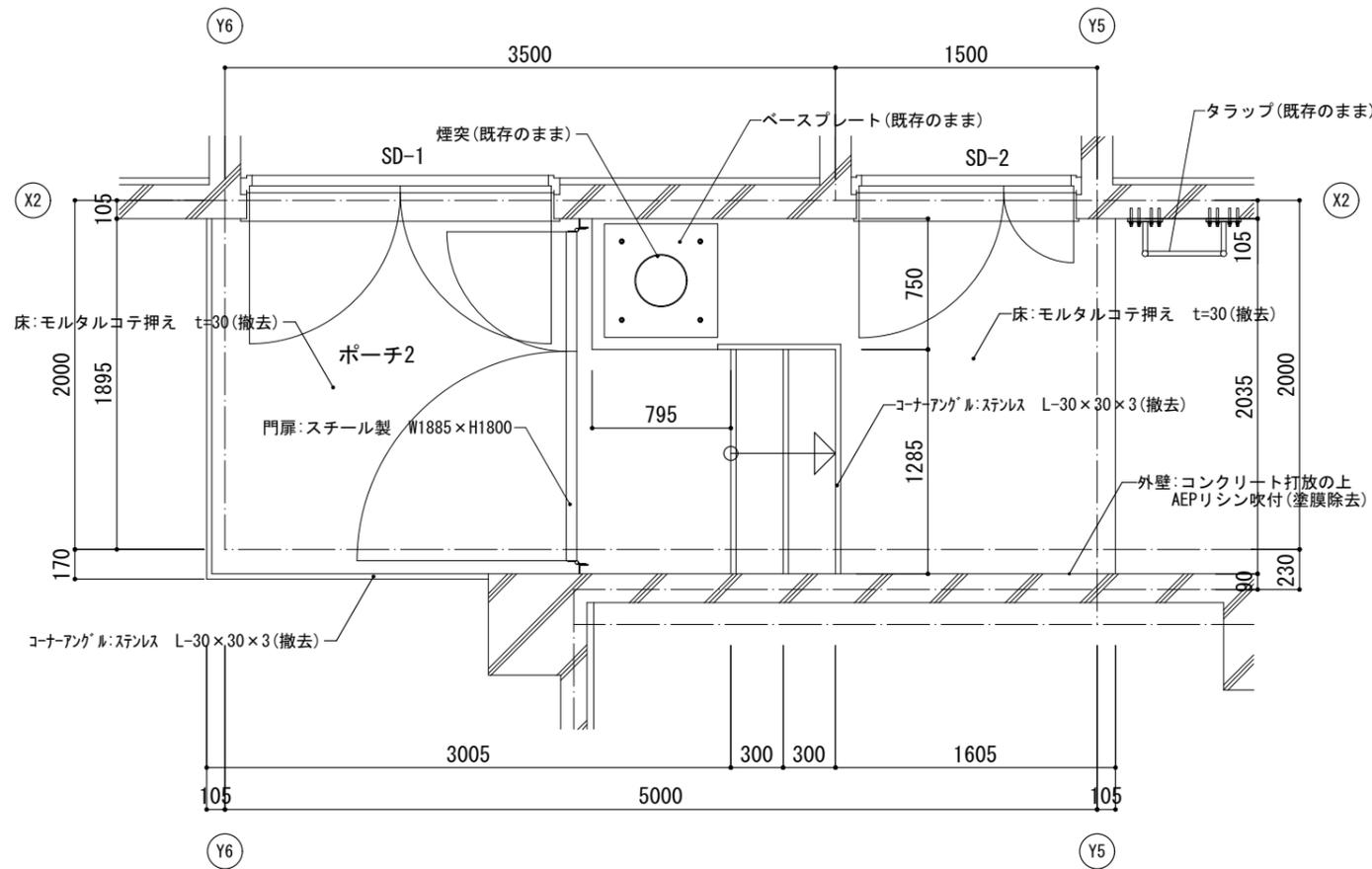


改修後

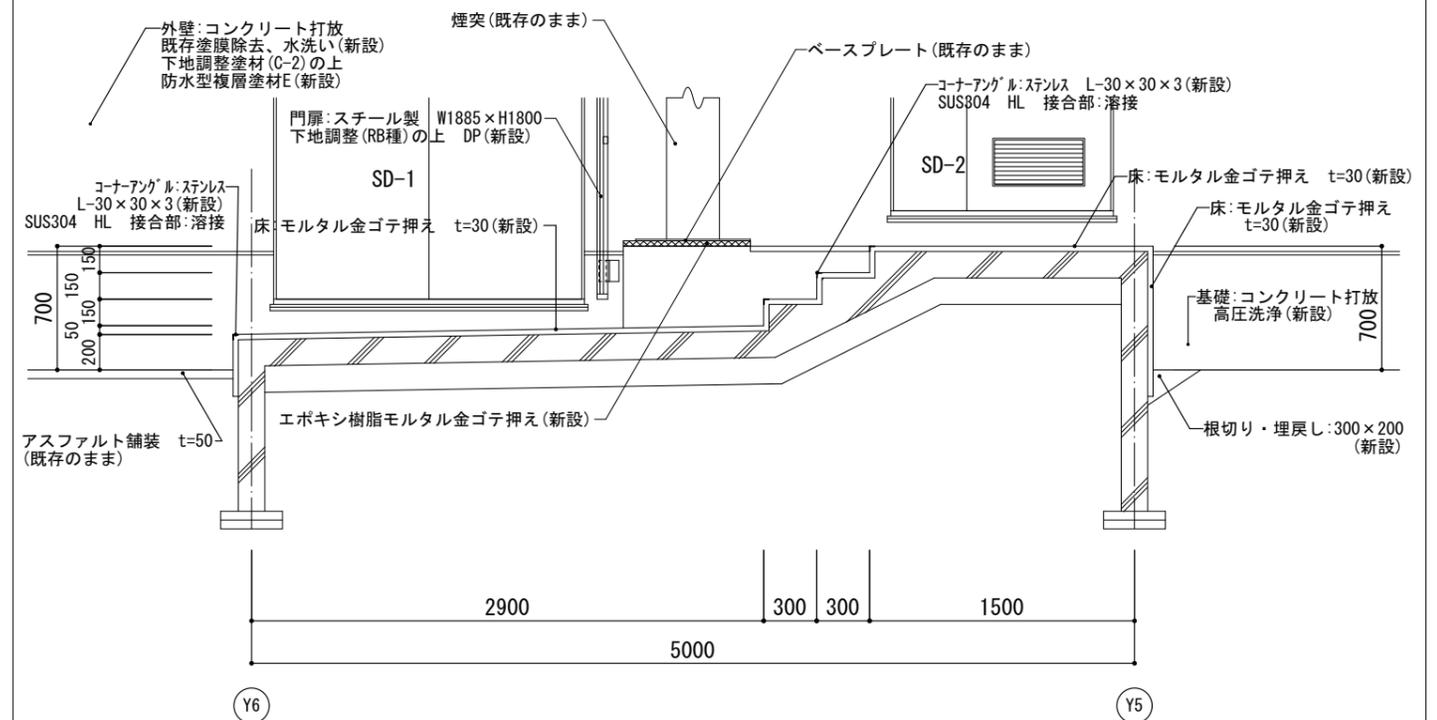
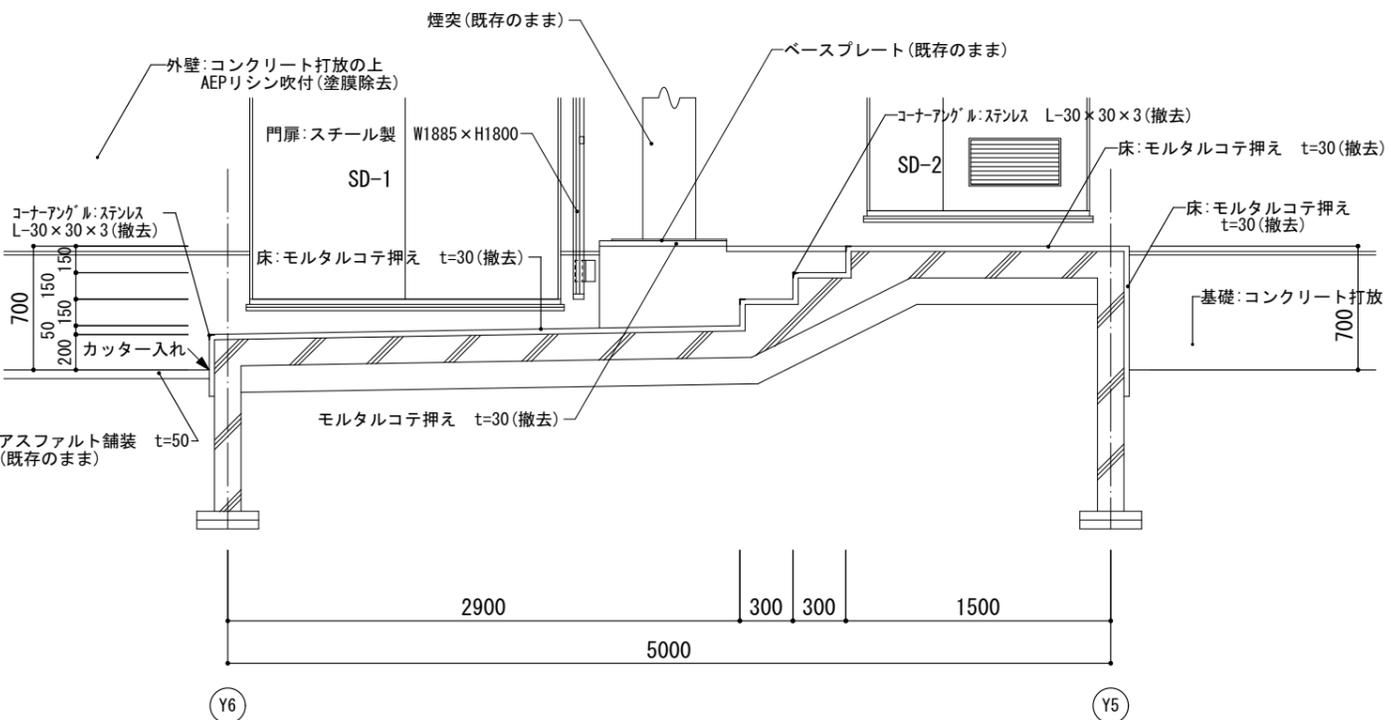
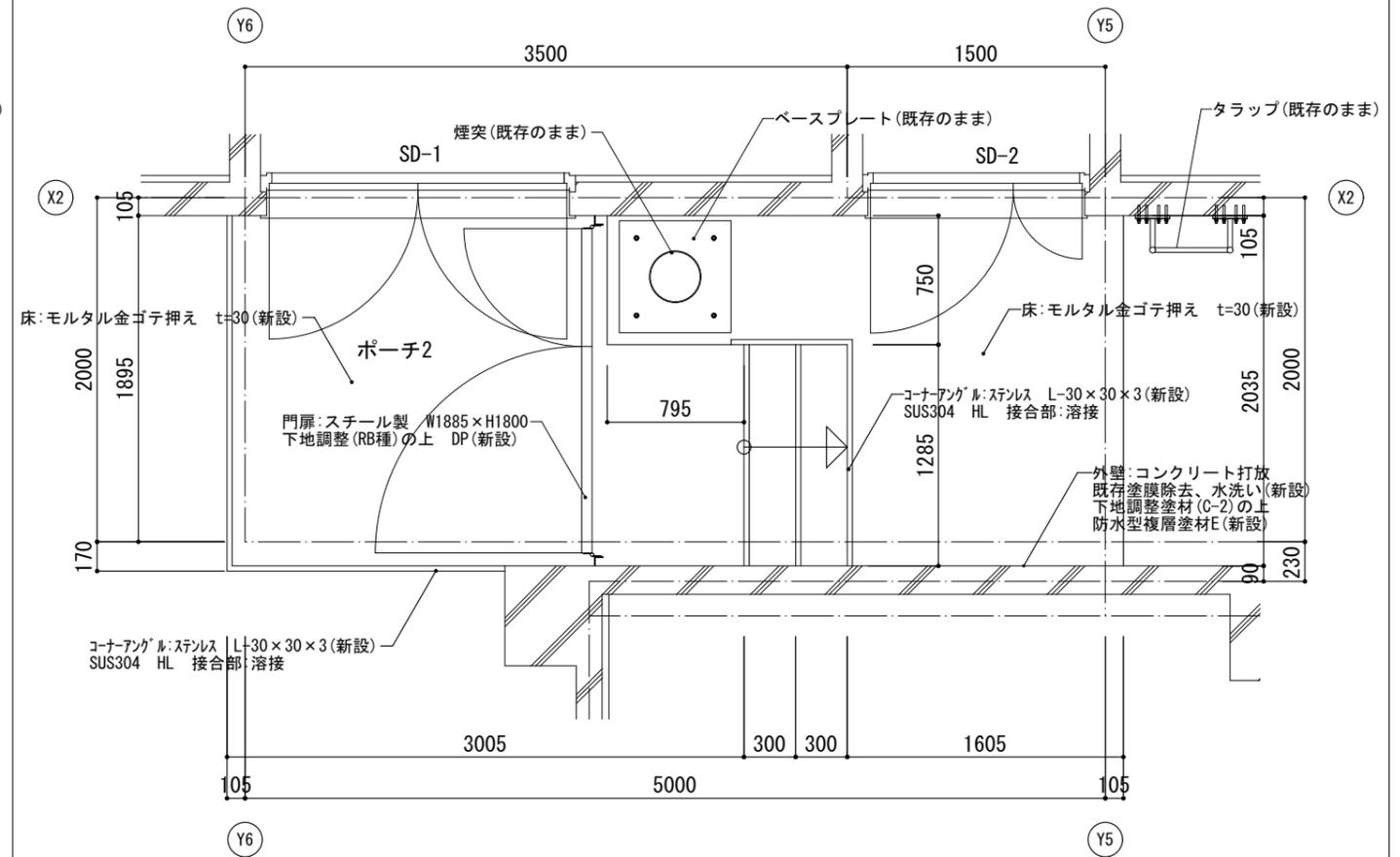


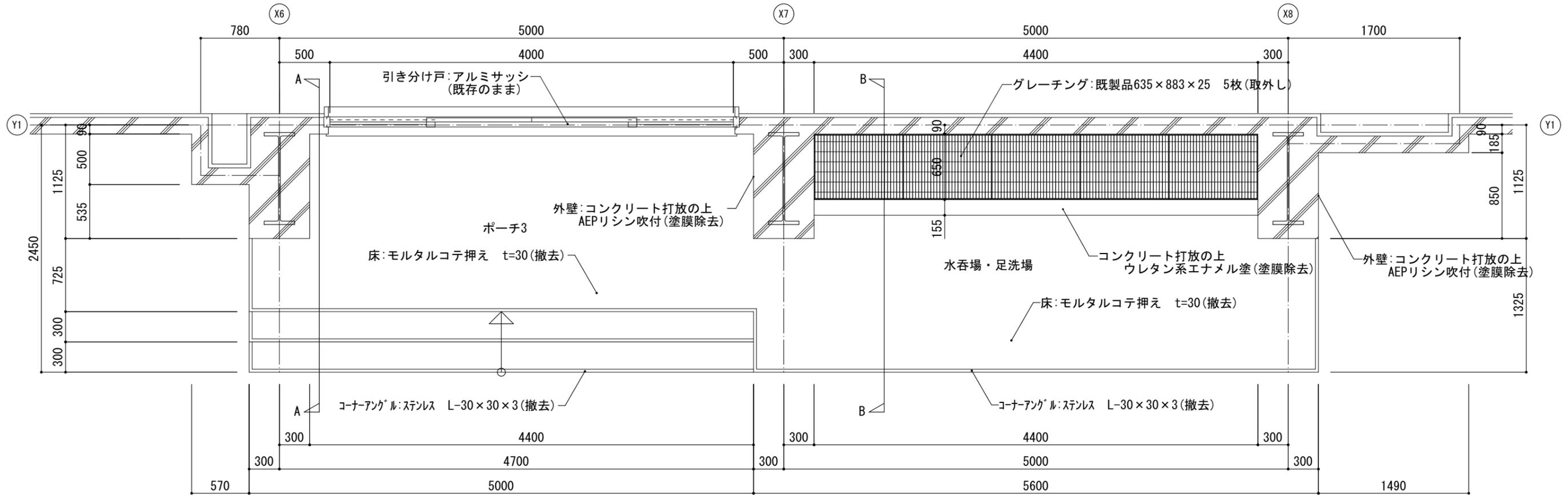
ポーチ 1 部分詳細図

改修前

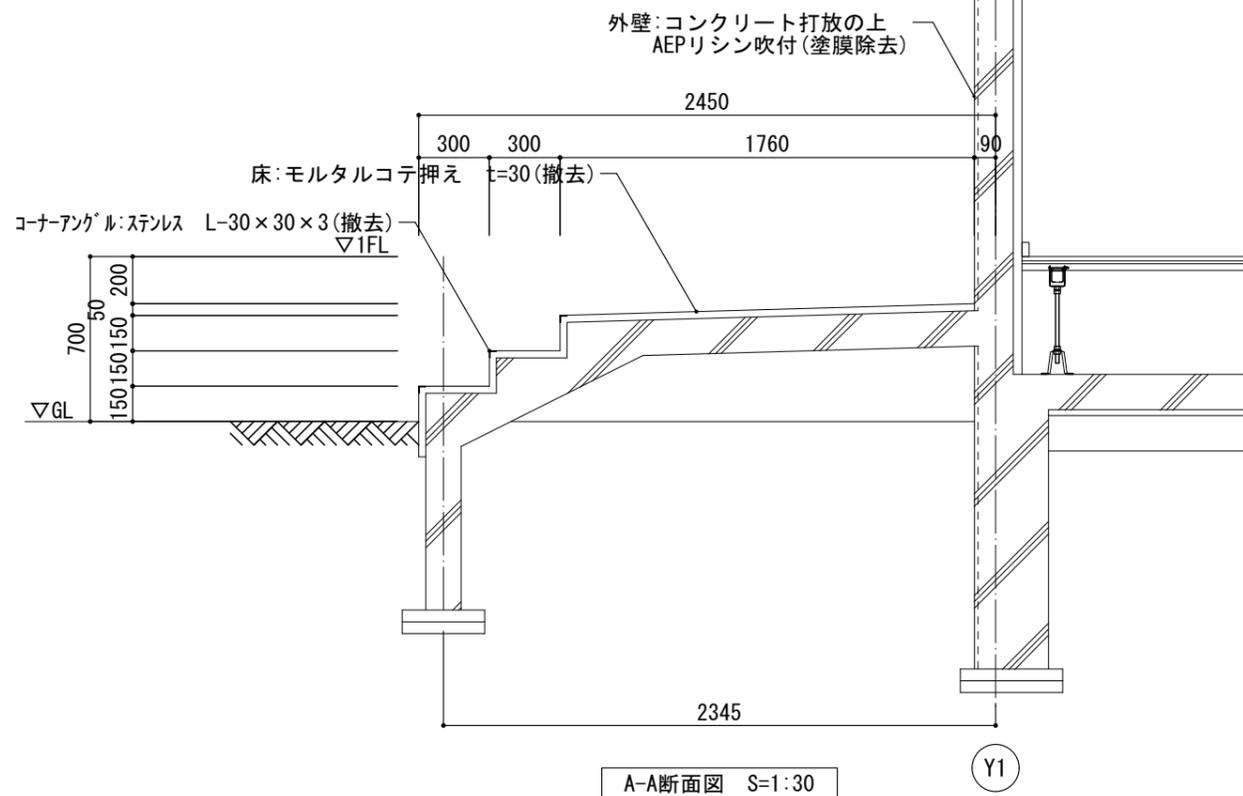


改修後

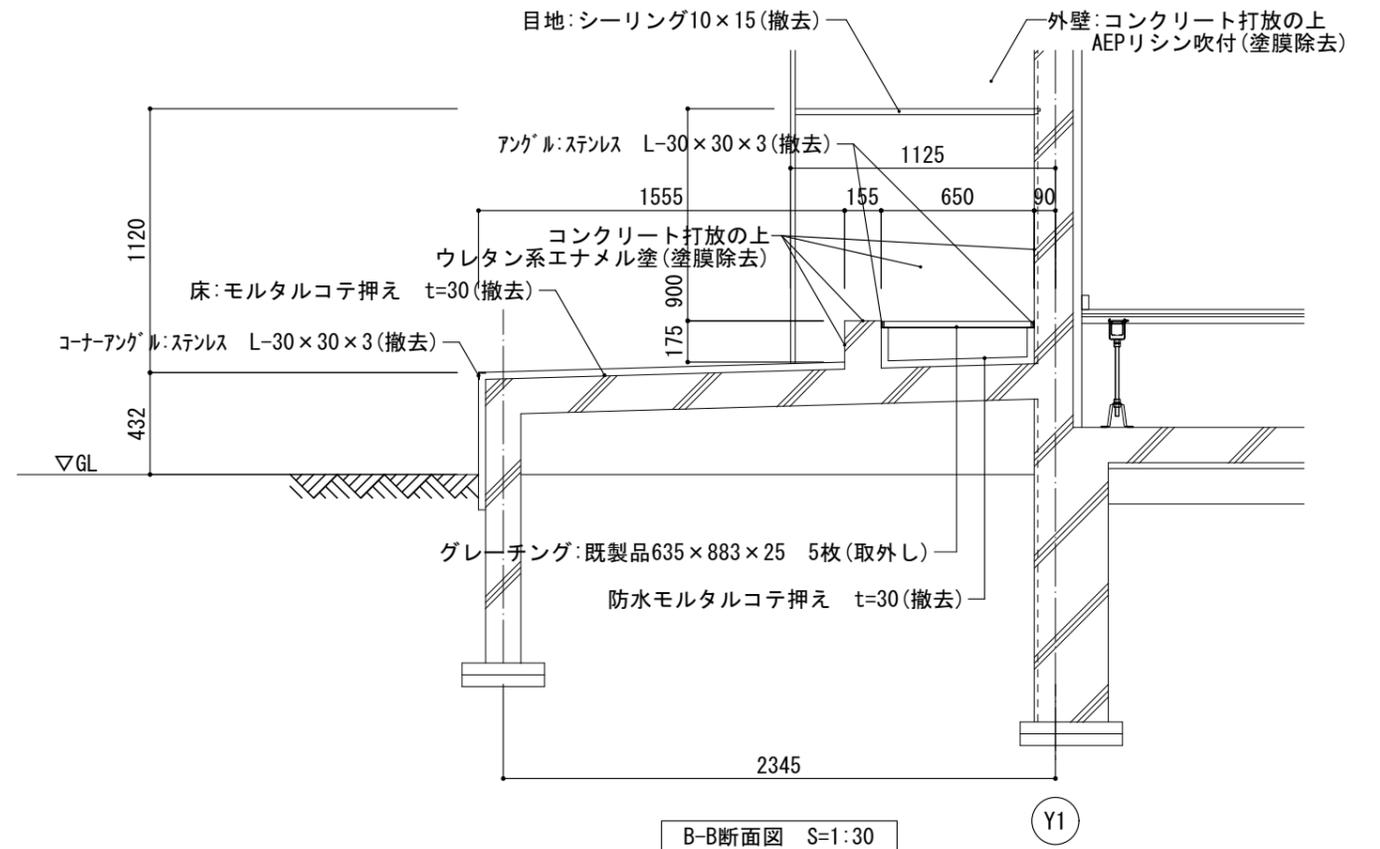




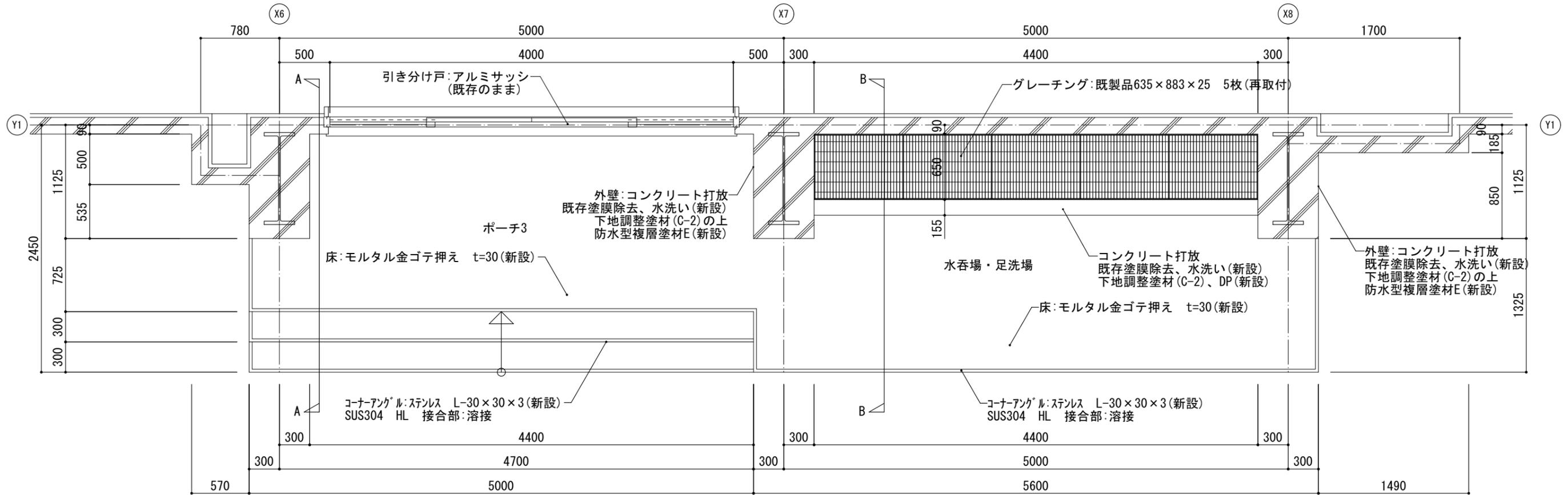
平面図 S=1:40



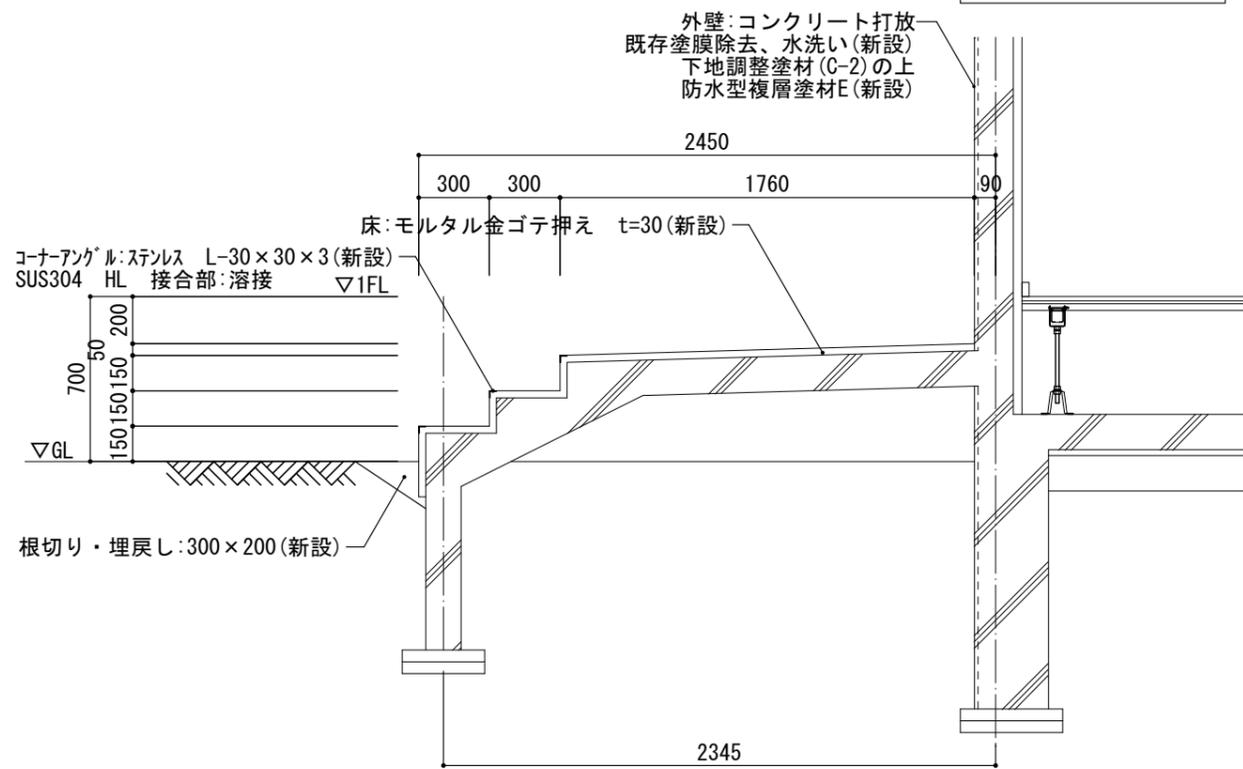
A-A断面図 S=1:30



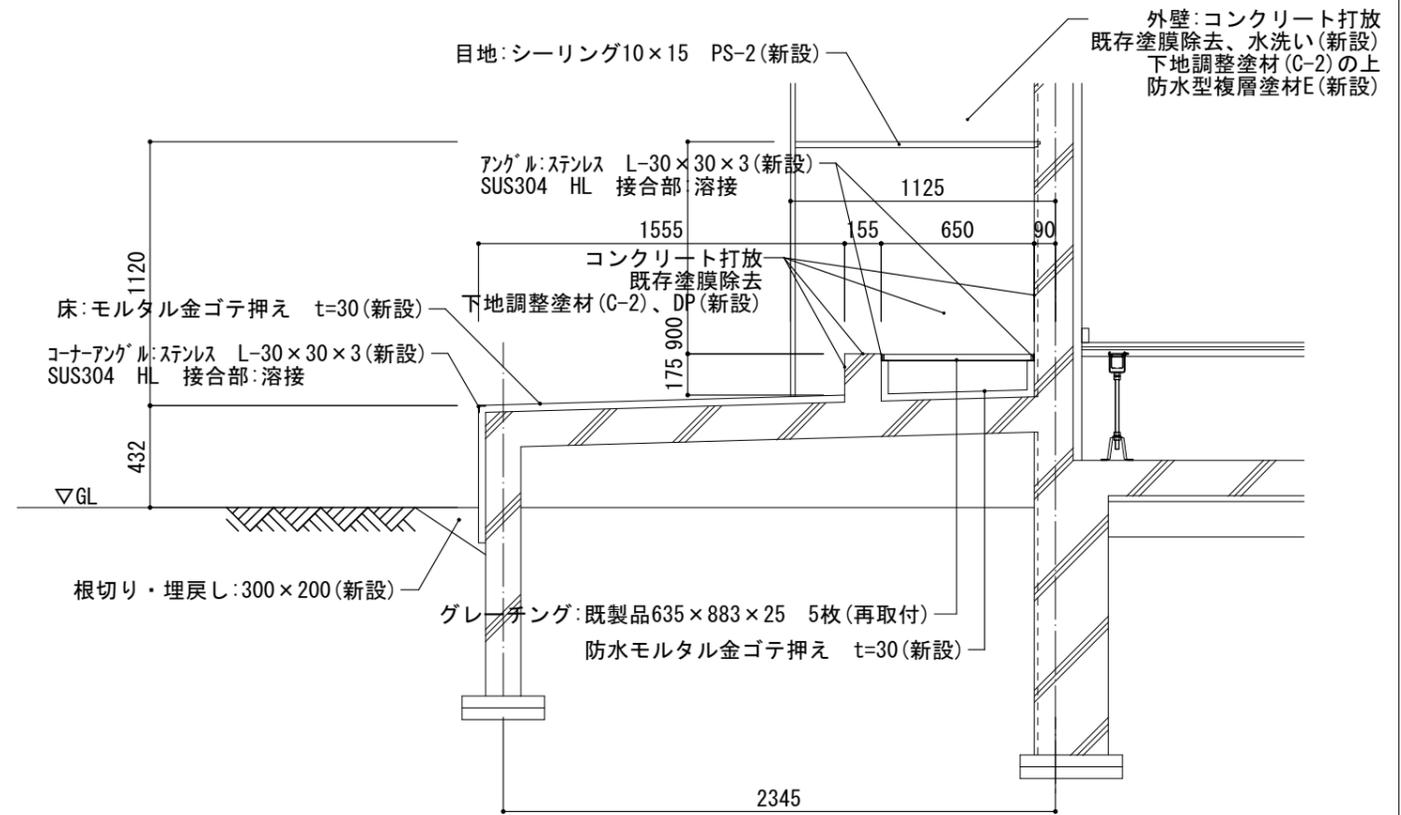
B-B断面図 S=1:30



平面図 S=1:40



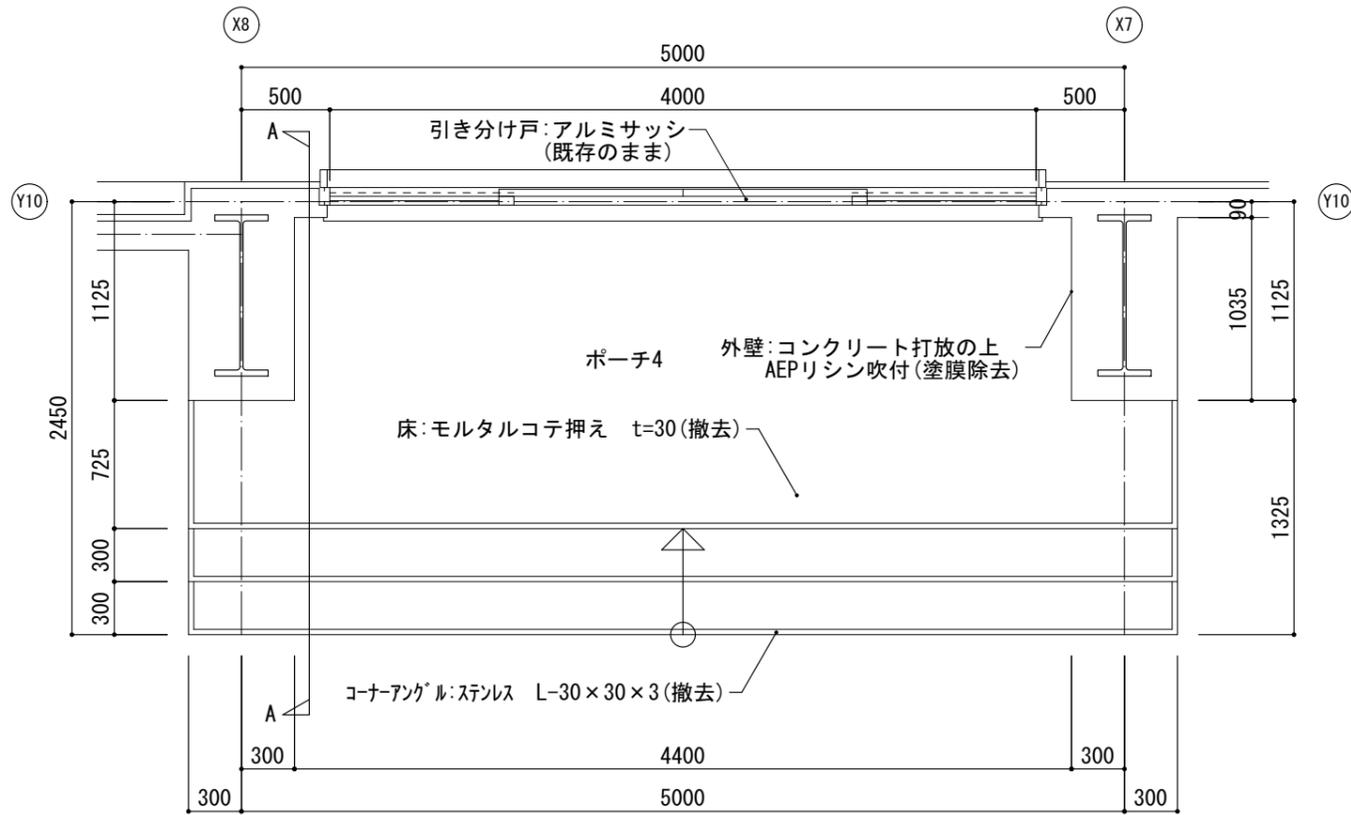
A-A断面図 S=1:30



B-B断面図 S=1:30

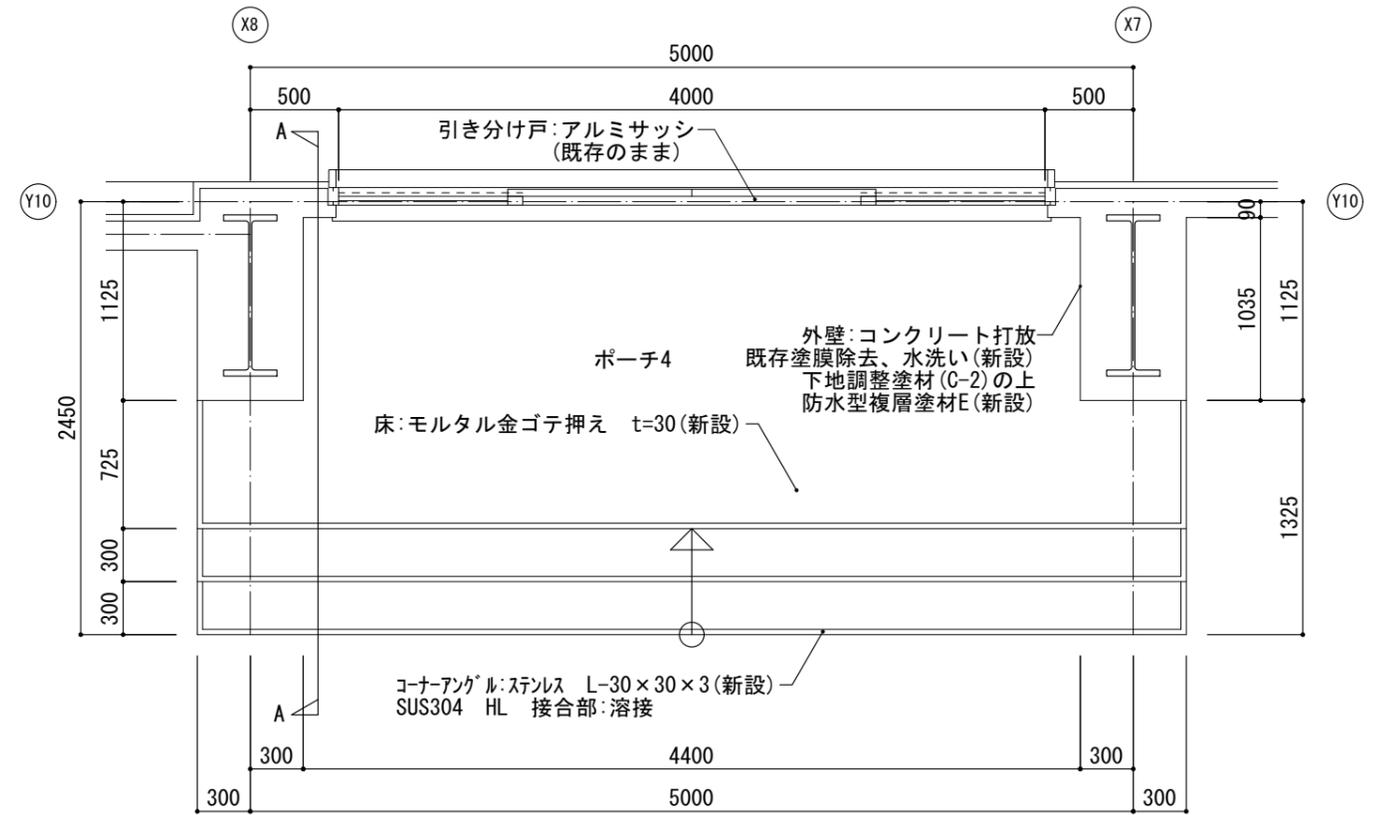
ポーチ4部分詳細図

改修前

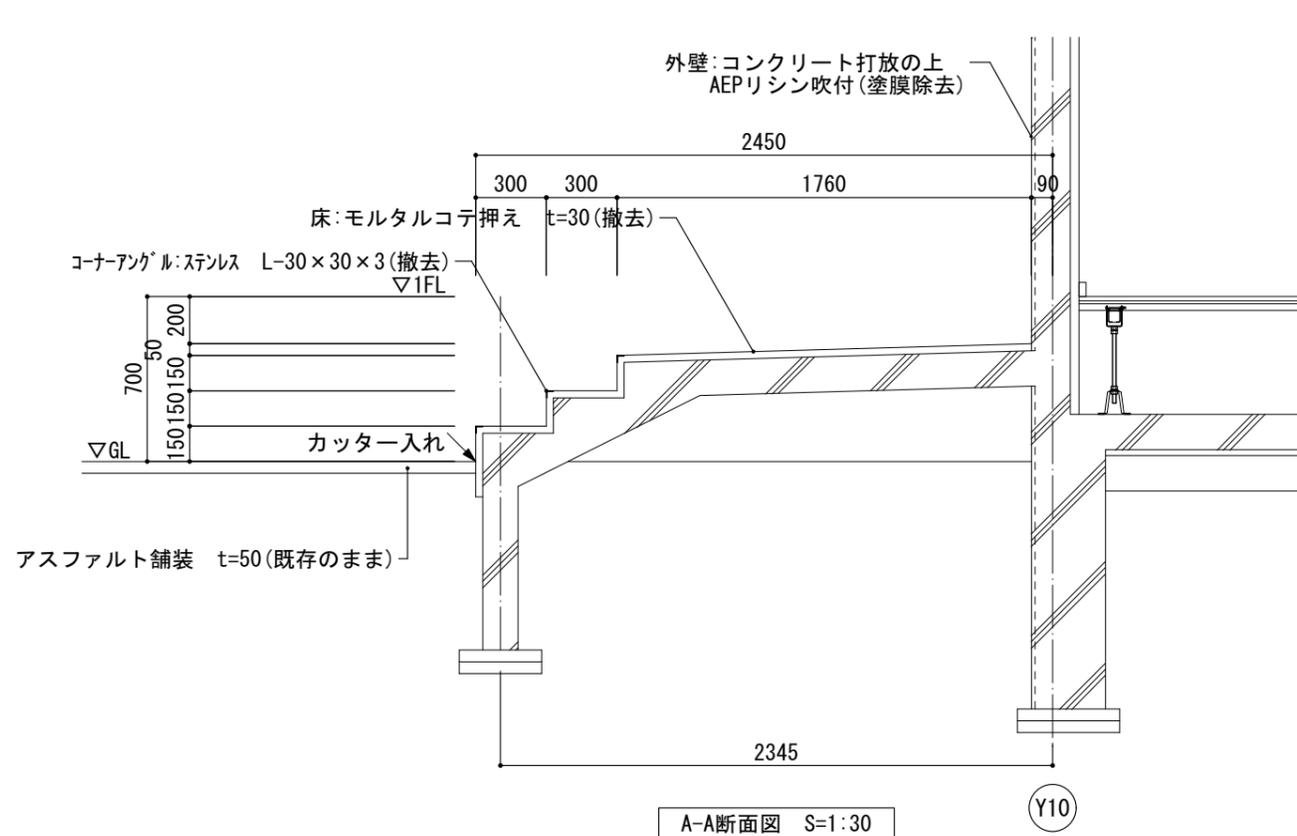


平面図 S=1:40

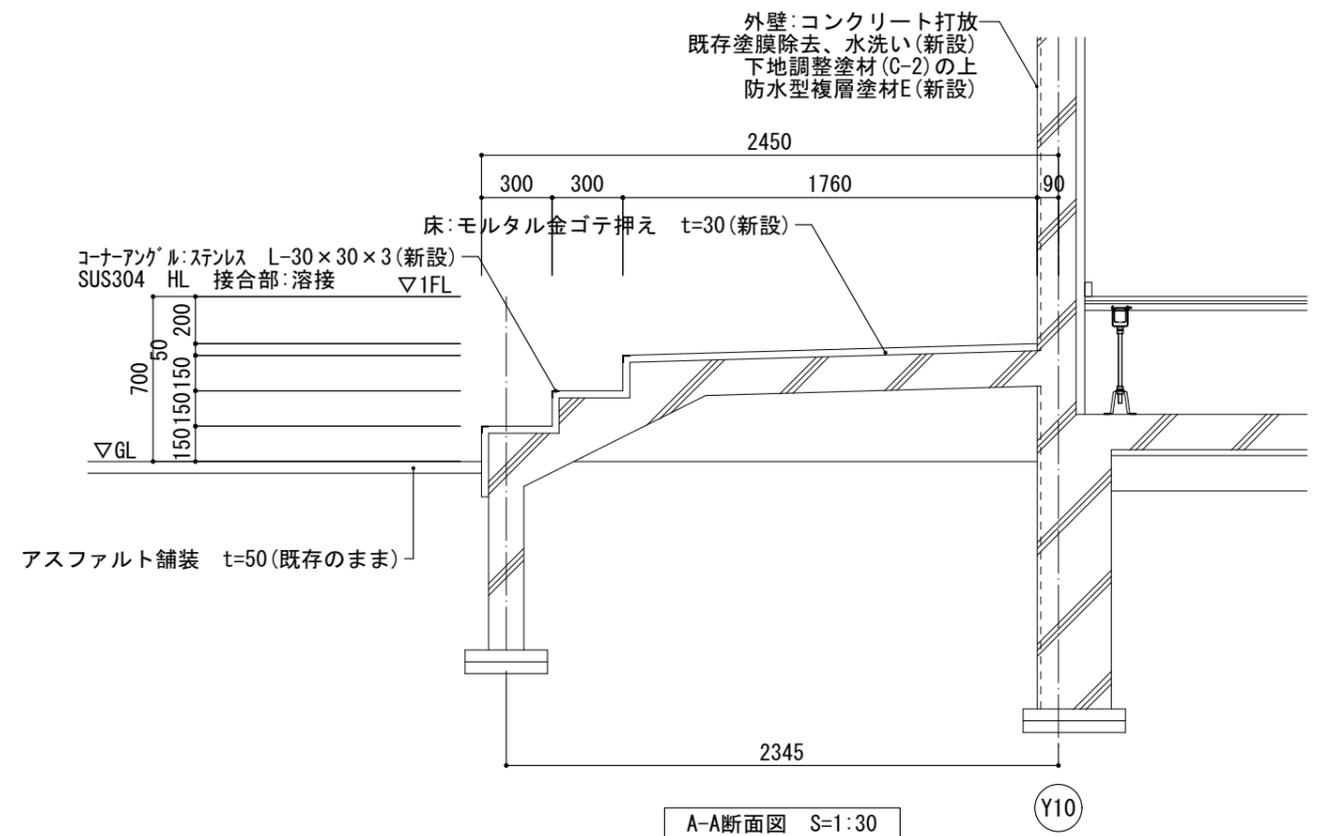
改修後



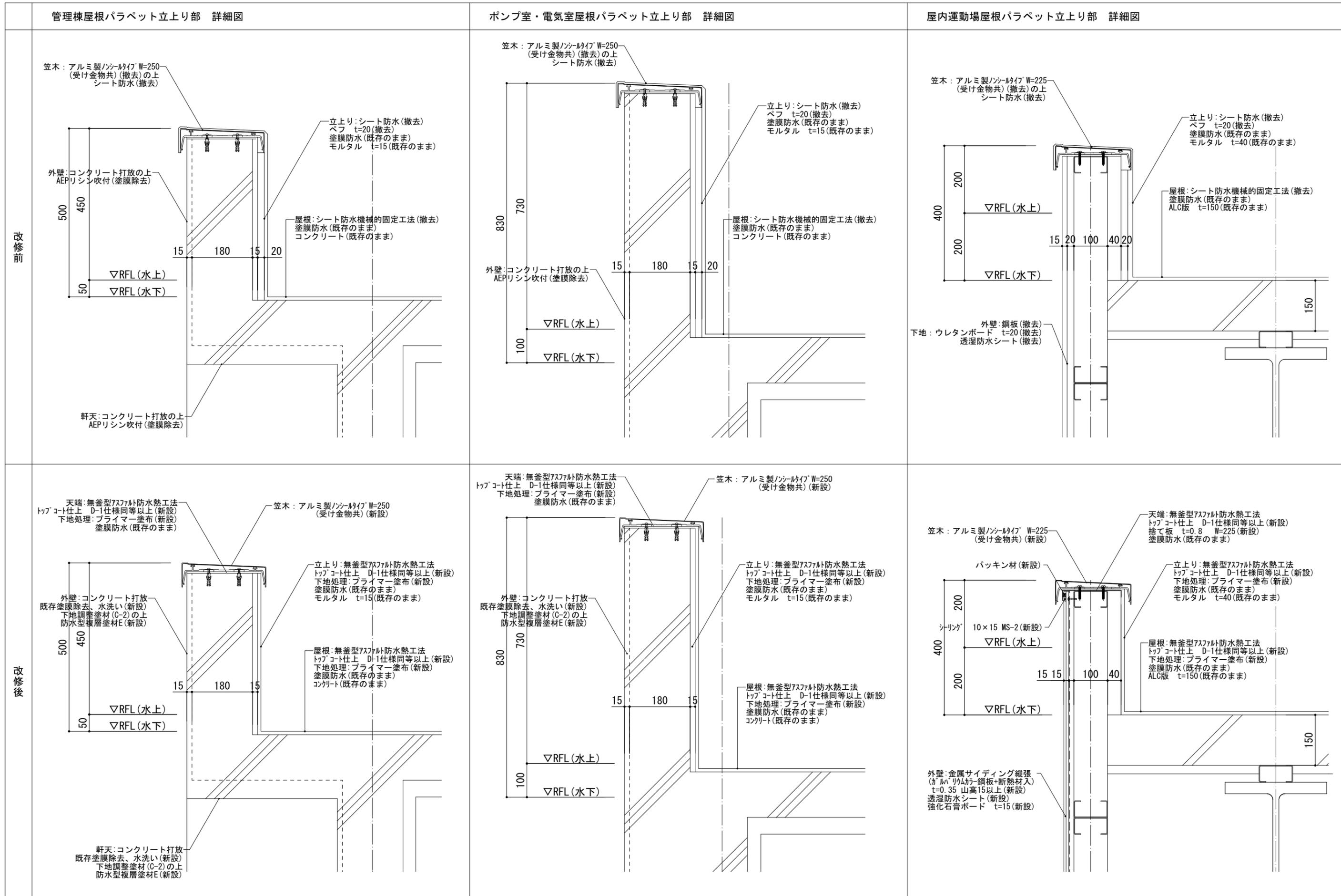
平面図 S=1:40

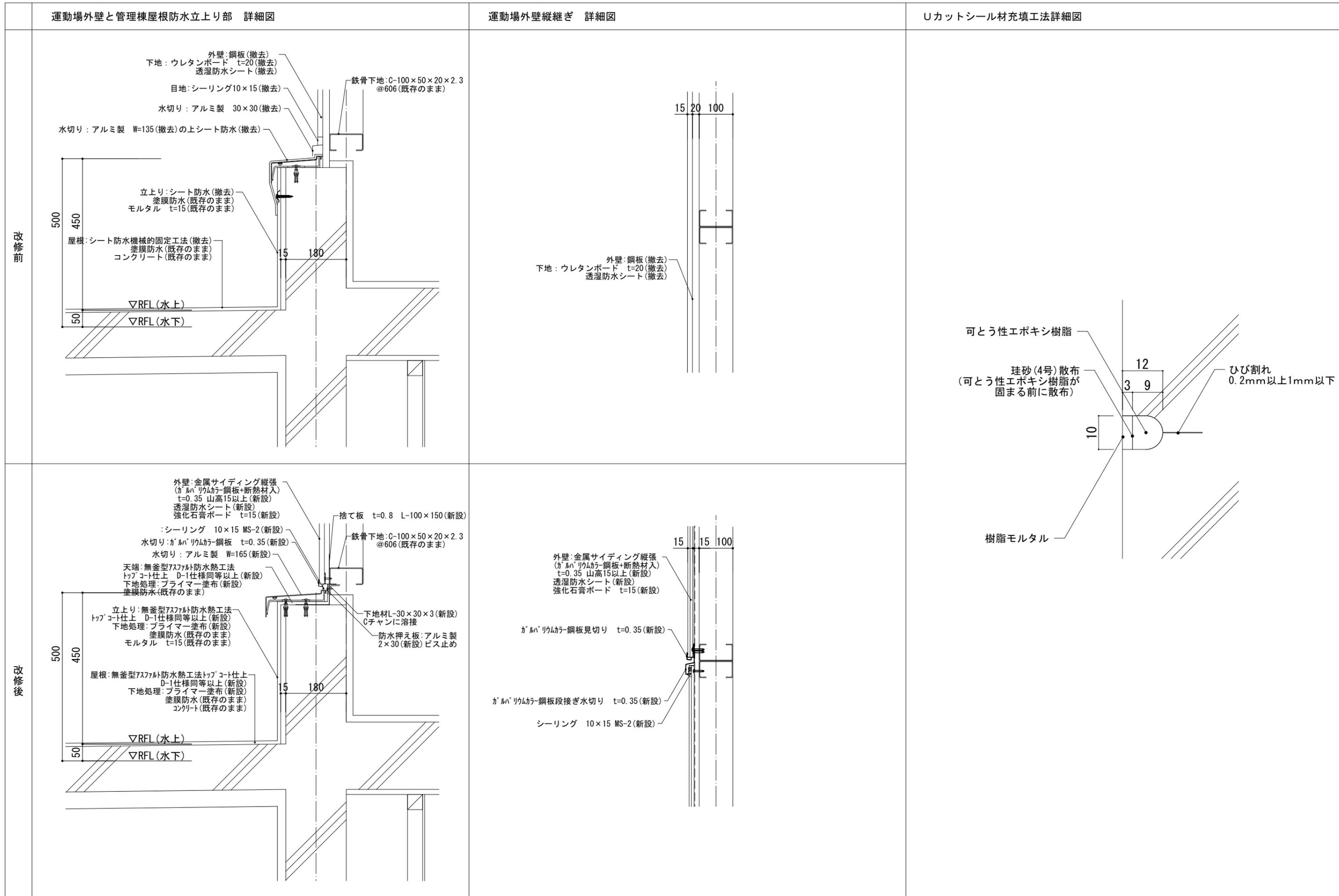


A-A断面図 S=1:30

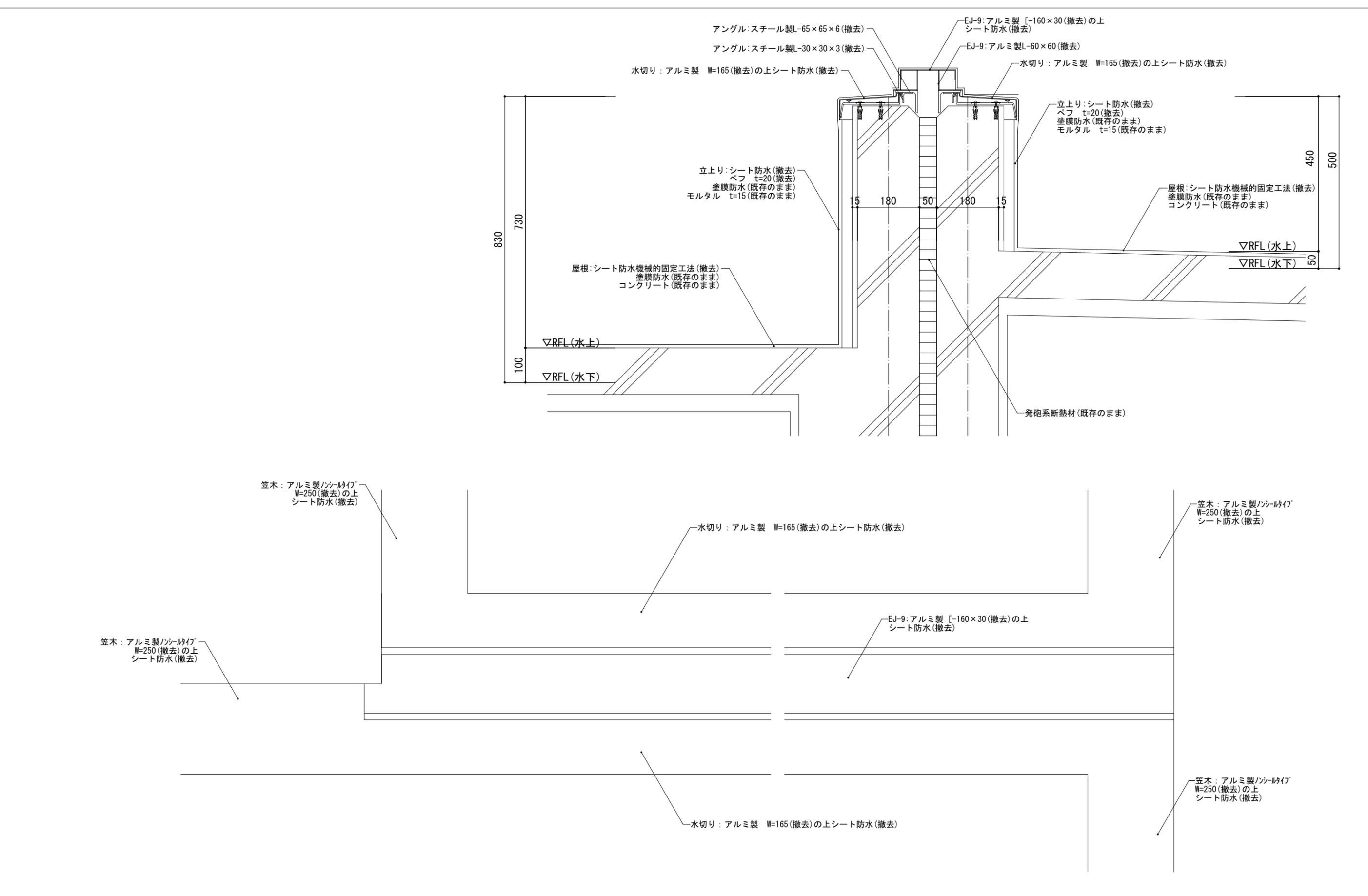


A-A断面図 S=1:30

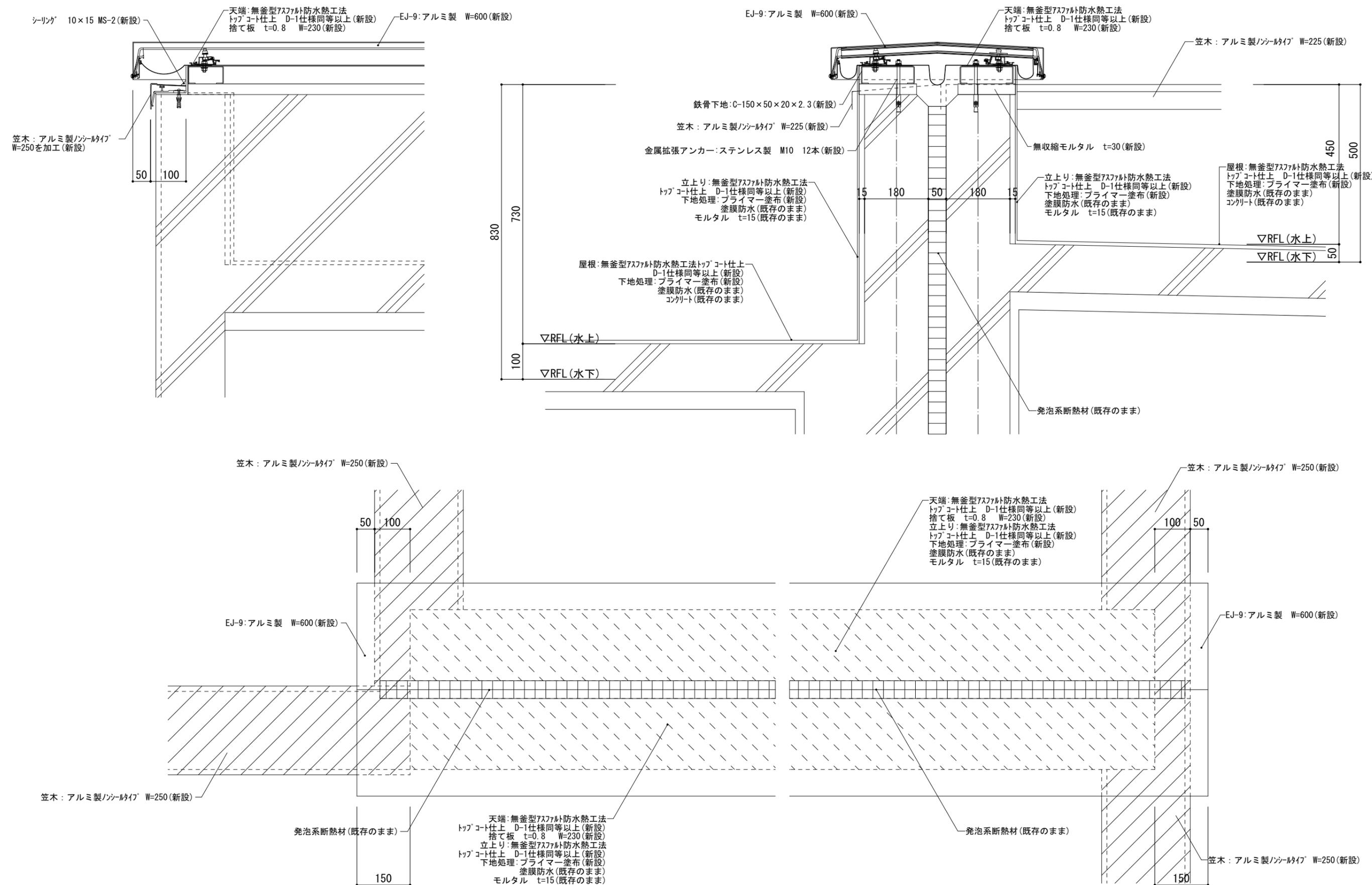




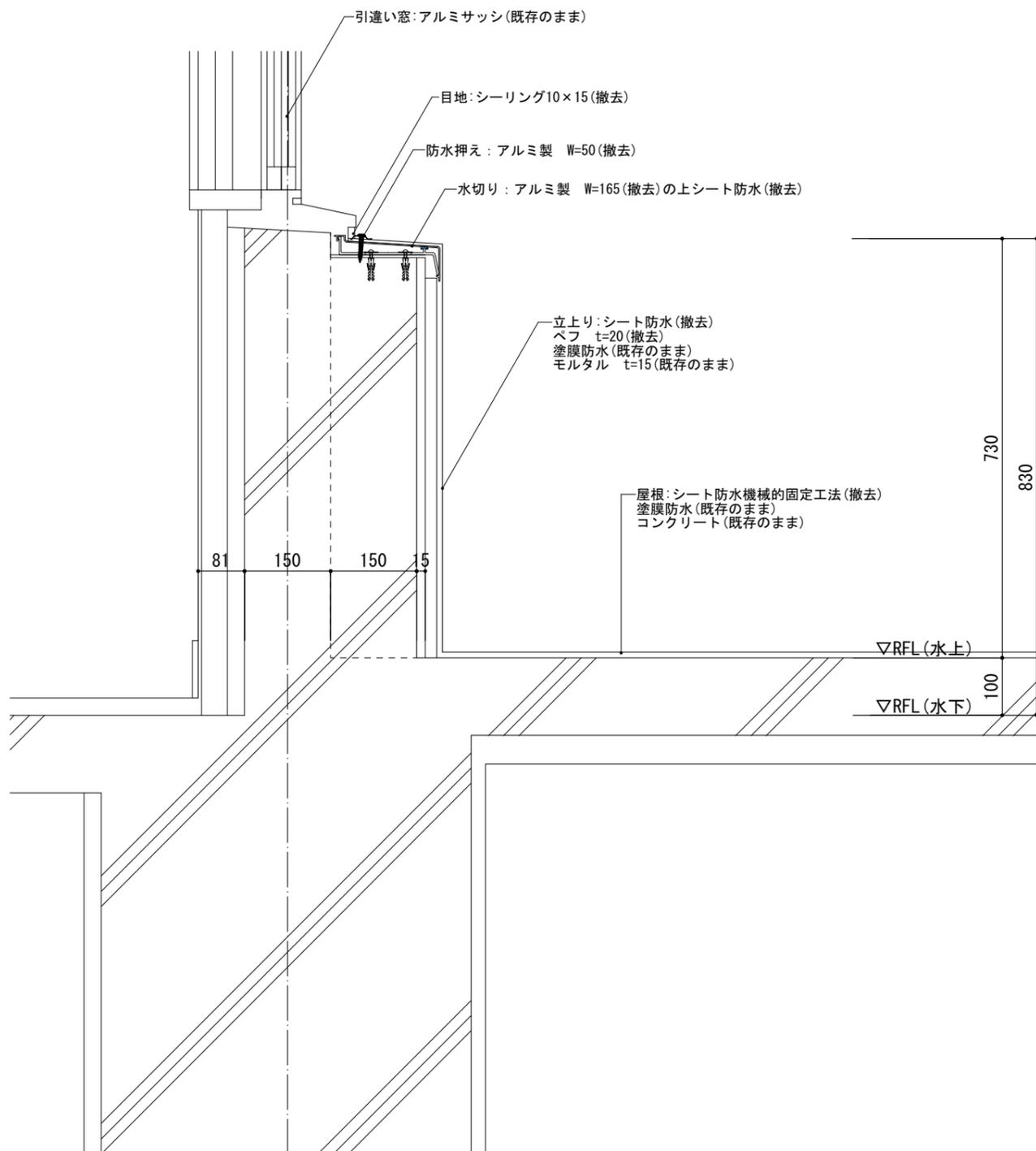
管理棟屋根とポンプ室・電気室屋根EJ防水立上り部 詳細図



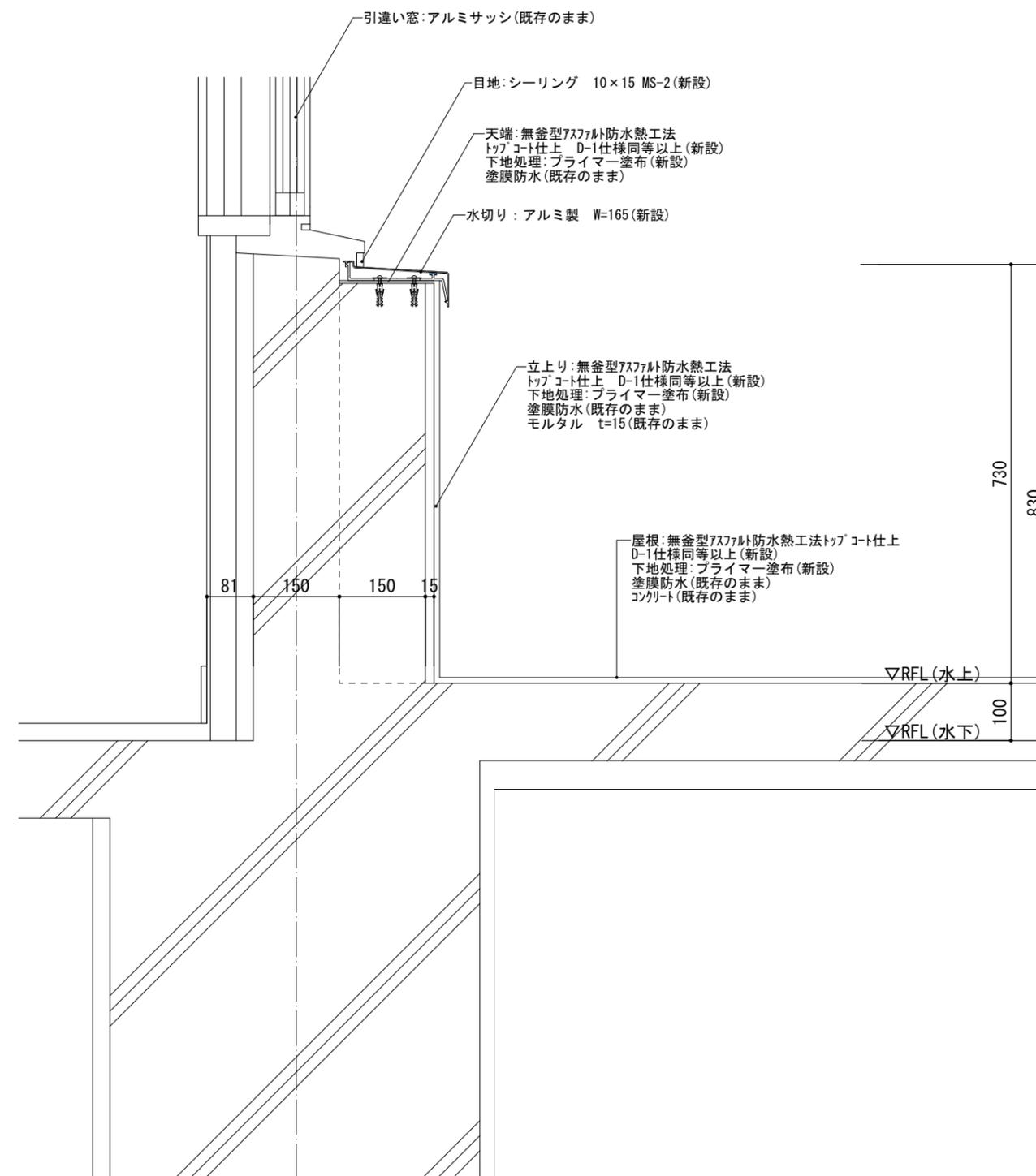
管理棟屋根とポンプ室・電気室屋根EJ防水立上り部 詳細図



改修前



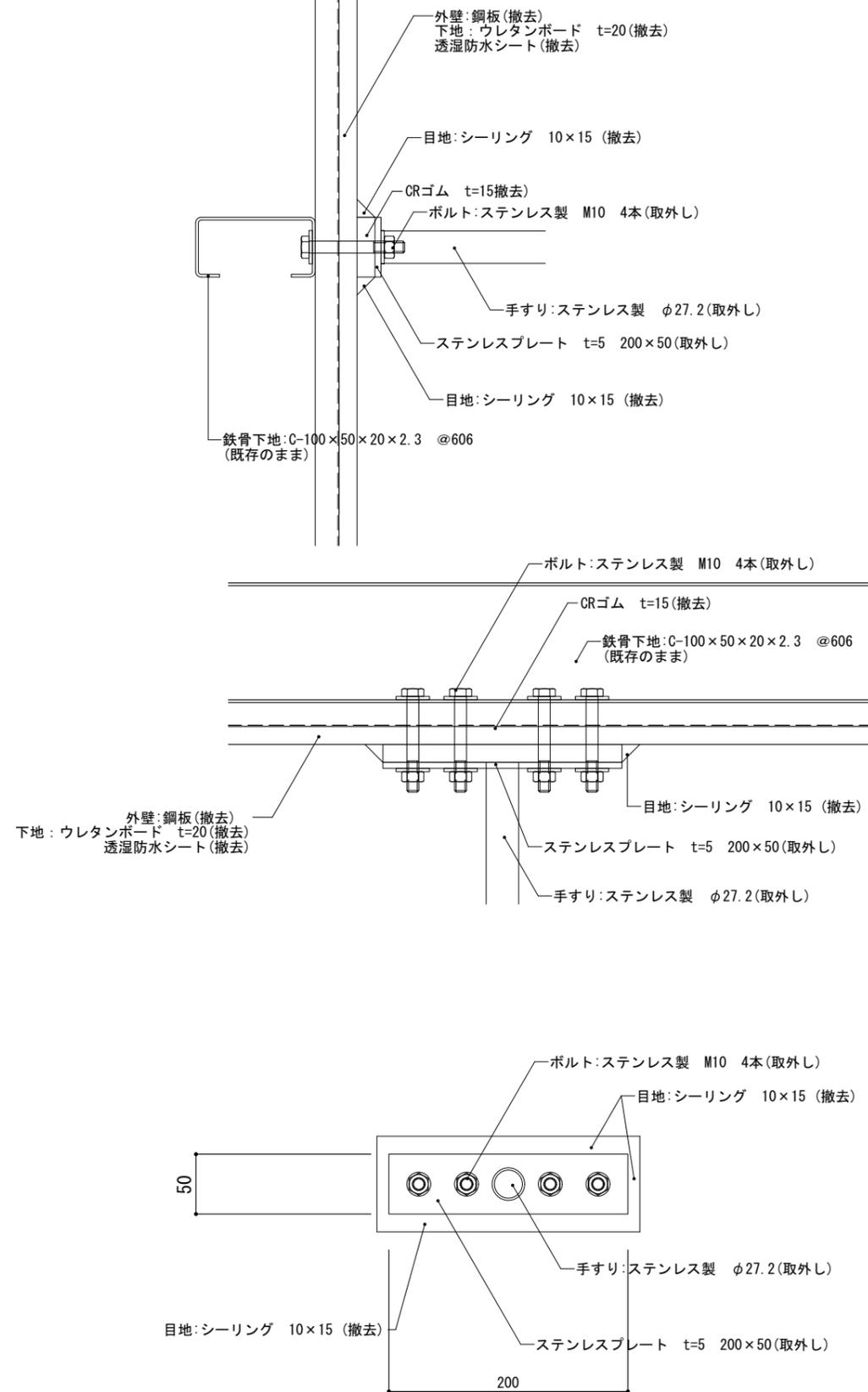
改修後



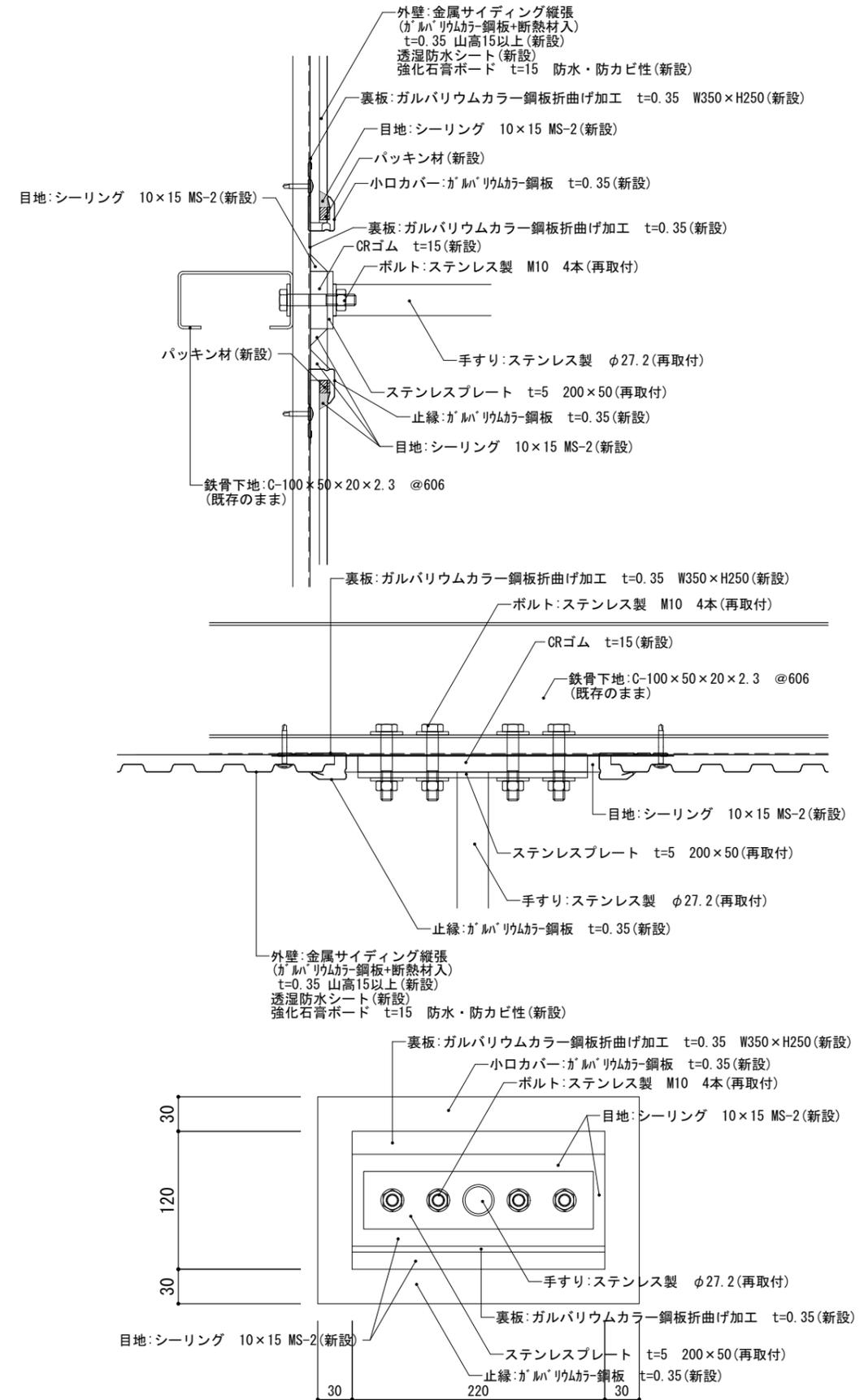
	管理棟屋根とポンプ室・電気室屋根ルーフトレン廻り部 詳細図	運動場屋根ルーフトレン廻り部 詳細図	
改修前	<p>850 × 850 2ヶ所 (撤去) 600 × 900 1ヶ所 (撤去)</p> <p>屋根: シート防水機械的固定工法 (撤去) 塗膜防水 (既存のまま) コンクリート (既存のまま)</p> <p>金属製ルーフトレン ドレンキャップ (撤去)</p> <p>135</p>	<p>850 × 850 4ヶ所 (撤去)</p> <p>屋根: シート防水機械的固定工法 (撤去) 塗膜防水 (既存のまま) ALC版 t=150 (既存のまま)</p> <p>金属製ルーフトレン ドレンキャップ (撤去)</p> <p>150</p>	
改修後	<p>850 × 850 2ヶ所 (新設) 600 × 900 1ヶ所 (新設)</p> <p>屋根: 無釜型アスファルト防水熱工法トップコート仕上 D-1仕様同等以上 (新設) 下地処理: プライマー塗布 (新設) 塗膜防水 (既存のまま) コンクリート (既存のまま)</p> <p>金属製ルーフトレン ドレンキャップ (新設)</p> <p>135</p>	<p>850 × 850 4ヶ所 (新設)</p> <p>屋根: 無釜型アスファルト防水熱工法トップコート仕上 D-1仕様同等以上 (新設) 下地処理: プライマー塗布 (新設) 塗膜防水 (既存のまま) ALC版 t=150 (既存のまま)</p> <p>改修用ドレン: 縦引き鉛製 φ100 (新設) 金属製ドレンキャップ (新設)</p> <p>150</p>	

外壁ガルバリウム鋼板とタラップ取付部 詳細図

改修前



改修後



少量危険物取扱所

類 別 **第 4 類**
品 名 第2石油類(灯油)
最大数量 **4 9 0 ℓ**
保安監督者

類 別 **第 4 類**
品 名 第3石油類(A重油)
最大数量 **1, 900 ℓ**
保安監督者

接 地 埋 設 標

前方 度 米

深サ 米

昭和 年 月

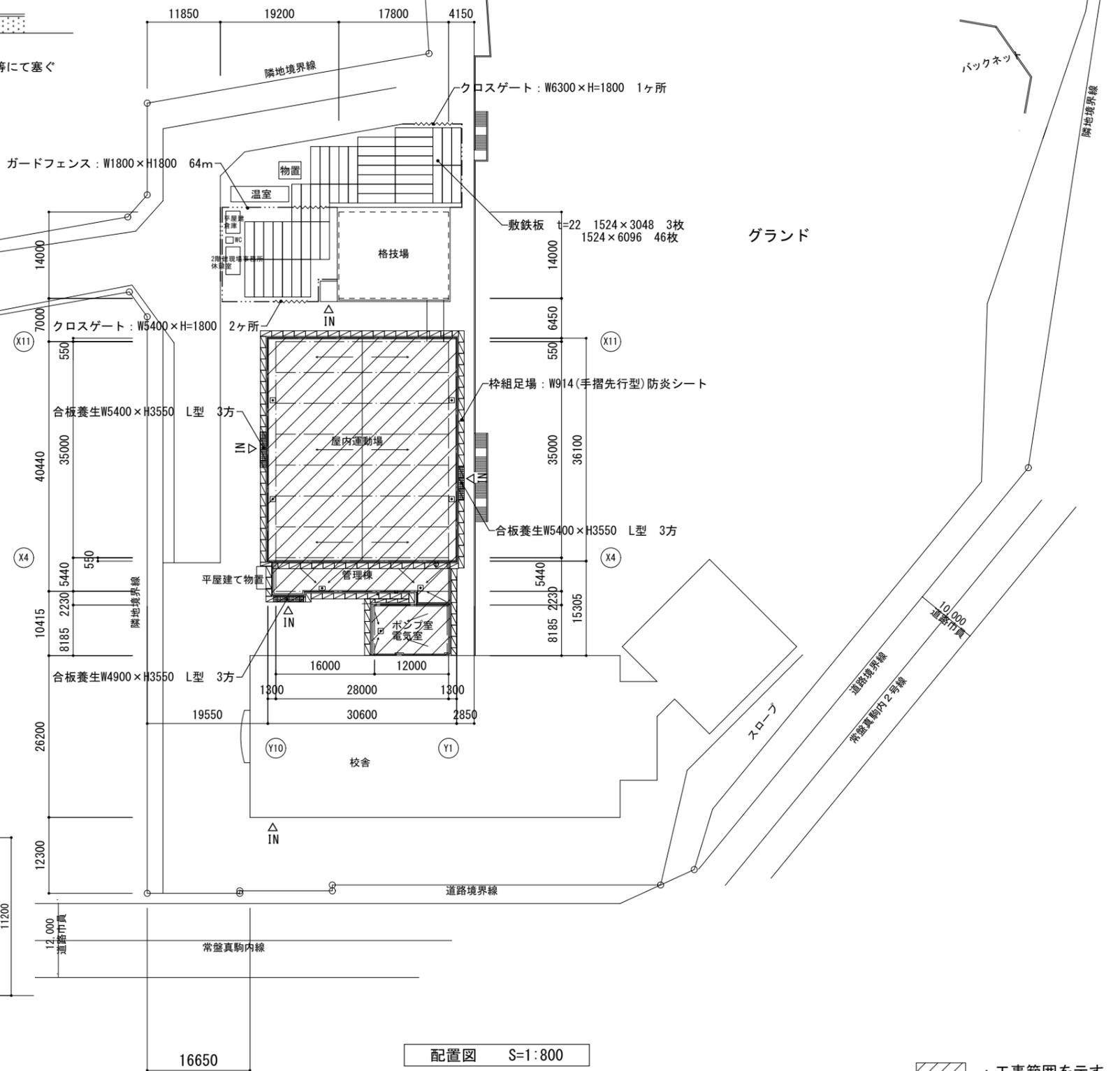
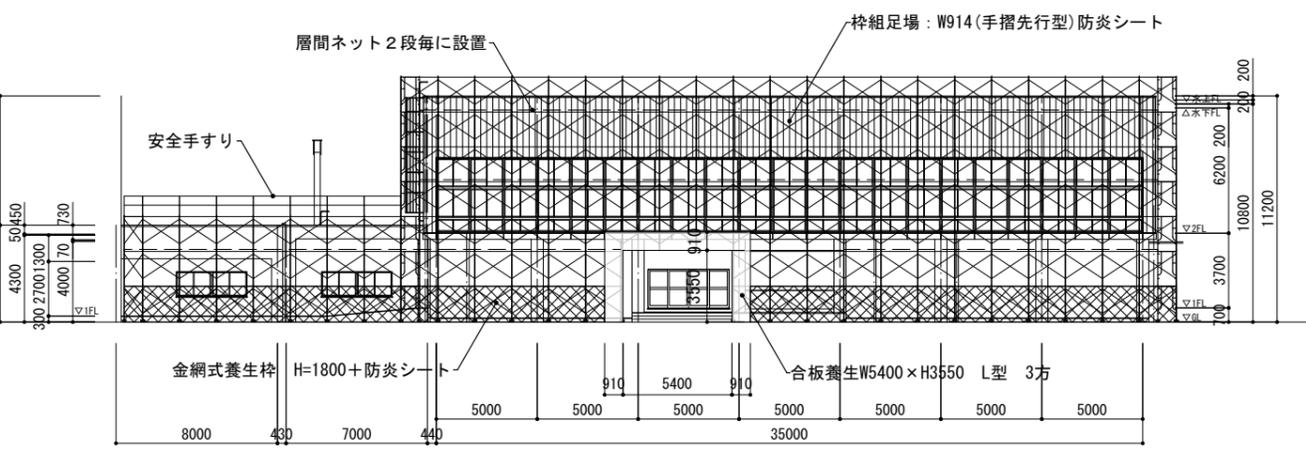
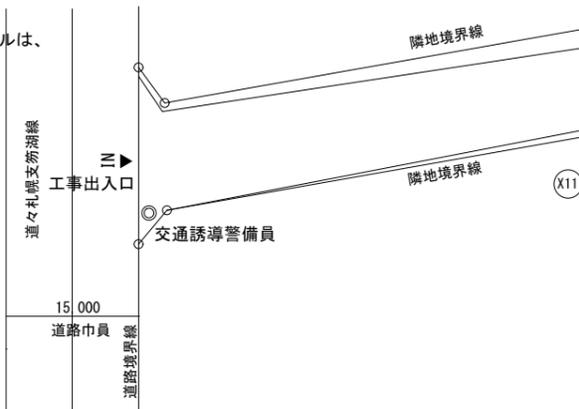
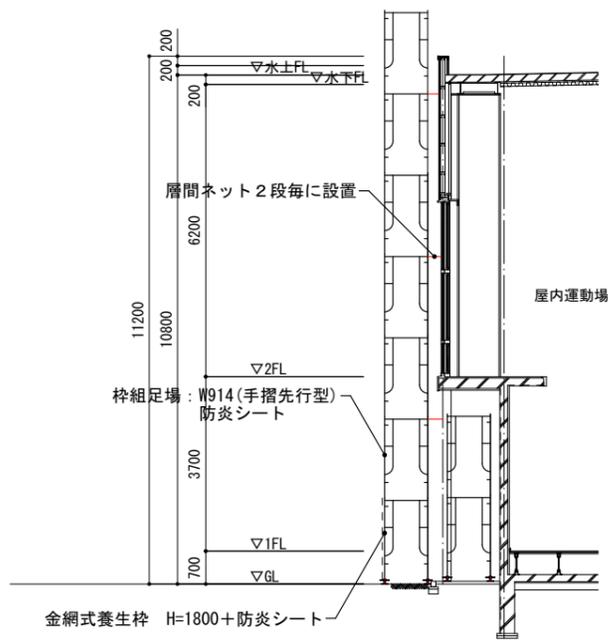
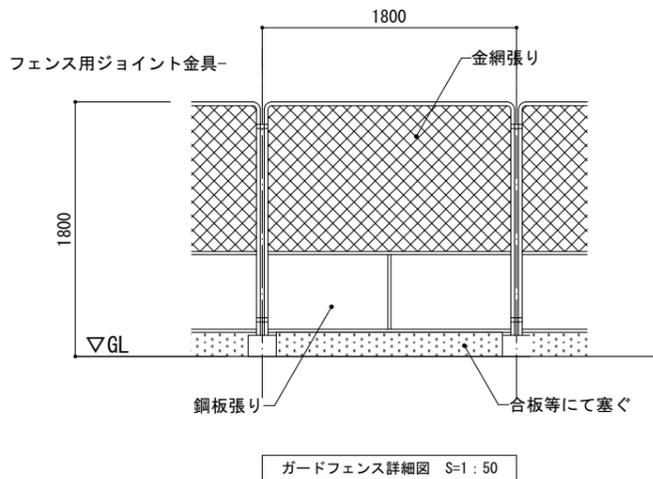
種別 Ω

札 幌 市

凡例

- 外部枠組足場 W=914 (手摺先行型)
最下段: 金網式養生柵、安全手すり、防災シート
- 出入口廻り合板 (コンパネ) 養生 L型 3方
- ガードフェンス W1800×H1800 64m
転倒防止用の控えなどを設置すること。
- クロスゲート W=5400 H=1800 2ヶ所
W=6300 H=1800 1ヶ所
- 敷鉄板 t=22 1524×3048 3枚
1524×6096 46枚
- IN 工事出入口
- IN 学校関係者出入口
- ◎ 交通誘導警備員

※資材の搬入の際は、学校及び監督職員と協議し生徒の安全に配慮すること。
 ※工程については学校及び監督職員と十分協議すること。
 ※搬入路等において大型車両等の出入りの場合、交通整理員配置すること。
 ※作業経路及び搬入路部分は、養生・整理清掃を行うこと。
 ※必要に応じてカラーコーン等で区画すること。
 ※工事に使用した部分は、完了時に現況に復旧すること。
 ※屋上荷揚げ用等のラフテレーンクレーン 13t 6回、オペレーター付とすること。
 ※既存外壁AEPリシン吹付の下地調整、足洗い場ウレタン系エナメル塗装、ポーチモルタルは、アスベスト含有 (レベル3) の養生・飛散防止等を行うこと。



斜線 : 工事範囲を示す。

日付	工事名	図面名称	縮尺	 一級建築士事務所 早川文雄建築設計室	一級建築士事務所登録 (石) 第2717号 一級建築士登録 (大臣) 第200231号 早川文雄	製図	承認	図面番号
	常盤中学校屋内運動場外部改修工事	仮設計画図 (参考図)	S=1:800					A-39

公示用

設 計 書

工事名称 常盤中学校屋内運動場外部改修工事

工事内容説明書

1. 工事名称 常盤中学校屋内運動場外部改修工事

2. 施工場所 札幌市南区常盤2条2丁目

3. 請負工事費

内訳 工事価格

消費税等相当額

4. 工期 契約に示す着手の日から 令和7年12月5日 まで

5. 工事内容 屋内運動場の屋上防水改修、外壁改修を行う。

共通費の算定に用いる工期 T=5.9月

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		契約保証費含む
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

屋内運動場棟		外壁改修		防水		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(外壁改修)						
シーリング	一般部 ホリカルファイト系(PS-2) 15×10		m			打継目地
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 5×5		m			サイディング出隅目地
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10		m			サイディング下端水切取合
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10		m			サイディング見切り・水切取合
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10		m			ホーダ-水切取合
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10		m			ホーダ-水切目地
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10		m			クラブ取付小口加-部
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10		m			クラブ取付PL周囲
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10		m			フード廻り
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10		m			ブルホックス廻り
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 5×5		m			建具両側止縁廻り
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10		m			建具下端止縁廻り
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10		m			建具枠廻り
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10		m			建具水切廻り
(ホーチ改修)						
シーリング	一般部 ホリカルファイト系(PS-2) 15×10		m			足洗い場取合
計						

屋内運動場棟		外壁改修		左官		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(外壁改修)						
基礎壁 ¹ 杉樹脂 ¹ E ル ¹ 塗り	薄塗りタイプ 厚3mm		m ²			外壁
煙突 ¹ -ス ¹ E ¹ ル ¹	工 ¹ 杉樹脂 ¹ E ¹ ル ¹ t30		m ²			
煙突基礎 ¹ E ¹ ル ¹	工 ¹ 杉樹脂 ¹ E ¹ ル ¹ t3		m ²			
防水形複層塗材E 塗り	ロー ¹ - 透湿弾性 ふっ素 下地調整 ¹ メント系 C-2		m ²			外壁
防水形複層塗材E 塗り	ロー ¹ - 透湿弾性 ふっ素 下地調整 ¹ メント系		m ²			天井
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修		m ²			
(劣化部分補修)						
亀裂部 ¹ 杉樹脂 ¹ 充填	0.2mm未満の亀裂部 パ ¹ テ状樹脂すりこみ		m			ひび割れ(幅0.2mm未満)
ひび割れ部樹脂注 入	自動式低圧 ¹ 杉樹脂注入工法 コンクリート面		m			0.2mm<W<1.0mm以下
ひび割れ部Uカット ル材充填	コンクリート面		m			0.2mm<W<1.0mm以下
欠損部充填	コンクリート面 100×100程度		か所			
欠損部充填	コンクリート面 100×200程度		か所			
欠損部充填	コンクリート面 100×500程度		か所			
欠損部充填	コンクリート面 100×1400程度		か所			
樹脂 ¹ E ¹ ル ¹ 補修 外壁鉄筋露出部	100×100程度 鉄筋 ¹ 杉樹脂塗布,周囲ハツ出 樹脂 ¹ E ¹ ル ¹ (フ ¹ レミックスタイプ ¹) 金 ¹ コ ¹ 仕上		か所			
樹脂 ¹ E ¹ ル ¹ 補修 外壁鉄筋露出部	100×150程度 鉄筋 ¹ 杉樹脂塗布,周囲ハツ出 樹脂 ¹ E ¹ ル ¹ (フ ¹ レミックスタイプ ¹) 金 ¹ コ ¹ 仕上		か所			
樹脂 ¹ E ¹ ル ¹ 補修 外壁鉄筋露出部	150×150程度 鉄筋 ¹ 杉樹脂塗布,周囲ハツ出 樹脂 ¹ E ¹ ル ¹ (フ ¹ レミックスタイプ ¹) 金 ¹ コ ¹ 仕上		か所			
樹脂 ¹ E ¹ ル ¹ 補修 外壁鉄筋露出部	150×200程度 鉄筋 ¹ 杉樹脂塗布,周囲ハツ出 樹脂 ¹ E ¹ ル ¹ (フ ¹ レミックスタイプ ¹) 金 ¹ コ ¹ 仕上		か所			
樹脂 ¹ E ¹ ル ¹ 補修 外壁鉄筋露出部	150×300程度 鉄筋 ¹ 杉樹脂塗布,周囲ハツ出 樹脂 ¹ E ¹ ル ¹ (フ ¹ レミックスタイプ ¹) 金 ¹ コ ¹ 仕上		か所			

屋内運動場棟		外壁改修		左官		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
樹脂珪外補修 外壁鉄筋露出部	250×250程度 鉄筋 ¹ 杉樹脂塗布,周囲ハツ出 樹脂珪外(フ レックスタイプ) 金 ² 仕上		か所			
樹脂珪外補修 外壁鉄筋露出部	300×200程度 鉄筋 ¹ 杉樹脂塗布,周囲ハツ出 樹脂珪外(フ レックスタイプ) 金 ² 仕上		か所			
樹脂珪外補修 外壁鉄筋露出部	400×300程度 鉄筋 ¹ 杉樹脂塗布,周囲ハツ出 樹脂珪外(フ レックスタイプ) 金 ² 仕上		か所			
基礎コンクリート浮き部 補修	珪 ¹ 杉樹脂珪外補修		m ²			
基礎珪外剥がれ部 補修	珪 ¹ 杉樹脂珪外補修		m ²			
(ホ ¹ 子改修)						
床珪外塗り	金 ² て 珪外仕上げ 厚30 押目地		m ²			
階段珪外塗り	金 ² て 珪外仕上げ 厚30		m ²			
防水珪外塗り	床 厚30 金 ² て		m ²			足洗い場
計						

屋内運動場棟		外壁改修		内外装		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(金属外装)						
外壁 金属サイディング縦張	ガルバリウム鋼板+断熱材入り t0.35 山高15以上		m ²			見積比較表
全上出隅役物	出隅キップ:ガルバリウム鋼板t0.35 出隅下地:ガルバリウム鋼板t0.35 パッキン材共		m			見積
外壁ボタ-取合 下端水切	ガルバリウム鋼板t0.35 系尺100		m			見積
外壁筋-ガルバリウム 鋼板 見切り	t=0.35 W20xH40		m			見積比較表
外壁筋-ガルバリウム 鋼板 段接ぎ部	t=0.35 W20xH40, W25 x H90 見切 + 水切		m			見積比較表
管理棟屋根取合 下端水切	ガルバリウム鋼板t0.35 系尺100		m			見積
外壁 上部端部パッキン材	アラバタ笠木下取合部		m			見積
建具上端 小口加-	ガルバリウム鋼板t0.35 系尺120 捨て板ガルバリウム鋼板t0.35 系尺40 パッキン材含む		m			見積
建具下端 止縁	ガルバリウム鋼板t0.35 系尺100 パッキン材含む		m			見積
建具両サイド 止縁	ガルバリウム鋼板t0.35 系尺100		m			見積
タラップ 取付部 小口加-	ガルバリウム鋼板t0.35 折曲加工 W280 x H180 取合パッキン材共		か所			見積
タラップ 取付部 裏板	ガルバリウム鋼板t0.35 折曲加工 W350 x H250		か所			見積
透湿防水シート張り	透湿防水シートB		m ²			
外壁 強化せっこ うボード張り (GB-F)	厚15.0 不燃 鋼製、木、ボード 下地 下地張り 防水、防炎		m ²			
計						

屋内運動場棟		外壁改修		とりこわし		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(外壁改修)						
高压洗浄	高压水洗機		m ²			基礎
高压洗浄	高压水洗機		m ²			ボ-グ-金物
既存塗膜除去	塗膜剥離剤工法 環境対応型		m ²			外壁リソ吹付撤去(RC面)
既存塗膜除去	塗膜剥離剤工法 環境対応型		m ²			天井リソ吹付撤去(RC面)
外壁鋼板撤去	集積共		m ²			
外壁鋼板下地ルツボ撤去	t20 集積共		m ²			
外壁透湿防水シート撤去	集積共		m ²			
外壁下端アルミ水切撤去	30×30		m			
煙突ハ-スル外撤去	t30		m ²			
表示板撤去	300×600 集積共		か所			
設置埋設表撤去	90×140 集積共		か所			
シーリング撤去	大型改修工事(全面改修用)集積共		m			打継目地
シーリング撤去	大型改修工事(全面改修用)集積共		m			外壁下端水切
シーリング撤去	大型改修工事(全面改修用)集積共		m			ボ-グ-金物取合
シーリング撤去	大型改修工事(全面改修用)集積共		m			ボ-グ-金物目地取合
シーリング撤去	大型改修工事(全面改修用)集積共		m			フ-ド廻り
シーリング撤去	大型改修工事(全面改修用)集積共		m			フ-ド廻り
シーリング撤去	大型改修工事(全面改修用)集積共		m			建具枠廻り
シーリング撤去	大型改修工事(全面改修用)集積共		m			建具水切廻り

屋内運動場棟		外壁改修		とりこわし		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガラス止めシーリング 撤去	集積共		m			
ガラス止めガasket撤去	集積共		m			
タラップ 取付部 取付プレート取外し・再取付	ステンレスプレート 15 200×50 ボルト M10×4本 取外し・再取付共		か所			見積
タラップ 取付部 手すり取外し・再取付	ステンレス 27.2		か所			見積
タラップ 背加 取外し・再取付	SUS 700×600×6300		か所			見積
(ボ-子改修)						
カッター入れ	珪藻土面 厚さ20～30mm		m			
珪藻土撤去(アスベスト含有)	集積共		m ²			ボ-子床
珪藻土撤去(アスベスト含有)	集積共		m ²			ボ-子階段
段鼻ステンレスアングル撤去	L-30×30×3程度 7ヶ所固定		m			
足洗い場 グレーチング 枠撤去	SUS L-30×30×3		m			
床防水珪藻土撤去(アスベスト含有)	t30 集積共		m ²			足洗い場
既存塗膜除去	塗膜剥離剤工法 環境対応型		m ²			足洗い場立上り
既存塗膜除去	塗膜剥離剤工法 環境対応型		m ²			足洗い場背壁
シーリング 撤去	大型改修工事(全面改修用)集積共		m			足洗い場取合
防塵措置費	全面形防塵マスク,フィルター, フード付保護衣(手袋,シューズカバー共), 真空掃除機(ダストバキューム共)	1	式			
計						

屋内運動場棟		屋上防水改修		防水		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(屋内運動場)						
屋上平場 無釜型アスファルト防水	熱工法 トップコート仕上 D-1仕様同等以上		m ²			見積
屋上立上り・天端 無釜型アスファルト防水	熱工法 トップコート仕上 D-1仕様同等以上		m ²			見積
既存外防水層 プライマー塗布	平場、立上り		m ²			見積
脱気筒	SUSタイプ		か所			見積
改修用ドレン	縦ひき 銅製 100ドレンキャップ 共(7Mに製)		か所			
既設ドレン洗浄	ドレン金物から第1雨水枡まで 基本料金共 4か所	1	式			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10		m			ハット笠木下取合部
(管理棟・ポンプ、電気室)						
屋上平場 無釜型アスファルト防水	熱工法 トップコート仕上 D-1仕様同等以上		m ²			見積
屋上立上り・天端 無釜型アスファルト防水	熱工法 トップコート仕上 D-1仕様同等以上		m ²			見積
既存外防水層 プライマー塗布	平場、立上り		m ²			見積
脱気筒	SUSタイプ		か所			見積
改修用ドレン	縦ひき 銅製 100ドレンキャップ 共(7Mに製)		か所			
既設ドレン洗浄	ドレン金物から第1雨水枡まで 3か所	1	式			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10		m			水切目地
計						

屋内運動場棟		屋上防水改修			金属	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(屋内運動場)						
アルミ笠木	アルミ既製品 シルバ W225 捨て板共		m			
アルミ笠木コーナ-	アルミ既製品 シルバ W225		か所			
(管理棟・ボンプ、電気室)						
アルミ笠木	アルミ既製品 シルバ W250		m			
アルミ笠木コーナ-	アルミ既製品 シルバ W250		か所			
(管理棟屋根屋運外壁立上り部)						
アルミ水切	W165 防水押え アルミ2×30ビ'止め共		m			見積
全上下地材	L-30×30×3 Cチャンに溶接		m			見積
全上捨て板	t0.8 L-100×150		m			見積
(ボンプ、電気室屋根校舎立上り部)						
アルミ水切	W165		m			見積
(EXP、EJ-9部)						
EXP-J金物	EJ-9 アルミ製 W600		m			見積
捨て板	t0.8 W230		m			見積
鉄骨下地	C-150×50×20×2.3 金属拡張施工アソカ- SUS M10共		m			見積
EXP部 アルミ笠木	W100×195 W250を加工		か所			見積
計						

屋内運動場棟		屋上防水改修		とりこわし		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(屋内運動場)						
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共		m ²			平面
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共		m ²			立上り、バルコニー天端
屋根立上りペーパー撤去	t20 集積共		m ²			
ALC笠木撤去	W225(再利用なし)		m			
ルーフドレン撤去	100		か所			
(管理棟・ポンプ、電気室)						
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共		m ²			平面
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共		m ²			立上り、バルコニー天端
屋根立上りペーパー撤去	t20 集積共		m ²			
ALC笠木撤去	W250(再利用なし)		m			
ALC水切撤去	W135 外壁下端30×30撤去共		m			
ALC水切撤去	W165 防水押えW50撤去共		m			
ルーフドレン撤去	100		か所			
EJ-9撤去	ALC [-160×30 下地ALC-60×60(×2)共		m			
EJ-9部 ALC水切撤去	W165		m			
EJ-9部 水切下地撤去	スチールアンクル L-65×65×6 +L-30×30×3		m			
シーリング撤去	集積共		m			水切目地
計						

